

**第 8 次 韮崎市総合計画策定に向けた
調査報告書
～アンケート調査 編～**

内容

(1) 実施概要.....	1
(2) 結果概要.....	2
(3) 市民アンケート.....	7
(4) 子育て世代アンケート.....	42
(5) 小中高生アンケート.....	66
(6) 企業アンケート.....	89
(7) 市外在住就業者アンケート.....	106

(1) 実施概要

①市民アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月27日～11月10日
- ・配布対象：18歳以上の市民2,000名
- ・実施方法：発送は郵送、回収は郵送またはWEBフォームにて回答
- ・回収数：760件

②子育て世代アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月20日～11月7日
- ・配布対象：子育て支援センター利用者、あんしんメール利用者（市内小・中学校に通学する子どもがいる保護者）、市内保育園・幼稚園に通園する子どもがいる保護者
- ・実施方法：WEBフォームにて回答
- ・回収数：622件

③小学生アンケート調査・中高生アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月20日～11月7日
- ・配布対象：小中高生（市内小学校5年以上、中学校、高校）
- ・実施方法：WEBフォームにて回答
- ・回収数：小学生230人（小5：114、小6：116）
中学生382人（中1：126、中2：185、中3：71）
高校生485人（高1：173、高2：123、高3：189）

④企業アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月20日～11月7日
- ・配布対象：葦崎工業クラブに所属している企業
- ・実施方法：WEBフォームにて回答
- ・回収数：11社

⑤市外在住就業者アンケート調査

- ・実施日：2025（令和7）年10月20日～11月7日
- ・配布対象：葦崎工業クラブに所属している企業に勤めていて、市外在住の方
- ・実施方法：WEBフォームにて回答
- ・回収数：383件

(2) 結果概要

①市民アンケート調査 (760 件)

< 居住地の選定理由 >

「配偶者（またはパートナー）の出身地であるため」が 28.2%と最も多く、次いで「住宅取得（持ち家・賃貸など）の条件が合ったため」が 24.4%

< 住みやすさ >

「どちらかという住みやすい」が 37.2%と最も多く、次いで「住みやすい」「どちらとも言えない」が 25.7%

< 今後も住み続けたい意向 >

「住み続けたい」が 38.8%と最も多く、次いで「どちらかという住み続けたい」が 29.7%
年齢別で見ると、20 歳代後半で、住み続けたい意向が一度減少

< 住み続けたい理由 >

「自分の家や土地があるから」が 62.7%と最も多く、次いで「自然環境がよいから」が 50.7%、
「韮崎市に愛着があるから」が 26.7%

特に 20 歳代と 60 歳以上の層で「自然環境が良いから」の理由が多い

< 住み続けたくない理由 >

「交通の便が悪いから」が 52.4%と最も多く、次いで「買い物に不便だから」が 42.9%

< 目指すまちの将来像 >

- ①「保健・医療・福祉支援が充実し、高齢者が元気に生活できるまち」が 43.9%と最も多く、
- ②次いで「バスや鉄道などの交通機関が整い、日常生活の利便性が高いまち」が 39.3%、
- ③「災害や犯罪が少なく、安心・安全に暮らせるまち」が 35.8%、
- ④「子育て・教育支援が充実したまち」が 32.4%

年齢別に見ると、30 代前後は子育て・教育支援（子育て・教育支援が充実したまち）のニーズが高く、高齢者ほど保健・医療・福祉支援（保健・医療・福祉支援が充実し、高齢者が元気に生活できるまち）のニーズが高い。また安全・安心はどの世代においても高くなっている。

性別では、女性の方が、日常生活の利便性（バスや鉄道などの交通機関が整い、日常生活の利便性）が高いまちのニーズが高くなっている。

< 人口減少に歯止めをかけるために重要なこと >

- ①「働く場の確保」が 52.5%と最も多く、
- ②次いで「子育て支援や教育環境の充実」が 48.3%、
- ③「日常生活の利便性の向上」が 45.3%

< 地域生活の中で、地域の人が協力して取り組むこと >

- ①「災害や防災対策」が 54.2%と最も多く、
- ②次いで「日常的な見守りや声かけ」が 36.7%、
- ③「高齢者への支援」が 32.9%

②子育て世代アンケート調査（622人）

<居住地の選定理由>

「配偶者の出身地であるため」が32.6%と最も多く、次いで「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が21.4%

<転居したきっかけ>

「結婚したとき」が27.3%、次いで「就職・転職をしたとき」が11.7%

18歳～20歳代においては、「結婚したとき」と「子どもが生まれたとき」が40.0%と最多

<満足している子育て支援策>

「子ども医療費助成事業」が70.5%、次いで「学校給食費支援事業」が67.6%で、年代に寄らず高い

<不満を感じている子育て支援策>

「子育て・女性活躍応援」が33.9%、次いで「子どもに優しい社会づくり事業」が32.1%

<地域の子育て世代同士や住民とのつながり>

若年層は交流が少なめ、年齢が上がるにつれて、地域行事参加など世代同士や住民とのつながりを感じている人が多い

<住み替え意向>

「5年以内の住み替え」市内3.5%、市外1.9%、また「将来住み替えの予定あり」15.1%
その理由は、「仕事・学校・家庭の事情」が最多、次いで「住宅事情（日当たり、土地の確保、家賃など）が良くない」

<子育てをする上で市に望むこと>

「教育・学習環境」「経済的支援・金銭的負担軽減」「遊び場・施設の充実」が多い

③小学生アンケート調査・中学生アンケート調査（小学生 230 人、中学生 382 人、高校生 485 人）

< 韮崎市の良いところ >

学年によらず「広大な景色や自然環境があること」が上位にあるが、
高校3年生は「気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること」を高評価

< 進路先・進路希望先の場所 >

高校生になると山梨県外志向が増加

< 進路先を決めたきっかけ >

高校生は「家族や友人・知人と話して」が最多(小学生はまだなんとなくが多い)

< 将来就きたい仕事 >

まだわからない以外では、「建築士、技術者」が 12.6%、「スポーツ選手」が 10.1%
男性は、「建築士、技術者」「スポーツ選手」「プログラマー」が多く
女性は、「看護師、介護士など」「保育士・幼稚園の先生」「小・中・高校の先生」が多い

< Miacis（ミアキス）の利用頻度 >

「利用したことがない」が 44.5%、次いで「ほとんど利用していない」が 24.6%（中学生）

< 将来的な定住意向 >

高校2年生までは「ずっと住みたい」、「一度は韮崎市を出ても、いつか戻って住みたい」意向が徐々に減りつつあるが、高校3年生になると「住みたい」、「戻って来たい」意向が再び増加

< 「住みたい」を選択した理由 >

高校3年生になると、「韮崎市に希望する就職先があるから」が住みたい理由に希望する就職先の有無が重要

< 「住みたくない」を選択した理由 >

高校生になると、「韮崎市に希望する就職先・進学先がないから」「予定している就職先・進学先のほうが暮らすのに魅力的だから（買い物、娯楽など）」が住みたくない理由に

④企業アンケート調査（11社）

<売上傾向>

「増加傾向にある」企業が72.7%

<操業環境に対する課題>

「建物の老朽化」「周辺の交通渋滞」「公共交通機関が不便」が44.4%、「駐車場が少ない」が33.3%

<今後事業所の拡張、建物の更新等の計画>

「具体的に検討」と「中長期的に検討」で45.5%

<立地先を決定する際に重視する点>

「交通の便（陸路）」が72.7%、次いで「用地面積の確保が容易」が45.5%

<求人>

正社員・正社員以外も不足気味との回答が多く、「居住地に関わらず広く求人」が72.7%

<従業員の確保に取り組む上での課題>

「蕪崎市での就職希望者に関する情報が手に入りづらい」「蕪崎市で職に就こうとしている若者が少ない」が45.5%、「経験者採用のため欲しい人材が集まりにくい」が36.4%

<良好な操業環境、雇用促進等に取り組むにあたり、蕪崎市が力を入れて欲しい対策>

「雇用確保の取組支援」「事業所の拡張への支援策の充実」が54.5%

<実施している子育て支援>

「育児休業制度」が90.9%、次いで「短時間勤務制度」が72.7%

<DXへの取組み>

「DXの意味を理解して取り組んでいる」が81.8%

内容は「業務プロセスのペーパーレス化」が88.9%と最も多く、次いで「クラウドサービスの活用」「社内コミュニケーションツール（チャット、WEB会議）の導入」が77.8%

⑤市外在住就業者アンケート調査（383人）

<現在の住まい>

「甲斐市」が39.9%、「甲府市」が25.1%、「南アルプス市」が13.8%

<住宅形態>

「持ち家（一戸建て）」が64.5%、次いで「借家（賃貸アパート、賃貸マンション）」が28.2%

<現在の居住地の選定理由>

「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が30.8%、次いで「就職・転勤・転職により移住したため」が27.2%

<居住地に対する満足度>

満足・やや満足で84.6%

居住地別では、甲府市、甲斐市、南アスプス市が高く、北杜市が低い結果

<満足していない理由>

「交通の便が悪いから」が62.5%、次いで「買い物に不便だから」が29.2%、「通勤や通学に不便だから」が25.0%

<韮崎市に対する住みやすさのイメージ>

とても住みやすい+住みやすいイメージで27.7%

北杜市に住んでいる人からの住みやすいイメージの回答が高い

<将来住みたいか>

住みたい+どちらかといえば住みたいで8.6%

借家住まいの人、「自然環境が気に入ったため」今の居住地に住んでいる人において、住みたい意向が高い

<住むにあたっての課題>

「買い物などの生活が不便」が32.5%と、次いで「鉄道やバス等の公共交通の利便性が低い」が12.7%

(3) 市民アンケート

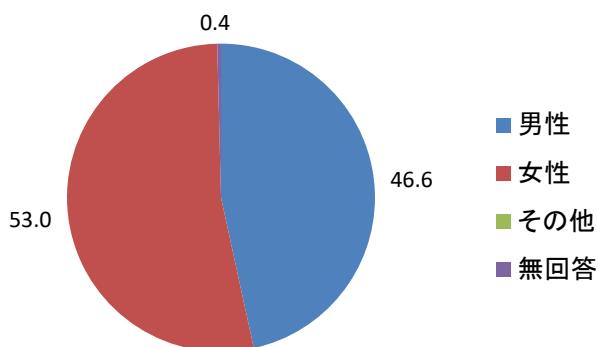
■調査概要

- ・実施日:令和7年10月27日～11月10日
- ・配布対象: 18歳以上の市民 2000名
- ・発送:郵送、回収:紙またはWEBフォームにて回答
- ・回収数:760件

① 性別

「女性」が 53.0%と最も多く、次いで「男性」が 46.6%、「その他」が 0.4%となっている。

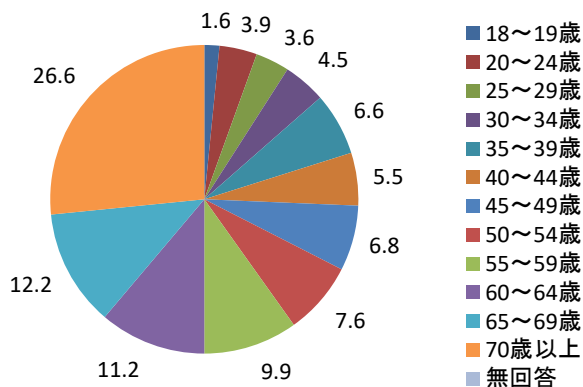
	件数	比率
総数	760	100.0%
男性	354	46.6%
女性	403	53.0%
その他		0.0%
無回答	3	0.4%



② 年代

「70歳以上」が 26.6%と最も多く、次いで「65～69歳」が 12.2%、「60～64歳」が 11.2%、「55～59歳」が 9.9%となっている。

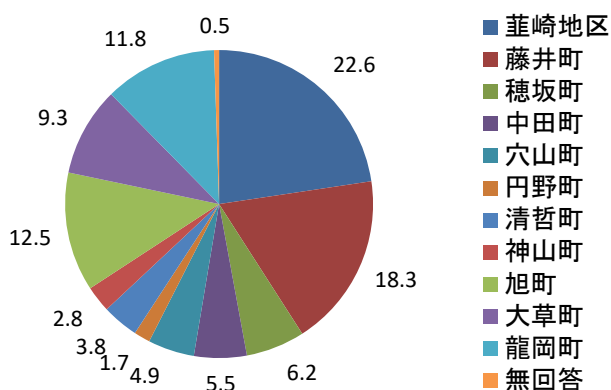
	件数	比率
総数	760	100.0%
18～19歳	12	1.6%
20～24歳	30	3.9%
25～29歳	27	3.6%
30～34歳	34	4.5%
35～39歳	50	6.6%
40～44歳	42	5.5%
45～49歳	52	6.8%
50～54歳	58	7.6%
55～59歳	75	9.9%
60～64歳	85	11.2%
65～69歳	93	12.2%
70歳以上	202	26.6%
無回答		0.0%



③ 現在お住まいの地区

「葦崎地区」が22.6%と最も多く、次いで「藤井町」が18.3%、「旭町」が12.5%、「龍岡町」が11.8%となっている。

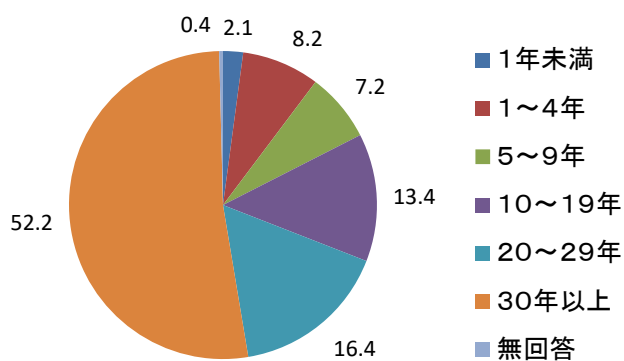
	件数	比率
総数	760	100.0%
葦崎地区	172	22.6%
藤井町	139	18.3%
穂坂町	47	6.2%
中田町	42	5.5%
穴山町	37	4.9%
円野町	13	1.7%
清哲町	29	3.8%
神山町	21	2.8%
旭町	95	12.5%
大草町	71	9.3%
龍岡町	90	11.8%
無回答	4	0.5%
総数	760	100.0%



④ 市内にお住まいの期間

「30年以上」が52.2%と最も多く、次いで「20～29年」が16.4%、「10～19年」が13.4%、「1～4年」が8.2%となっている。

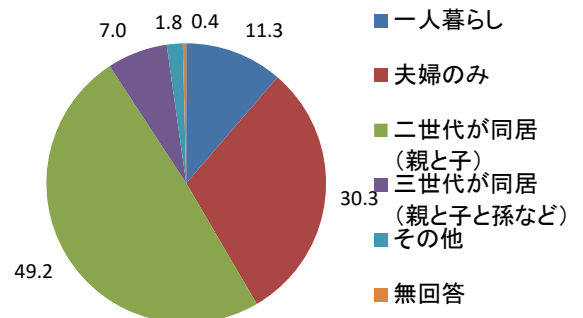
	件数	比率
総数	760	100.0%
1年未満	16	2.1%
1～4年	62	8.2%
5～9年	55	7.2%
10～19年	102	13.4%
20～29年	125	16.4%
30年以上	397	52.2%
無回答	3	0.4%



⑤ 家族構成

「30年以上」が 52.2%と最も多く、次いで「20～29年」が 16.4%、「10～19年」が 13.4%、「1～4年」が 8.2%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
一人暮らし	86	11.3%
夫婦のみ	230	30.3%
二世帯が同居(親と子)	374	49.2%
三世帯が同居(親と子と孫など)	53	7.0%
その他	14	1.8%
無回答	3	0.4%

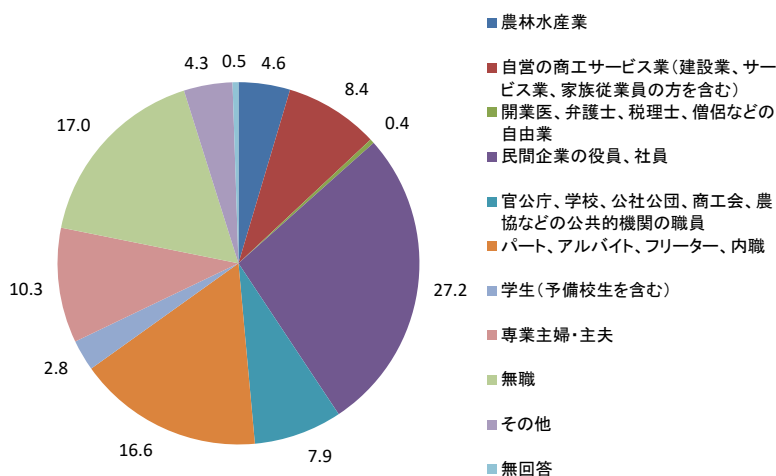


<その他> 婚約者や恋人と同棲

⑥ 就業状況

「民間企業の役員、社員」が 27.2%と最も多く、次いで「無職」が 17.0%、「パート、アルバイト、フリーター、内職」が 16.6%、「専業主婦・主夫」が 10.3%となっている。

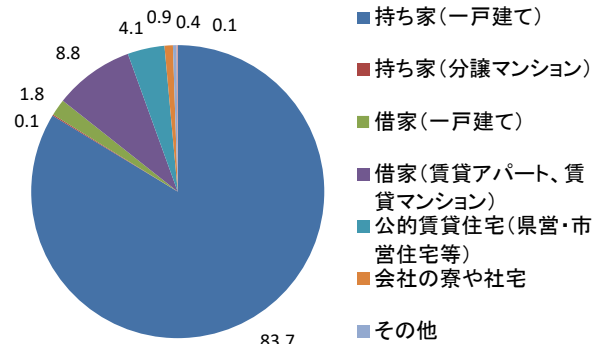
	件数	比率
総数	760	100.0%
農林水産業	35	4.6%
自営の商工サービス業(建設業、サービス業、家族従業員の方を含む)	64	8.4%
開業医、弁護士、税理士、僧侶などの自由業	3	0.4%
民間企業の役員、社員	207	27.2%
官公庁、学校、公社公団、商工会、農協などの公共的機関の職員	60	7.9%
パート、アルバイト、フリーター、内職	126	16.6%
学生(予備校生を含む)	21	2.8%
専業主婦・主夫	78	10.3%
無職	129	17.0%
その他	33	4.3%
無回答	4	0.5%



⑦ 現在お住まいの住宅

「持ち家(一戸建て)」が 83.7%と最も多く、次いで「借家(賃貸アパート、賃貸マンション)」が 8.8%、「公的賃貸住宅(県営・市営住宅等)」が 4.1%、「借家(一戸建て)」が 1.8%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
持ち家(一戸建て)	636	83.7%
持ち家(分譲マンション)	1	0.1%
借家(一戸建て)	14	1.8%
借家(賃貸アパート、賃貸マンション)	67	8.8%
公的賃貸住宅(県営・市営住宅等)	31	4.1%
会社の寮や社宅	7	0.9%
その他	3	0.4%
無回答	1	0.1%

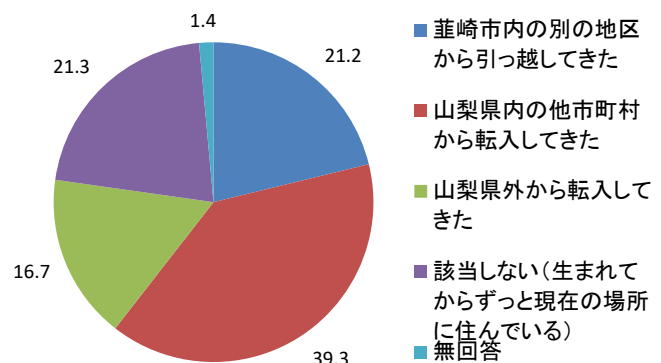


<その他> グループホーム

⑧ 現在の場所にお住まいになる以前の居住地

「山梨県内の他市町村から転入してきた」が 39.3%と最も多く、次いで「該当しない(生まれてからずっと現在の場所に住んでいる)」が 21.3%、「韮崎市内の別の地区から引っ越してきた」が 21.2%、「山梨県外から転入してきた」が 16.7%となっている。

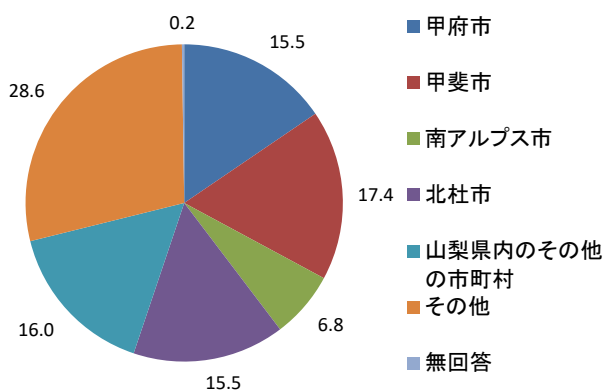
	件数	比率
総数	760	100.0%
韮崎市内の別の地区から引っ越してきた	161	21.2%
山梨県内の他市町村から転入してきた	299	39.3%
山梨県外から転入してきた	127	16.7%
該当しない(生まれてからずっと現在の場所に住んでいる)	162	21.3%
無回答	11	1.4%



⑨ 以前住んでいた自治体

「その他」が 28.6%と最も多く、次いで「甲斐市」が 17.4%、「山梨県内のその他の市町村」が 16.0%、「甲府市」「北杜市」が 15.5%となっている。

	件数	比率
総数	426	100.0%
甲府市	66	15.5%
甲斐市	74	17.4%
南アルプス市	29	6.8%
北杜市	66	15.5%
山梨県内のその他の市町村	68	16.0%
その他	122	28.6%
無回答	1	0.2%

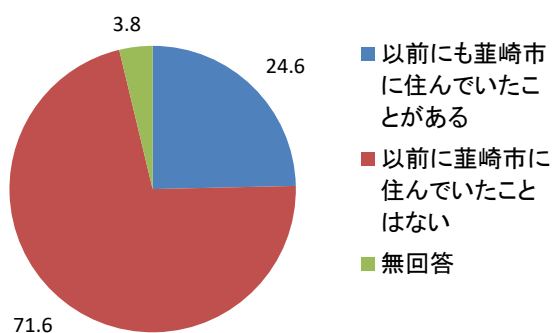


<その他> 北海道、北関東、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県 など

⑩ 以前も韮崎に住んでいたことはあるか

「以前に韮崎市に住んでいたことはない」が 71.6%と最も多く、次いで「以前にも韮崎市に住んでいたことがある」が 24.6%となっている。

	件数	比率
総数	426	100.0%
以前にも韮崎市に住んでいたことがある	105	24.6%
以前に韮崎市に住んでいたことはない	305	71.6%
無回答	16	3.8%

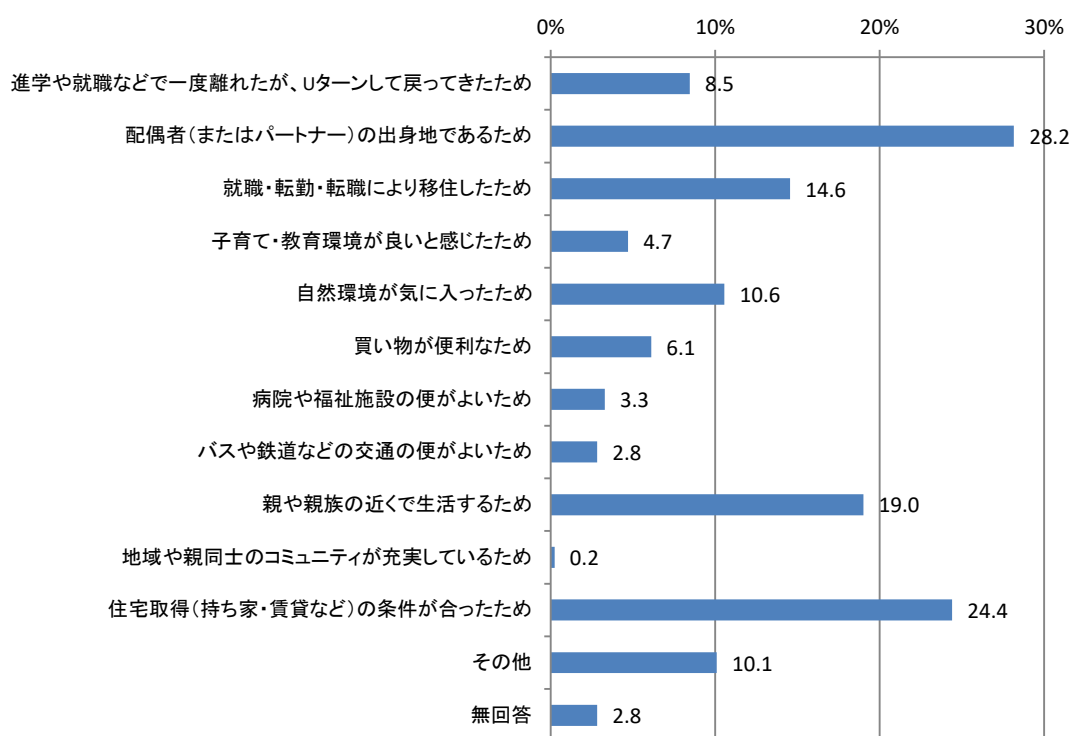


⑪ 現在の居住地を選んだ理由

「配偶者(またはパートナー)の出身地であるため」が 28.2%と最も多く、次いで「住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため」が 24.4%、「親や親族の近くで生活するため」が 19.0%、「就職・転勤・転職により移住したため」が 14.6%となっている。

	件数	比率
総数	426	100.0%
進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	36	8.5%
配偶者(またはパートナー)の出身地であるため	120	28.2%
就職・転勤・転職により移住したため	62	14.6%
子育て・教育環境が良いと感じたため	20	4.7%
自然環境が気に入ったため	45	10.6%
買い物が便利のため	26	6.1%
病院や福祉施設の便がよいため	14	3.3%
バスや鉄道などの交通の便がよいため	12	2.8%
親や親族の近くで生活するため	81	19.0%
地域や親同士のコミュニティが充実しているため	1	0.2%
住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため	104	24.4%
その他	43	10.1%
無回答	12	2.8%

<その他> 家族の事情、仕事の事情、学校の事情



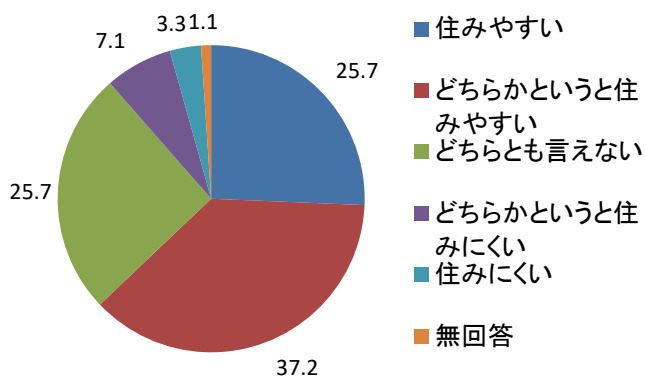
⑫ 韮崎市は住みやすさ

「どちらかという住みやすい」が37.2%と最も多く、次いで「住みやすい」「どちらとも言えない」が25.7%、「どちらかという住みにくい」が7.1%となっている。

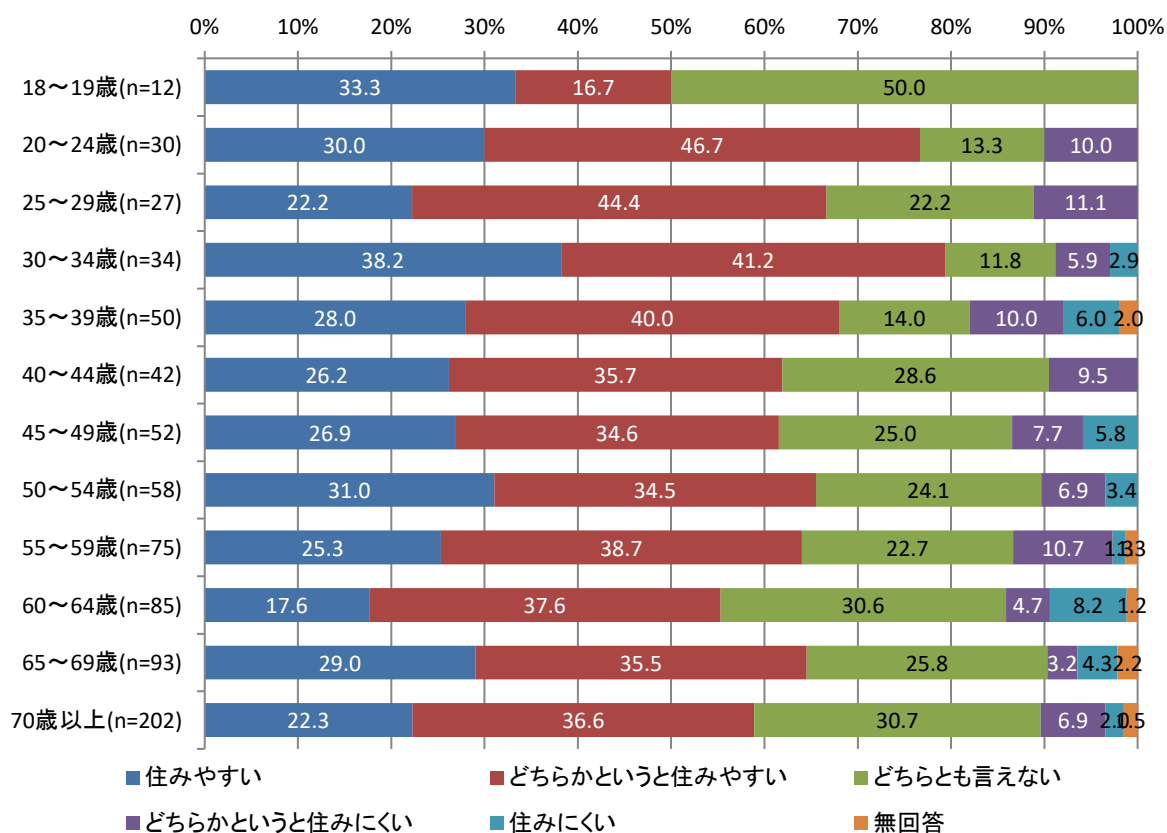
年齢別では、20代から30代前半においては「住みやすい」「どちらとも言えない」の割合が、他の年齢層より高くなっている。

また、従前の居住地別にみると、山梨県外から転入してきた人の「住みやすい」「どちらとも言えない」の割合が高くなっている。

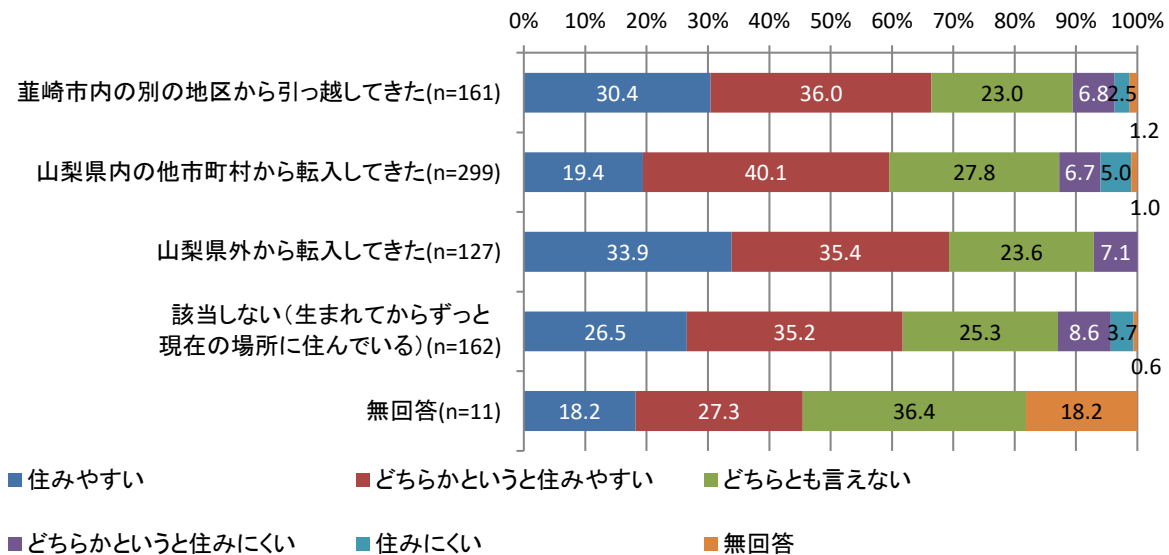
	件数	比率
総数	760	100.0%
住みやすい	195	25.7%
どちらかという住みやすい	283	37.2%
どちらとも言えない	195	25.7%
どちらかという住みにくい	54	7.1%
住みにくい	25	3.3%
無回答	8	1.1%



■年齢別



■従前の居住地別

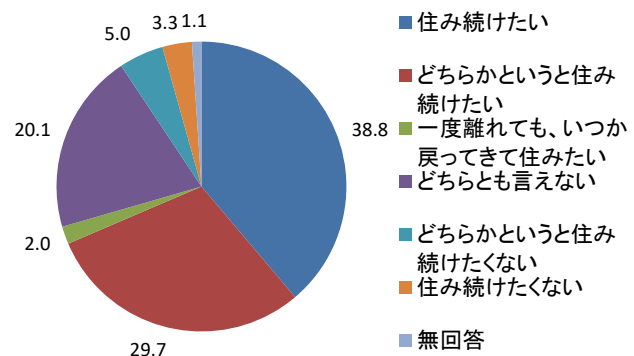


⑬ 今後も韮崎市に住み続けたい意向

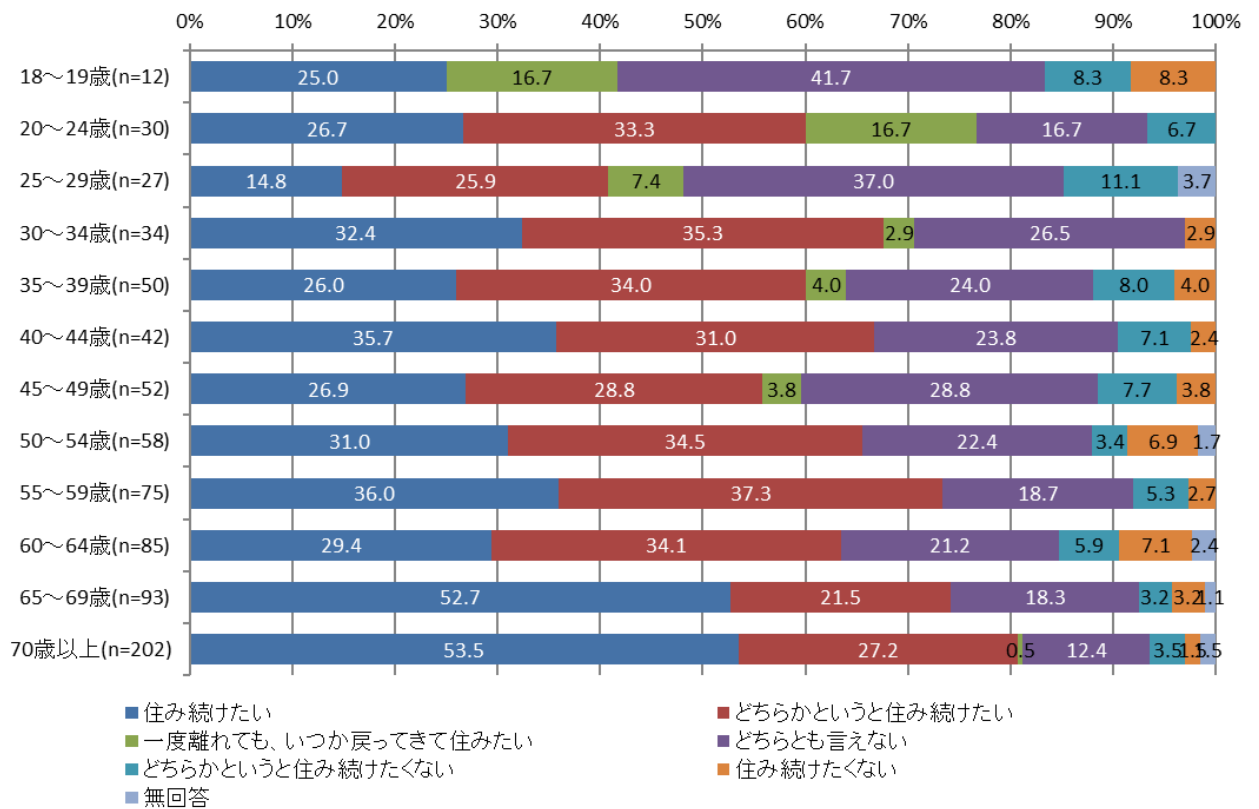
「住み続けたい」が 38.8%と最も多く、次いで「どちらかというに住み続けたい」が 29.7%、「どちらとも言えない」が 20.1%、「どちらかというに住み続けたくない」が 5.0%となっている。

年齢別でみると、20歳代後半で、住み続けたい意向が一度減少している。

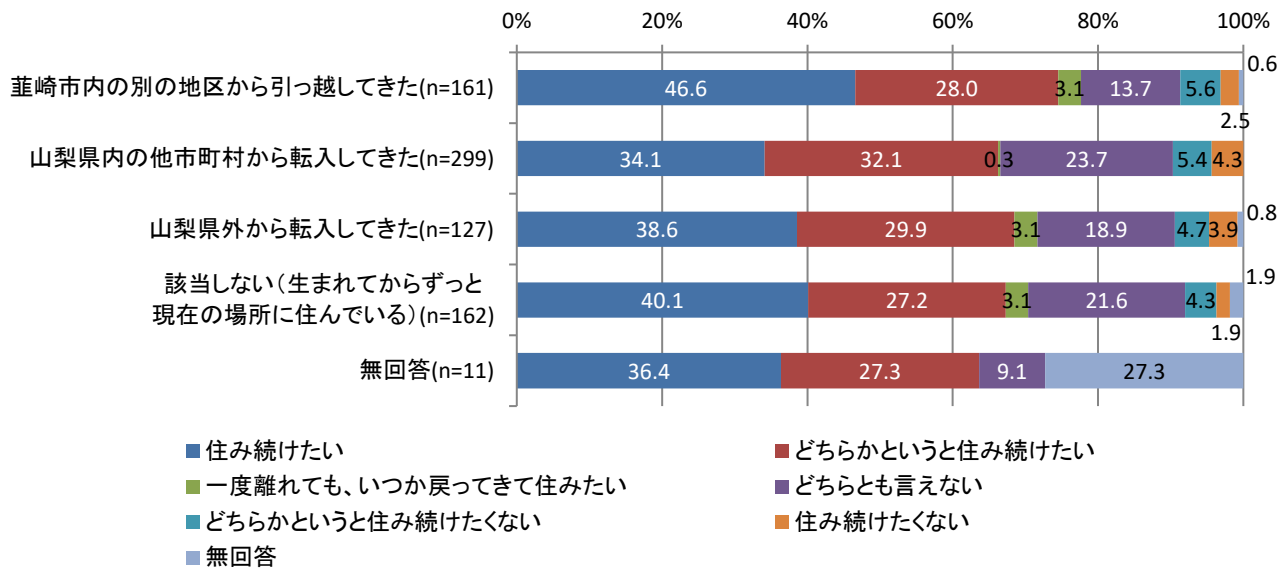
	件数	比率
総数	760	100.0%
住み続けたい	295	38.8%
どちらかというに住み続けたい	226	29.7%
一度離れても、いつか戻ってきて住みたい	15	2.0%
どちらとも言えない	153	20.1%
どちらかというに住み続けたくない	38	5.0%
住み続けたくない	25	3.3%
無回答	8	1.1%



■年齢別



■従前の居住地別



⑭ 住み続けたいと思う理由

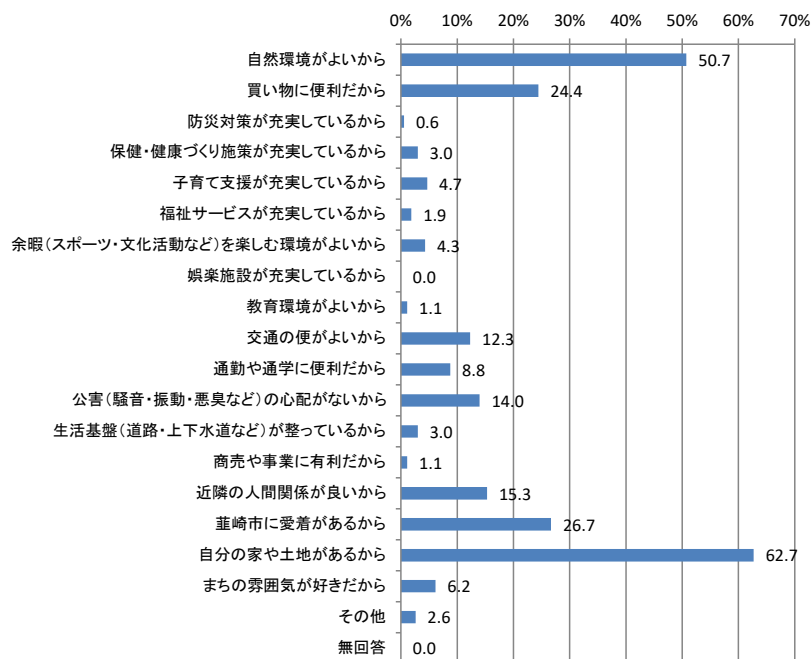
「自分の家や土地があるから」が 62.7%と最も多く、次いで「自然環境がよいから」が 50.7%、「韮崎市に愛着があるから」が 26.7%、「買い物に便利だから」が 24.4%となっている。

年齢別でみると、20代の層と60歳以上の層において、「自然環境が良いから」が高くなっている。

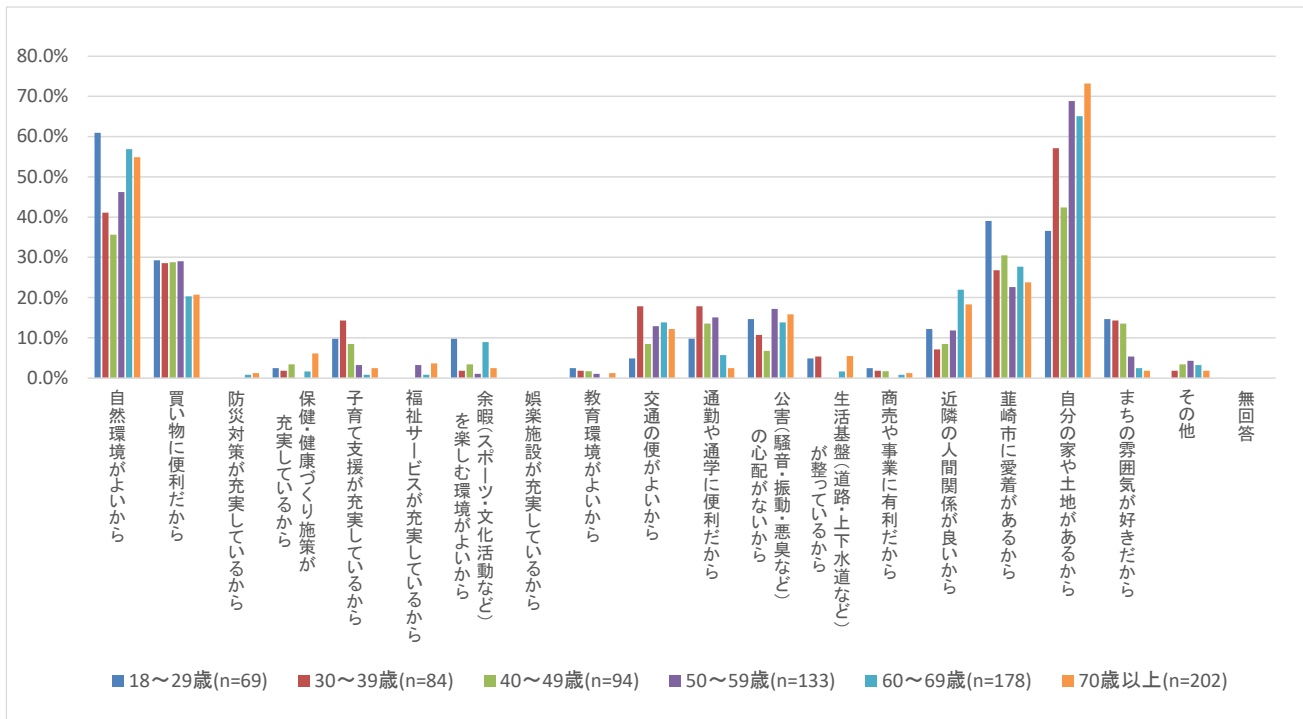
また従前の居住地別に見ると、山梨県外から転入してきた人は「自然環境が良いから」が高くなっている。

	件数	比率
総数	536	100.0%
自然環境がよいから	272	50.7%
買い物に便利だから	131	24.4%
防災対策が充実しているから	3	0.6%
保健・健康づくり施策が充実しているから	16	3.0%
子育て支援が充実しているから	25	4.7%
福祉サービスが充実しているから	10	1.9%
余暇(スポーツ・文化活動など)を楽しむ環境がよいから	23	4.3%
娯楽施設が充実しているから		0.0%
教育環境がよいから	6	1.1%
交通の便がよいから	66	12.3%
通勤や通学に便利だから	47	8.8%
公害(騒音・振動・悪臭など)の心配がないから	75	14.0%
生活基盤(道路・上下水道など)が整っているから	16	3.0%
商売や事業に有利だから	6	1.1%
近隣の人間関係が良いから	82	15.3%
韮崎市に愛着があるから	143	26.7%
自分の家や土地があるから	336	62.7%
まちの雰囲気が好きだから	33	6.2%
その他	14	2.6%
無回答		0.0%

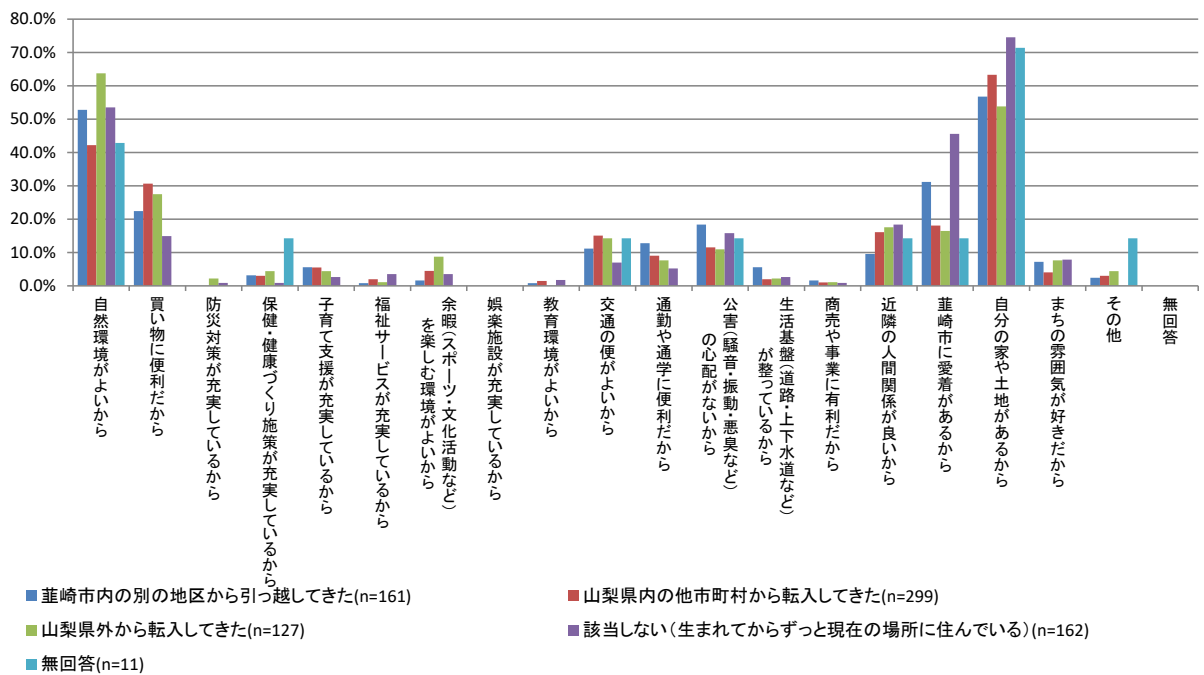
<その他> 親族が近くにいるから



■年齢別



■従前の居住地別



⑮ 住み続けたくない理由

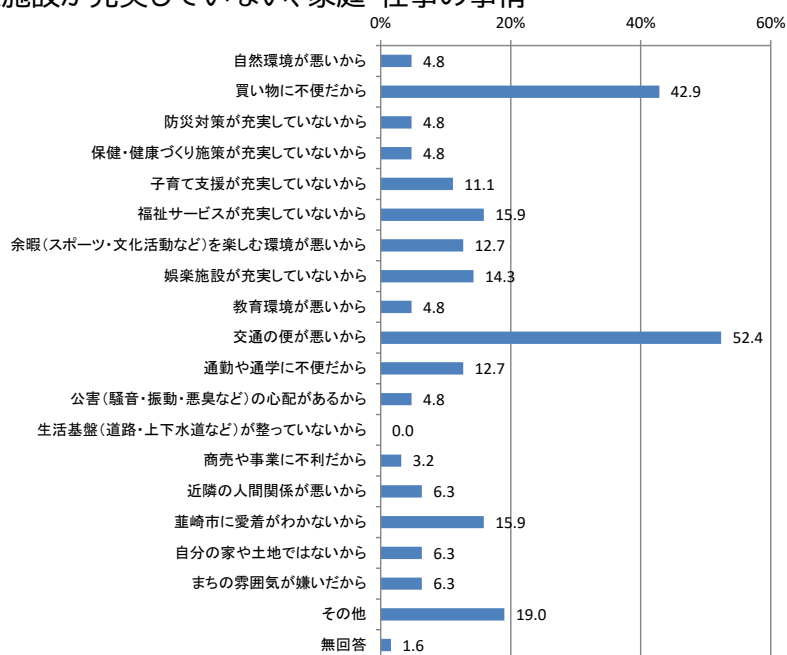
「交通の便が悪いから」が 52.4%と最も多く、次いで「買い物に不便だから」が 42.9%、「その他」が 19.0%、「福祉サービスが充実していないから」「韮崎市に愛着がわからないから」が 15.9%となっている。

年齢別でみると、20代の層と60歳以上の層において、「交通の便が悪いから」が高くなっている。

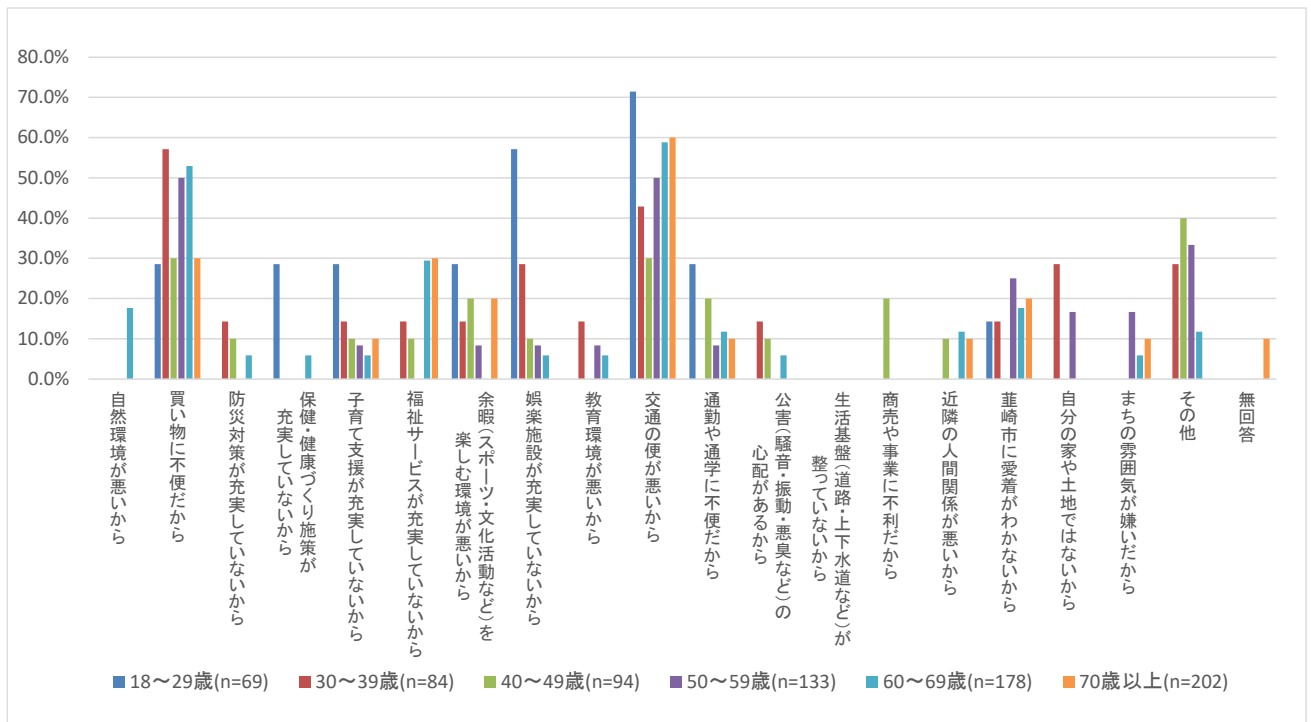
また従前の居住地別に見ると、外から転入してきた人においては、交通の便の悪さは、市内にいた人ほど高くない。

	件数	比率
総数	63	100.0%
自然環境が悪いから	3	4.8%
買い物に不便だから	27	42.9%
防災対策が充実していないから	3	4.8%
保健・健康づくり施策が充実していないから	3	4.8%
子育て支援が充実していないから	7	11.1%
福祉サービスが充実していないから	10	15.9%
余暇(スポーツ・文化活動など)を楽しむ環境が悪いから	8	12.7%
娯楽施設が充実していないから	9	14.3%
教育環境が悪いから	3	4.8%
交通の便が悪いから	33	52.4%
通勤や通学に不便だから	8	12.7%
公害(騒音・振動・悪臭など)の心配があるから	3	4.8%
生活基盤(道路・上下水道など)が整っていないから		0.0%
商売や事業に不利だから	2	3.2%
近隣の人間関係が悪いから	4	6.3%
韮崎市に愛着がわからないから	10	15.9%
自分の家や土地ではないから	4	6.3%
まちの雰囲気嫌いだから	4	6.3%
その他	12	19.0%
無回答	1	1.6%

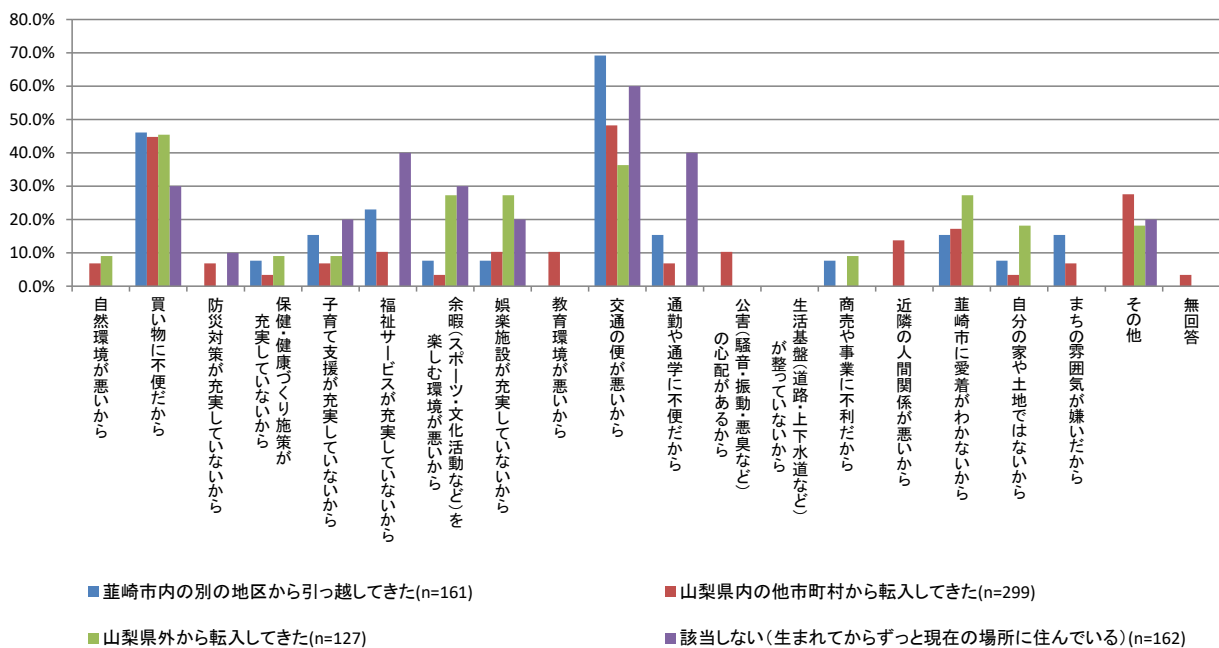
<その他> 医療施設が充実していない、家庭・仕事の事情



■年齢別



■従前の居住地別



⑩ 韮崎市は将来どのようなまちを目指していくべきか

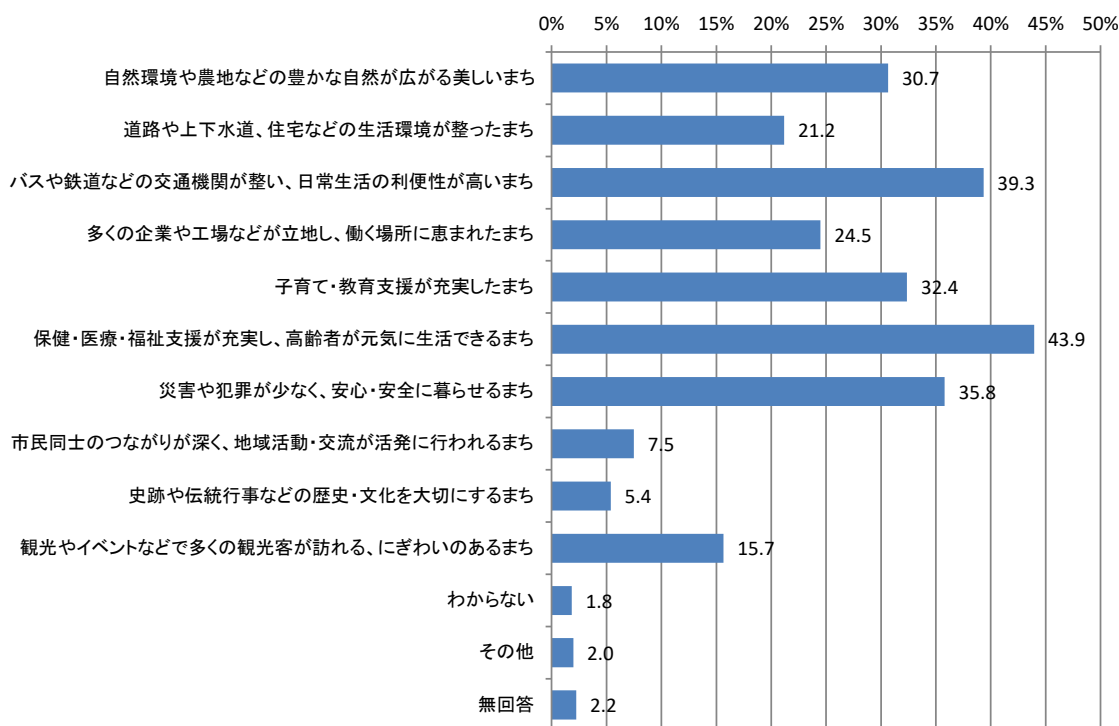
「保健・医療・福祉支援が充実し、高齢者が元気に生活できるまち」が43.9%と最も多く、次いで「バスや鉄道などの交通機関が整い、日常生活の利便性が高いまち」が39.3%、「災害や犯罪が少なく、安心・安全に暮らせるまち」が35.8%、「子育て・教育支援が充実したまち」が32.4%となっている。

年齢別に見ると、30代前後は子育て・教育支援(子育て・教育支援が充実したまち)のニーズが高く、高齢者ほど保健・医療・福祉支援(保健・医療・福祉支援が充実し、高齢者が元気に生活できるまち)のニーズが高い。また安全・安心はどの世代においても高くなっている。

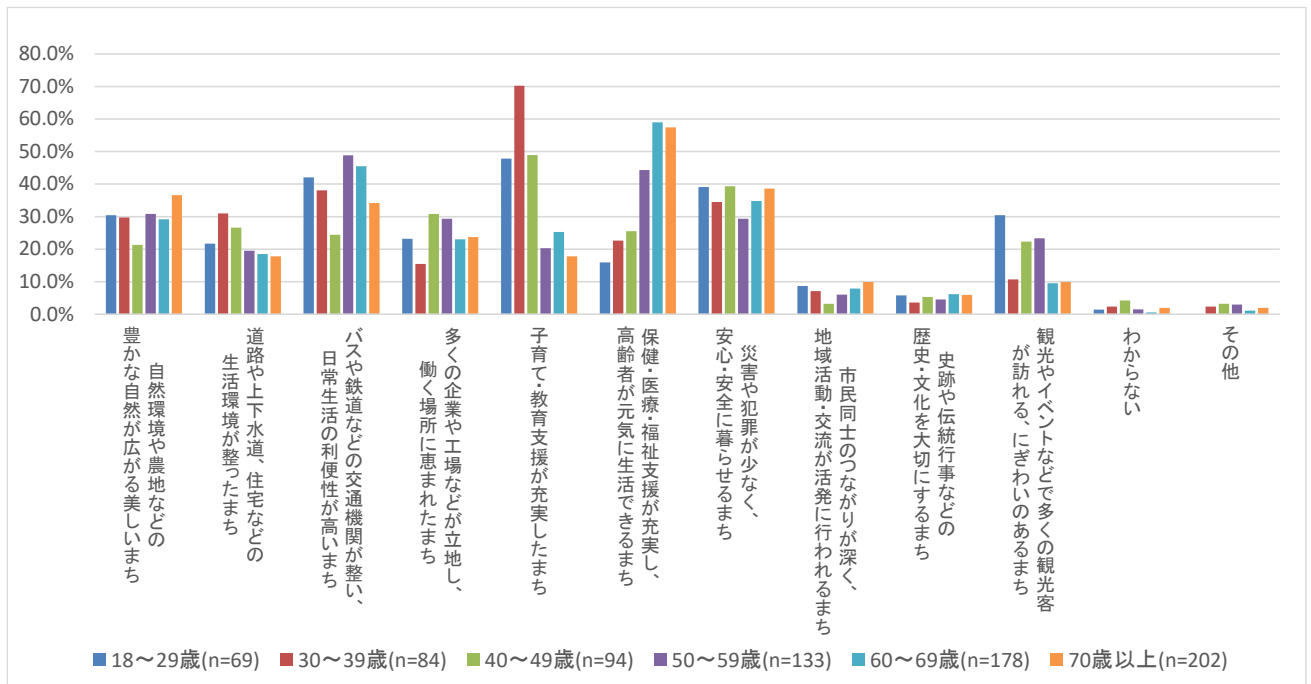
性別では、女性の方が、日常生活の利便性(バスや鉄道などの交通機関が整い、日常生活の利便性)が高いまち」のニーズが高くなっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
自然環境や農地などの豊かな自然が広がる美しいまち	233	30.7%
道路や上下水道、住宅などの生活環境が整ったまち	161	21.2%
バスや鉄道などの交通機関が整い、日常生活の利便性が高いまち	299	39.3%
多くの企業や工場などが立地し、働く場所に恵まれたまち	186	24.5%
子育て・教育支援が充実したまち	246	32.4%
保健・医療・福祉支援が充実し、高齢者が元気に生活できるまち	334	43.9%
災害や犯罪が少なく、安心・安全に暮らせるまち	272	35.8%
市民同士のつながりが深く、地域活動・交流が活発に行われるまち	57	7.5%
史跡や伝統行事などの歴史・文化を大切にすまち	41	5.4%
観光やイベントなどで多くの観光客が訪れる、にぎわいのあるまち	119	15.7%
わからない	14	1.8%
その他	15	2.0%
無回答	17	2.2%

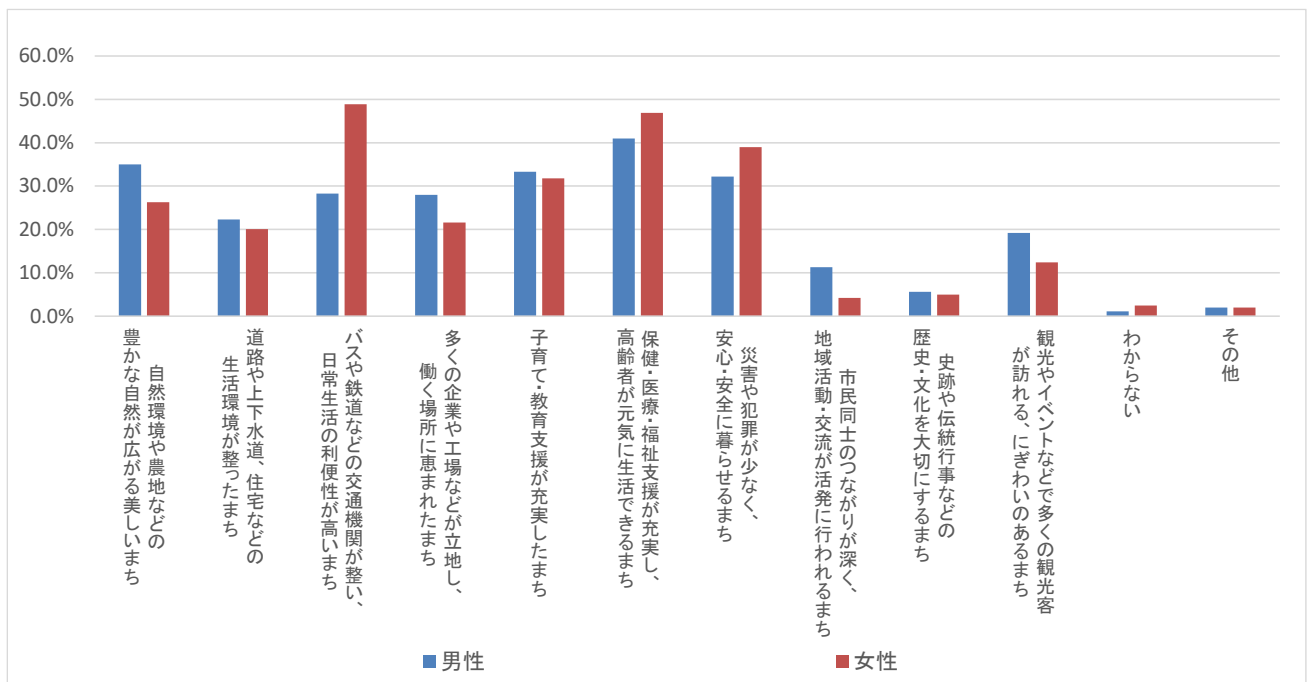
<その他> 若者支援(定着、活躍できる場)、生活環境の改善(買い物)、住環境の改善(除草、衛生面)



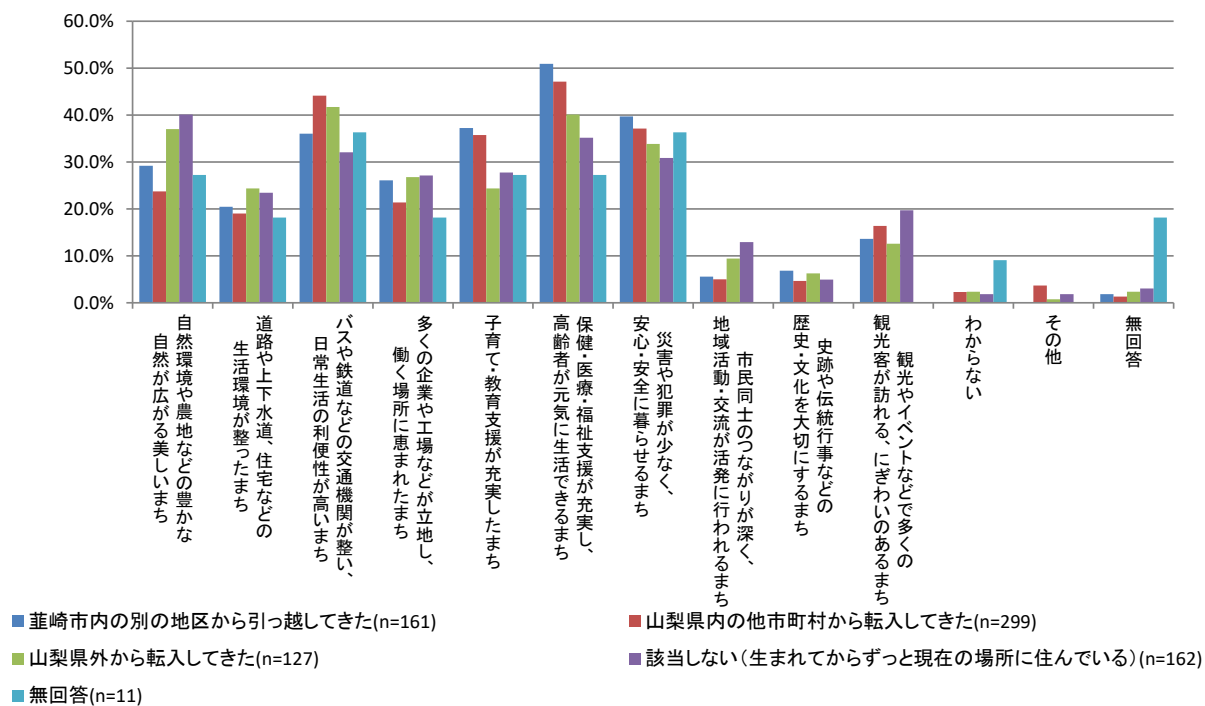
■年齢別



■性別



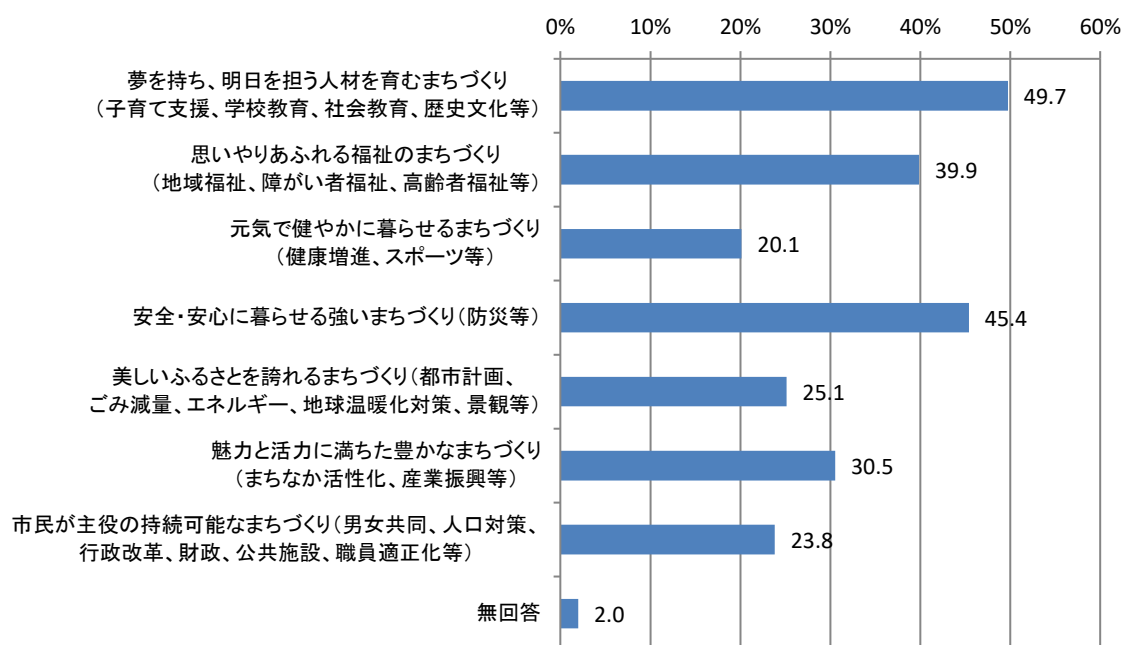
■従前の居住地別



⑰ 将来目指すべきまちの姿に向けて、特に重要だと思うもの

「夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)」が49.7%と最も多く、次いで「安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)」が45.4%、「思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)」が39.9%、「魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)」が30.5%となっている。

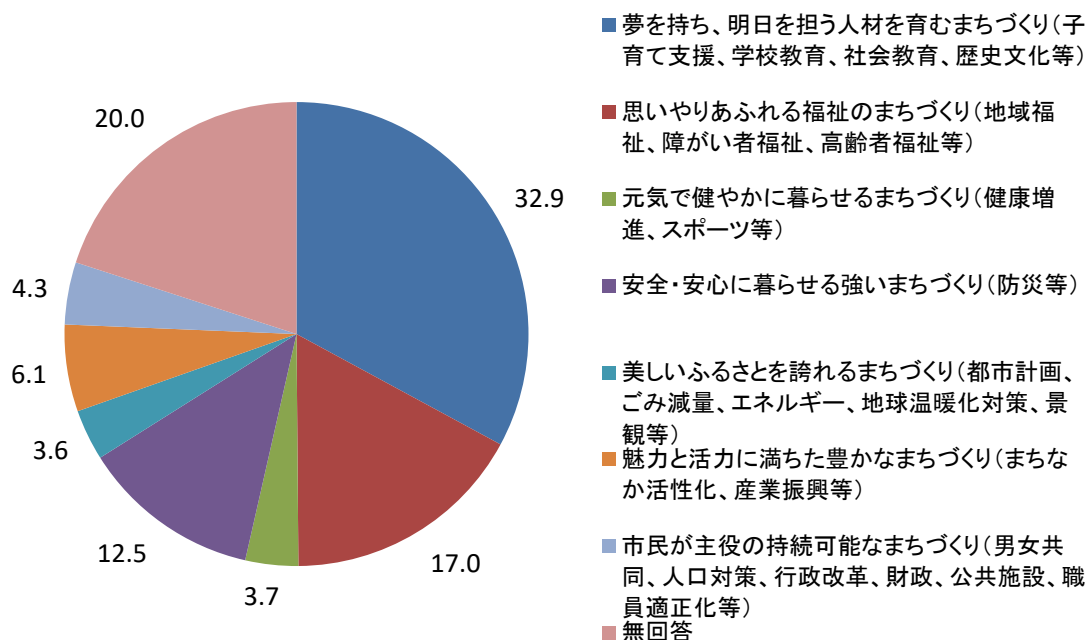
	件数	比率
総数	760	100.0%
夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)	378	49.7%
思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)	303	39.9%
元気で健やかに暮らせるまちづくり(健康増進、スポーツ等)	153	20.1%
安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)	345	45.4%
美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)	191	25.1%
魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)	232	30.5%
市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同、人口対策、行政改革、財政、公共施設、職員適正化等)	181	23.8%
無回答	15	2.0%



⑰-1. 特に重要だと思うもの(一つ目)

「夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)」が 32.9%と最も多く、次いで「思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)」が 17.0%、「安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)」が 12.5%、「魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)」が 6.1%となっている。

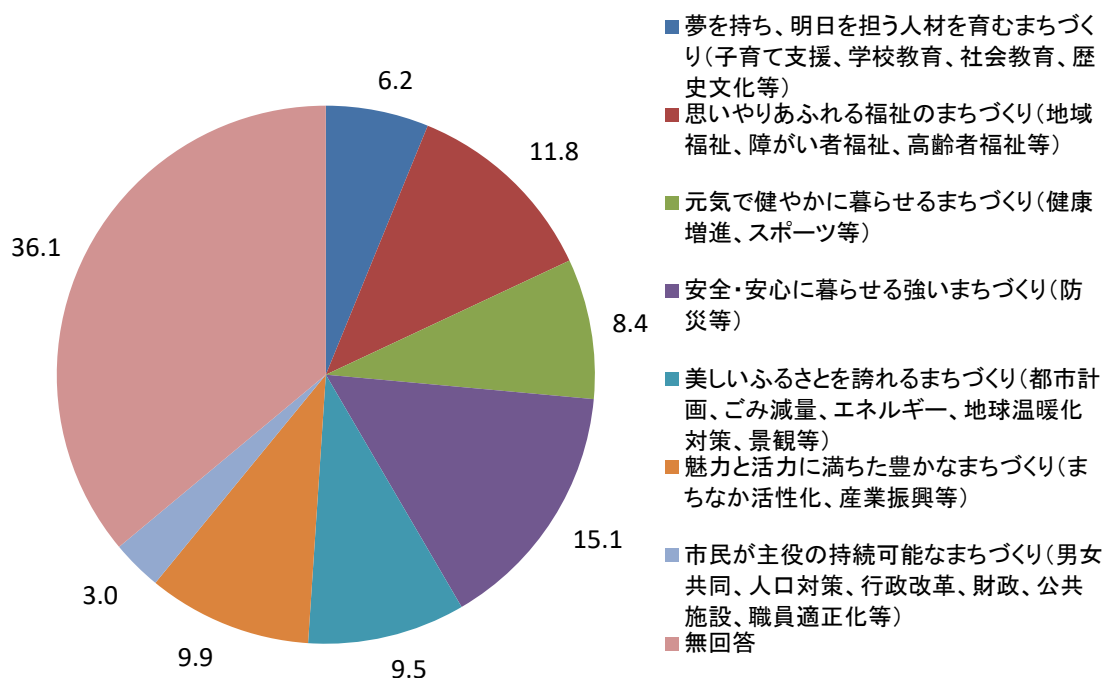
	件数	比率
総数	760	100.0%
夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)	250	32.9%
思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)	129	17.0%
元気で健やかに暮らせるまちづくり(健康増進、スポーツ等)	28	3.7%
安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)	95	12.5%
美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)	27	3.6%
魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)	46	6.1%
市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同、人口対策、行政改革、財政、公共施設、職員適正化等)	33	4.3%
無回答	152	20.0%



⑰-2. 特に重要だと思うもの(二つ目)

「安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)」が 15.1%と最も多く、次いで「思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)」が 11.8%、「魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)」が 9.9%、「美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)」が 9.5%となっている。

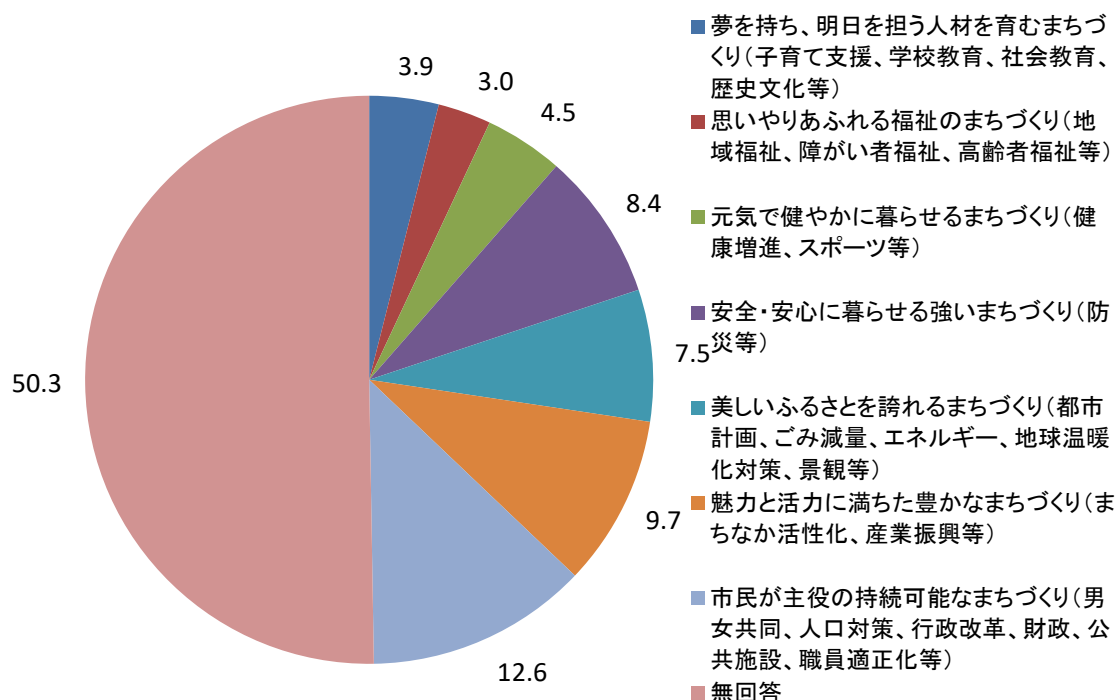
	件数	比率
総数	760	100.0%
夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)	30	3.9%
思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)	23	3.0%
元気で健やかに暮らせるまちづくり(健康増進、スポーツ等)	34	4.5%
安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)	64	8.4%
美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)	57	7.5%
魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)	74	9.7%
市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同、人口対策、行政改革、財政、公共施設、職員適正化等)	96	12.6%
無回答	382	50.3%



⑰-3. 特に重要だと思うもの(三つ目)

「市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同、人口対策、行政改革、財政、公共施設、職員適正化等)」が12.6%と最も多く、次いで「魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)」が9.7%、「安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)」が8.4%、「美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)」が7.5%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり(子育て支援、学校教育、社会教育、歴史文化等)	30	3.9%
思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉、障がい者福祉、高齢者福祉等)	23	3.0%
元気で健やかに暮らせるまちづくり(健康増進、スポーツ等)	34	4.5%
安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)	64	8.4%
美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画、ごみ減量、エネルギー、地球温暖化対策、景観等)	57	7.5%
魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化、産業振興等)	74	9.7%
市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同、人口対策、行政改革、財政、公共施設、職員適正化等)	96	12.6%
無回答	382	50.3%



⑱(⑰)で選んだテーマについて、重要だと思うこと

● 夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり

子育て支援:73件

学校教育:42件

少子化・人口対策:29件

● 思いやりあふれる福祉のまちづくり(地域福祉・障がい・高齢)

高齢者福祉・介護:52件

障害者福祉:7件

交通・道路:7件

● 安全・安心に暮らせる強いまちづくり(防災等)

防災:36件

防犯・治安:8件

交通・道路/コミュニティ:各3件

● 魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり(まちなか活性化・産業振興)

商業・中心市街地・観光:10件

産業・雇用・企業誘致:9件

少子化・人口対策:5件

● 美しいふるさとを誇れるまちづくり(都市計画・ごみ・エネルギー・景観)

都市計画・景観・環境:15件

● 元気で健やかに暮らせるまちづくり(健康増進・スポーツ)

スポーツ・健康増進:10件

医療・病院:2件

● 市民が主役の持続可能なまちづくり(男女共同・人口・行政改革・財政)

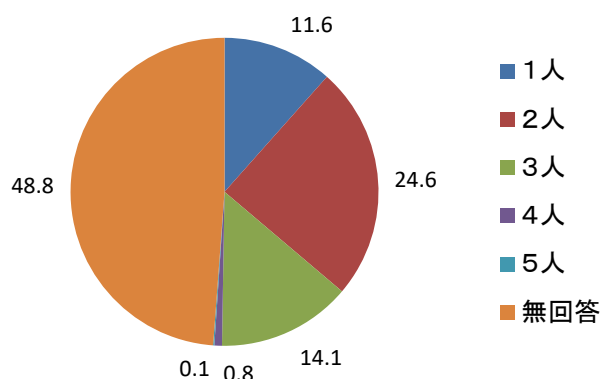
少子化・人口対策:10件

行財政・行政改革・公共施設:4件

⑱ 子どもの人数

「2人」が 24.6%と最も多く、次いで「3人」が 14.1%、「1人」が 11.6%、「4人」が 0.8%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
1人	88	11.6%
2人	187	24.6%
3人	107	14.1%
4人	6	0.8%
5人	1	0.1%
無回答	371	48.8%



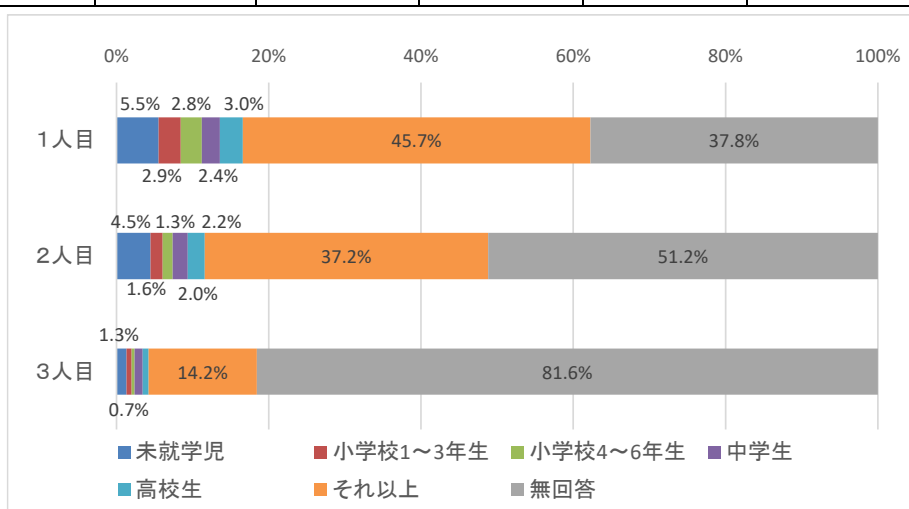
⑱-1. 子どもの年齢

1人目は「それ以上」が 45.7%と最も多く、次いで「未就学児」が 5.5%、「高校生」が 3.0%、「小学校 1～3 年生」が 2.9%となっている。

2人目は「それ以上」が 37.2%と最も多く、次いで「未就学児」が 4.5%、「高校生」が 2.2%、「中学生」が 2.0%となっている。

3人目は「それ以上」が 14.2%と最も多く、次いで「未就学児」が 1.3%、「中学生」が 1.1%、「高校生」が 0.8%となっている。

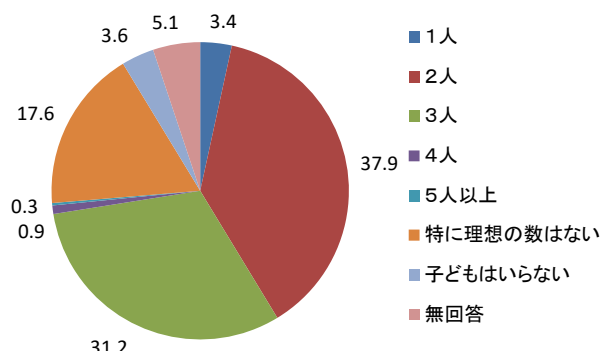
	件数			比率		
	1人目	2人目	3人目	1人目	2人目	3人目
総数	760	760	760	100.0%	100.0%	100.0%
未就学児	42	34	10	5.5%	4.5%	1.3%
小学校 1～3 年生	22	12	5	2.9%	1.6%	0.7%
小学校 4～6 年生	21	10	3	2.8%	1.3%	0.4%
中学生	18	15	8	2.4%	2.0%	1.1%
高校生	23	17	6	3.0%	2.2%	0.8%
それ以上	347	283	108	45.7%	37.2%	14.2%
無回答	287	389	620	37.8%	51.2%	81.6%



⑩理想とする子どもの数

「2人」が37.9%と最も多く、次いで「3人」が31.2%、「特に理想の数はない」が17.6%、「子どもはいない」が3.6%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
1人	26	3.4%
2人	288	37.9%
3人	237	31.2%
4人	7	0.9%
5人以上	2	0.3%
特に理想の数はない	134	17.6%
子どもはいない	27	3.6%
無回答	39	5.1%

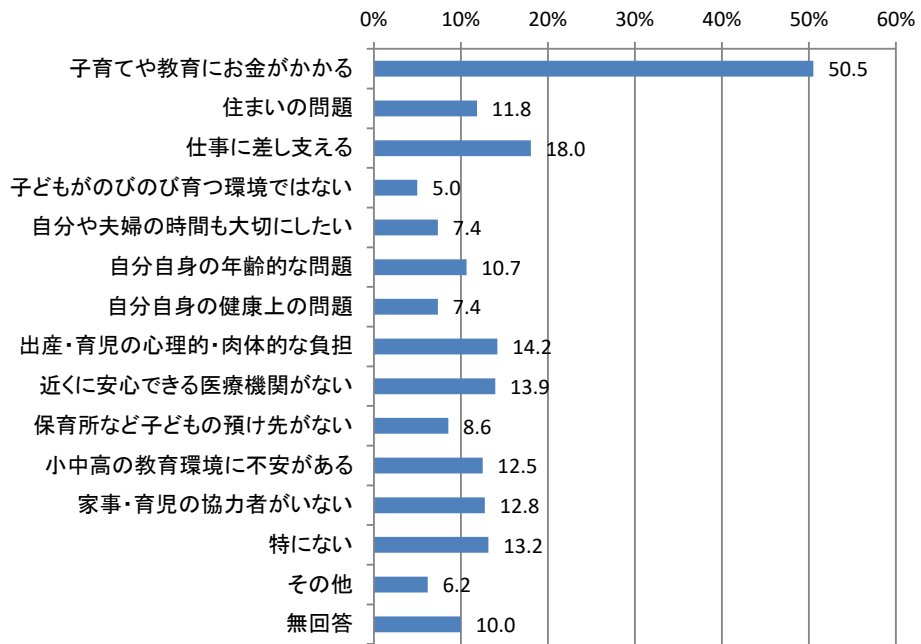


⑪ 蕪崎市で子育てをする場合に、支障となること(または支障になりそうなこと)

「子育てや教育にお金がかかる」が50.5%と最も多く、次いで「仕事に差し支える」が18.0%、「出産・育児の心理的・肉体的な負担」が14.2%、「近くに安心できる医療機関がない」が13.9%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
子育てや教育にお金がかかる	384	50.5%
住まいの問題	90	11.8%
仕事に差し支える	137	18.0%
子どもがのびのび育つ環境ではない	38	5.0%
自分や夫婦の時間も大切にしたい	56	7.4%
自分自身の年齢的な問題	81	10.7%
自分自身の健康上の問題	56	7.4%
出産・育児の心理的・肉体的な負担	108	14.2%
近くに安心できる医療機関がない	106	13.9%
保育所など子どもの預け先がない	65	8.6%
小中高の教育環境に不安がある	95	12.5%
家事・育児の協力者がいない	97	12.8%
特にない	100	13.2%
その他	47	6.2%
無回答	76	10.0%

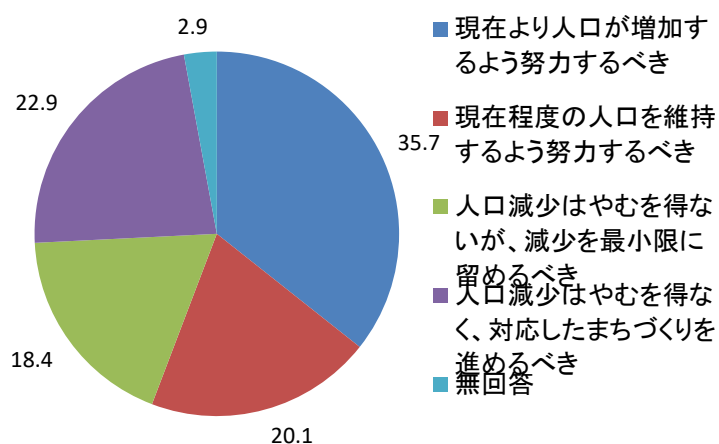
<その他> 交通の便が悪い(通学の不便さ)、子どもの遊び場・交流をはかる場が少ない



② 韮崎市における人口減少対策への取組について、考えに最も近いもの

「現在より人口が増加するよう努力すべき」が35.7%と最も多く、次いで「人口減少はやむを得なく、対応したまちづくりを進めるべき」が22.9%、「現在程度の人口を維持するよう努力すべき」が20.1%、「人口減少はやむを得ないが、減少を最小限に留めるべき」が18.4%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
現在より人口が増加するよう努力すべき	271	35.7%
現在程度の人口を維持するよう努力すべき	153	20.1%
人口減少はやむを得ないが、減少を最小限に留めるべき	140	18.4%
人口減少はやむを得なく、対応したまちづくりを進めるべき	174	22.9%
無回答	22	2.9%

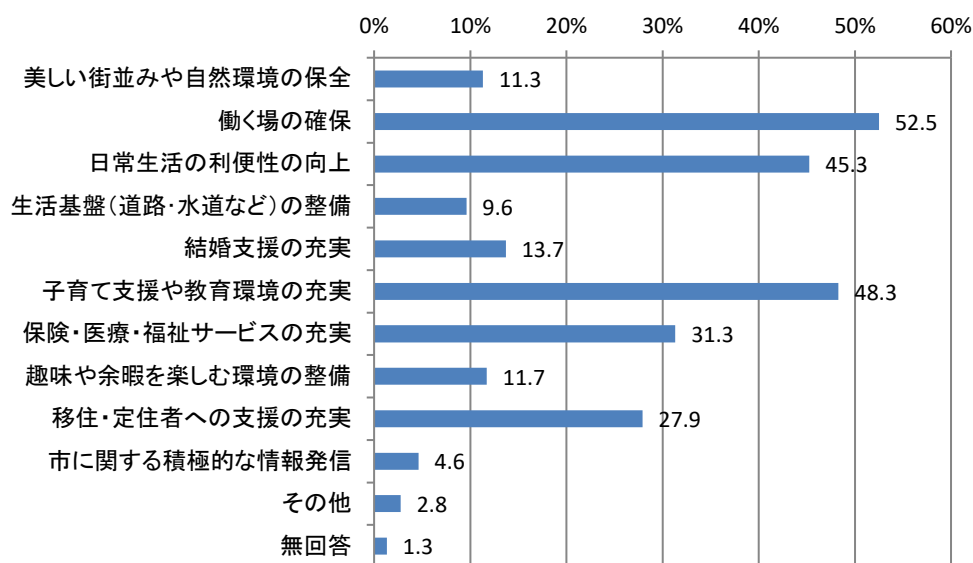


③ 市の人口減少に歯止めをかけるために、特に必要なこと

「働く場の確保」が 52.5%と最も多く、次いで「子育て支援や教育環境の充実」が 48.3%、「日常生活の利便性の向上」が 45.3%、「保険・医療・福祉サービスの充実」が 31.3%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
美しい街並みや自然環境の保全	86	11.3%
働く場の確保	399	52.5%
日常生活の利便性の向上	344	45.3%
生活基盤(道路・水道など)の整備	73	9.6%
結婚支援の充実	104	13.7%
子育て支援や教育環境の充実	367	48.3%
保険・医療・福祉サービスの充実	238	31.3%
趣味や余暇を楽しむ環境の整備	89	11.7%
移住・定住者への支援の充実	212	27.9%
市に関する積極的な情報発信	35	4.6%
その他	21	2.8%
無回答	10	1.3%

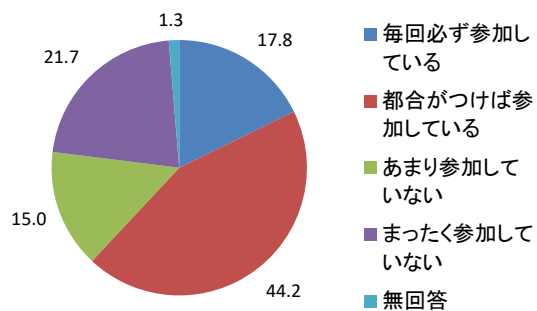
<その他> 補助金や減税などの充実



④ 地域活動(自治会、子ども会、美化活動など)への参加程度

「都合がつけば参加している」が44.2%と最も多く、次いで「まったく参加していない」が21.7%、「毎回必ず参加している」が17.8%、「あまり参加していない」が15.0%となっている。

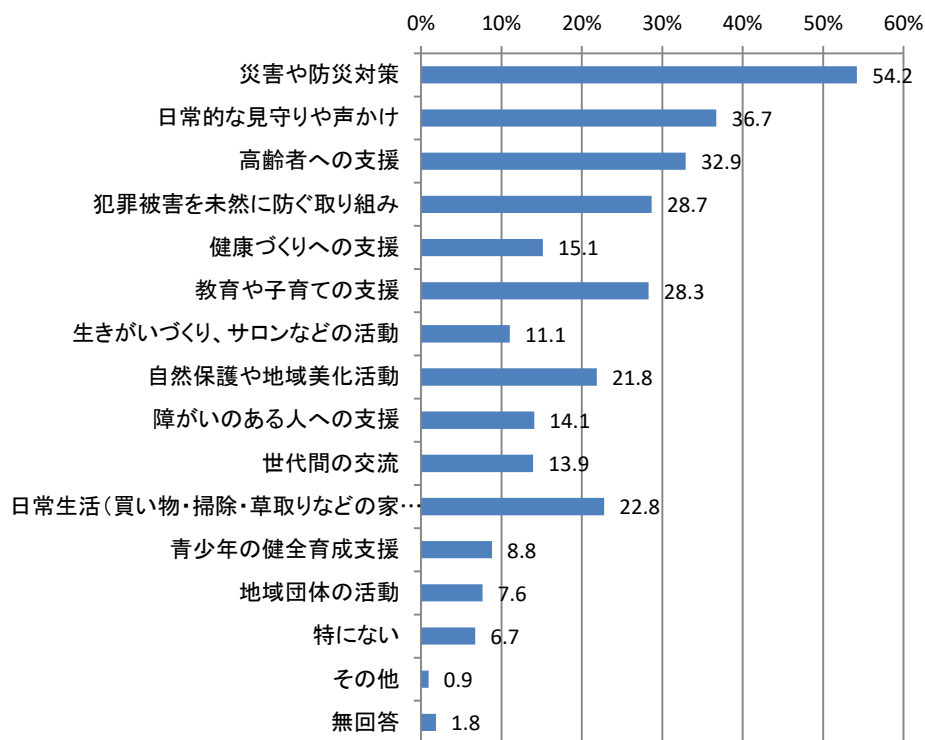
	件数	比率
総数	760	100.0%
毎回必ず参加している	135	17.8%
都合がつけば参加している	336	44.2%
あまり参加していない	114	15.0%
まったく参加していない	165	21.7%
無回答	10	1.3%



⑤ 地域生活の中で、地域の人が協力して取り組むことについて、特に期待すること

「災害や防災対策」が 54.2%と最も多く、次いで「日常的な見守りや声かけ」が 36.7%、「高齢者への支援」が 32.9%、「犯罪被害を未然に防ぐ取り組み」が 28.7%となっている。

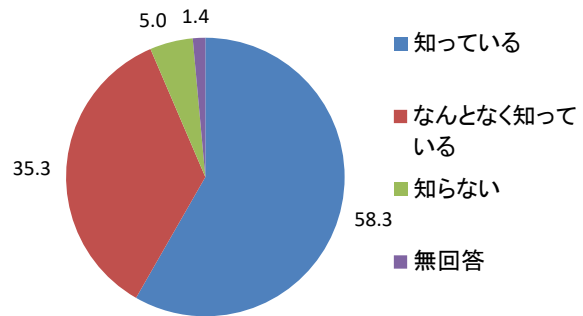
	件数	比率
総数	760	100.0%
災害や防災対策	412	54.2%
日常的な見守りや声かけ	279	36.7%
高齢者への支援	250	32.9%
犯罪被害を未然に防ぐ取り組み	218	28.7%
健康づくりへの支援	115	15.1%
教育や子育ての支援	215	28.3%
生きがいづくり、サロンなどの活動	84	11.1%
自然保護や地域美化活動	166	21.8%
障がいのある人への支援	107	14.1%
世代間の交流	106	13.9%
日常生活(買い物・掃除・草取りなどの家事、軽作業)の協力	173	22.8%
青少年の健全育成支援	67	8.8%
地域団体の活動	58	7.6%
特にない	51	6.7%
その他	7	0.9%
無回答	14	1.8%



②⑥ 災害が発生した際の避難所や避難経路の認知

「知っている」が 58.3%と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が 35.3%、「知らない」が 5.0%となっている。

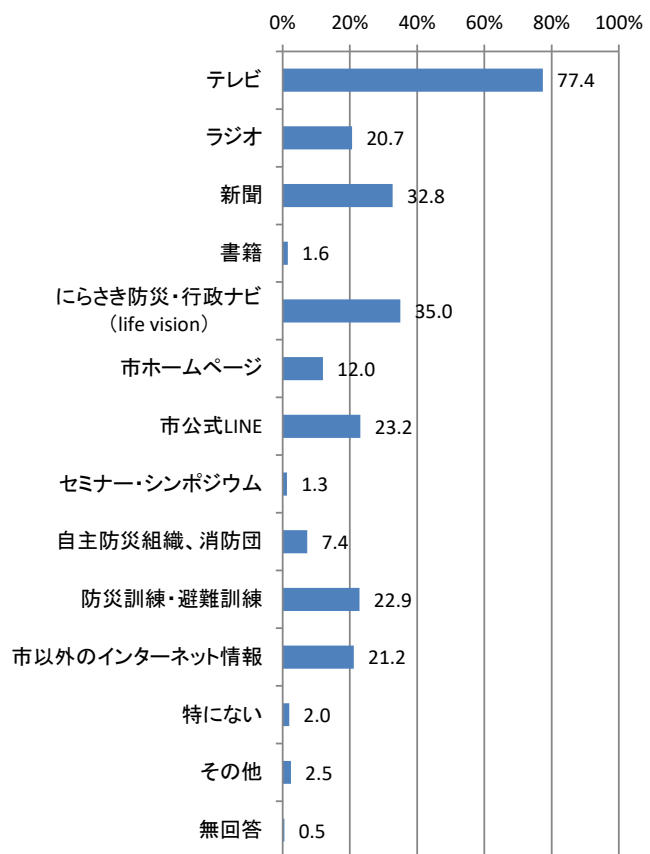
	件数	比率
総数	760	100.0%
知っている	443	58.3%
なんとなく知っている	268	35.3%
知らない	38	5.0%
無回答	11	1.4%



②⑦ ふだん災害の危険性に関する知識や情報の入手手段

「テレビ」が 77.4%と最も多く、次いで「にらさき防災・行政ナビ(life vision)」が 35.0%、「新聞」が 32.8%、「市公式 LINE」が 23.2%となっている。

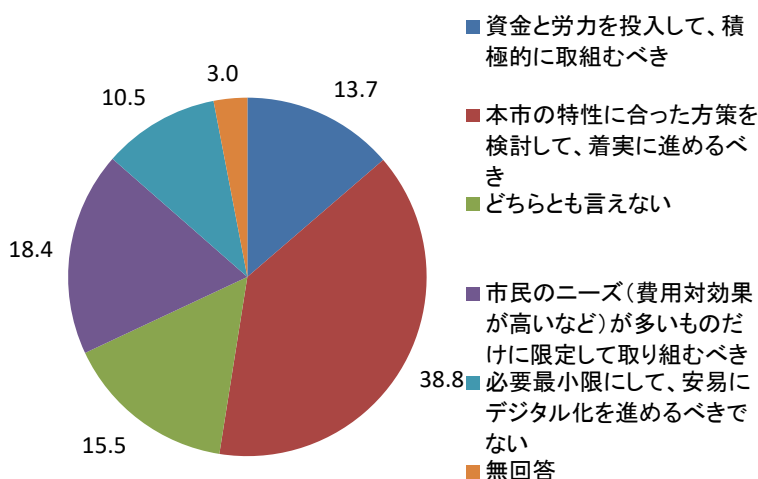
	件数	比率
総数	760	100.0%
テレビ	588	77.4%
ラジオ	157	20.7%
新聞	249	32.8%
書籍	12	1.6%
にらさき防災・行政ナビ (life vision)	266	35.0%
市ホームページ	91	12.0%
市公式 LINE	176	23.2%
セミナー・シンポジウム	10	1.3%
自主防災組織、消防団	56	7.4%
防災訓練・避難訓練	174	22.9%
市以外の インターネット情報	161	21.2%
特にない	15	2.0%
その他	19	2.5%
無回答	4	0.5%



<その他> 市の広報、防災マップ、回覧板、市の無線

⑳ 蕪崎市における行政及び自治会へのデジタル化に対する取組みについて、最も考えに近いもの「本市の特性に合った方策を検討して、着実に進めるべき」が38.8%と最も多く、次いで「市民のニーズ(費用対効果が高いなど)が多いものだけに限定して取り組むべき」が18.4%、「どちらとも言えない」が15.5%、「資金と労力を投入して、積極的に取り組むべき」が13.7%となっている。

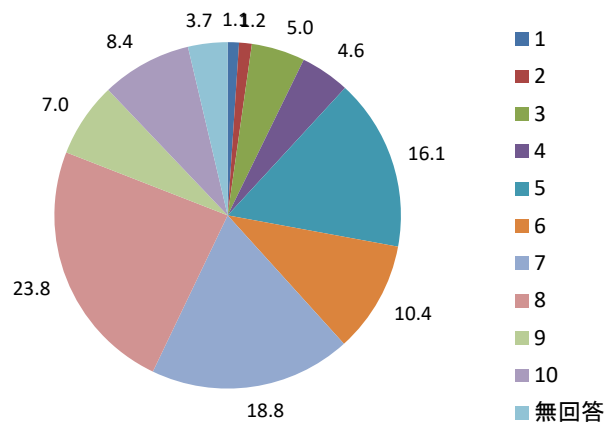
	件数	比率
総数	760	100.0%
資金と労力を投入して、積極的に取り組むべき	104	13.7%
本市の特性に合った方策を検討して、着実に進めるべき	295	38.8%
どちらとも言えない	118	15.5%
市民のニーズ(費用対効果が高いなど)が多いものだけに限定して取り組むべき	140	18.4%
必要最小限にして、安易にデジタル化を進めるべきでない	80	10.5%
無回答	23	3.0%



㊹ 幸せと感じている度合

「8」が23.8%と最も多く、次いで「7」が18.8%、「5」が16.1%、「6」が10.4%となっている。
また平均値は、「6.73」となっている。

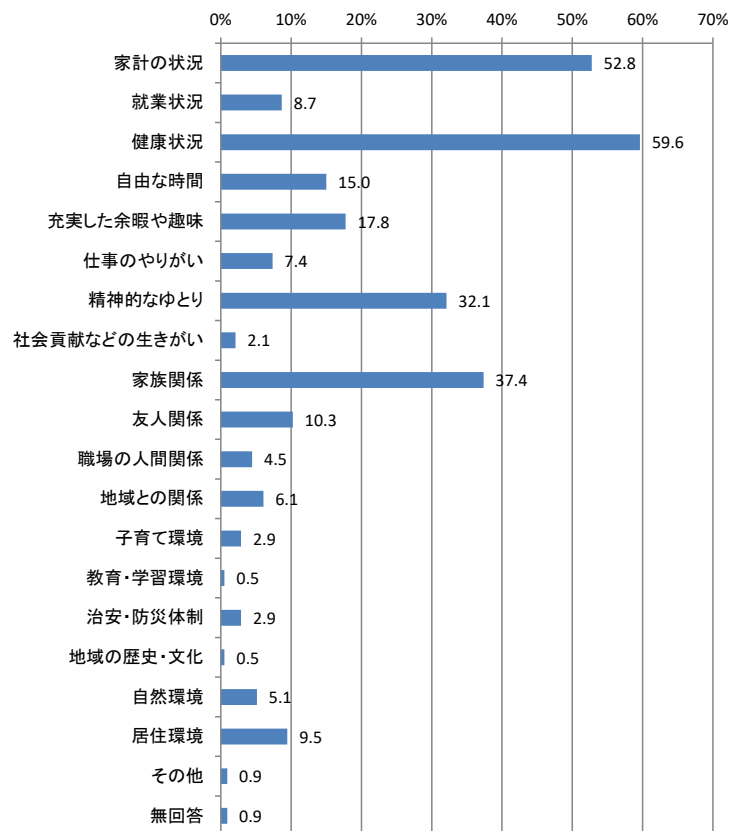
	件数	比率
総数	760	100.0%
1	8	1.1%
2	9	1.2%
3	38	5.0%
4	35	4.6%
5	122	16.1%
6	79	10.4%
7	143	18.8%
8	181	23.8%
9	53	7.0%
10	64	8.4%
無回答	28	3.7%



㊺ 幸せかどうかの判断基準として特に重要なもの

「健康状況」が59.6%と最も多く、次いで「家計の状況」が52.8%、「家族関係」が37.4%、「精神的なゆとり」が32.1%となっている。

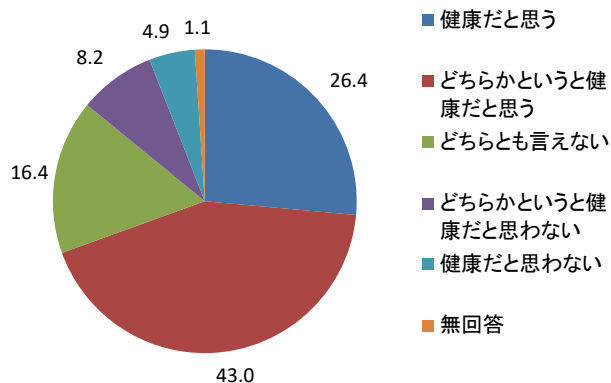
	件数	比率
総数	760	100.0%
家計の状況	401	52.8%
就業状況	66	8.7%
健康状況	453	59.6%
自由な時間	114	15.0%
充実した余暇や趣味	135	17.8%
仕事のやりがい	56	7.4%
精神的なゆとり	244	32.1%
社会貢献などの生きがい	16	2.1%
家族関係	284	37.4%
友人関係	78	10.3%
職場の人間関係	34	4.5%
地域との関係	46	6.1%
子育て環境	22	2.9%
教育・学習環境	4	0.5%
治安・防災体制	22	2.9%
自然環境	39	5.1%
居住環境	72	9.5%
その他	7	0.9%
無回答	7	0.9%



③ 身体的・精神的な健康状態

「どちらかという健康だと思う」が43.0%と最も多く、次いで「健康だと思う」が26.4%、「どちらとも言えない」が16.4%、「どちらかという健康だと思わない」が8.2%となっている。

	件数	比率
総数	760	100.0%
健康だと思う	201	26.4%
どちらかという健康だと思う	327	43.0%
どちらとも言えない	125	16.4%
どちらかという健康だと思わない	62	8.2%
健康だと思わない	37	4.9%
無回答	8	1.1%



③ 韮崎市のイメージ

カテゴリー	件数
自然・環境	122
都市の特徴・魅力	123
地域性・人の温かさ	118
商業・利便性	86
交通・アクセス	82
スポーツ・文化	73
子育て・教育環境	32
その他	71

<主な意見>

●自然・環境

- ・自然災害が少ない。桃・ぶどう・富士山の景観が素晴らしい」
- ・近隣での工事により、畑の盛土が高くなり景色が遮られた。移住の決め手だった眺望が失われ残念
- ・自然環境が良く、農・工・商のバランスも良いが、人口は微減傾向」

●都市の特徴・魅力

- ・農・工・商のバランスが良い。企業・住宅誘致や都市計画の見直しで人口増を
- ・田舎すぎず都会すぎずちょうど良い。本町通りの継続的な発展を期待
- ・観光の目玉に乏しい。特産・史跡・工場をつなぐ観光ルートの整備を

●地域性・人の温かさ

- ・自然環境は良いが人口動態の偏りが気になる。住宅や学区のバランスに配慮
- ・良くも悪くも地元愛が強く、閉鎖的な面も。新住民の意見が通りにくい
- ・移住者も増え平和な町。若者は減少傾向だが、イベントで活気

●商業・利便性

- ・買い物しやすい。新しい店も増え、子育て施設や体育館も気軽に利用できる
- ・商業施設が充実、飲食店も多い。イベントが多く文化的な街
- ・若い人の出店が増え、街に活気が出てきた

●交通・アクセス

- ・活性化は理解するが、中心部の駐車場が不足。無断駐車も多く来訪に勧めにくい
- ・IC や中央本線(特急あずさ)がありアクセス良好。田舎にいながら都心へ出やすい
- ・地域差はあるが公共交通が少ない。車が使えない高齢者の足が課題

●スポーツ・文化

- ・歴史と伝統、スポーツ、大村先生
- ・大村美術館、わに塚の桜、市制祭などを市内外に勧めたい。のんびり街歩きができる
- ・イベントが多い。文化的な街という印象

●子育て・教育環境

- ・小学校の給食が美味しく栄養バランス良好。地場食材で郷土理解も深まる
- ・子育て支援が充実。通学路の安全対策(ガードレール)も評価
- ・駅近の子育て施設(ニラチビ等)や青少年育成機関が先進的。体育館・公園も整備

③ 韮崎市のこれからに向けて期待することや提案

カテゴリー	件数
自然・環境	119
交通・アクセス	142
商業・利便性	99
都市の特徴・魅力	97
子育て・教育環境	82
地域性・人の温かさ	60
スポーツ・文化	40
その他	238

<主な意見>

●自然・環境

- ・特に山に近い所に住んでいて、しかも若者が離れていく現状、農家が多く田畑も広く所有しており高齢化が進み、草も多く生えて処理に困り道も徐々にふさがっている現状。農地故に転売も出来ず家を建てることも出来ないで、空き家も多く過疎地域になりかねない。
- ・駅前二コリの駐車場が24時間となり、料金もリーズナブルになった事はとても良かったです。街中は若人達がお店を開き市外からの人達も遊びに来ていて嬉しく思います。自然も豊かで山もあり、川もありなのでそれらを生かすツアーなどが沢山あると良いですね。

●交通・アクセス

- ・駅前二コリの駐車場が24時間となり、料金もリーズナブルになった事はとても良かったです。
- ・広報などでどこどこでリノベーションしたお店とか紹介されますが、駐車場が二コリからは距離があります。町中に市営駐車が格安であれば便利かと思えます。

●商業・利便性

- ・駅前二コリの駐車場が24時間となり、料金もリーズナブルになった事はとても良かったです。街中は若人達がお店を開き市外からの人達も遊びに来ていて嬉しく思います。
- ・夜間や休日などに子供が急に病気になったときすぐに近くで対応してもらえない事が多いので、医療体制の拡充を求めます。韮崎市内で買い物や遊びが完結出来るような大きな施設があると便利

●都市の特徴・魅力

- ・子どもの夜間救急など医療体制の拡充、観光客も楽しめる施設の整備。
- ・観光業を促進するのであれば、交通機関の充実と駐車場の確保が必要。(近隣スーパーとの協力案)
- ・塩川沿いのウォーキングコースやミニ花火大会など、地域の魅力を生かしたにぎわいづくりの提案

●子育て・教育環境

- ・夜間や休日などに子供が急に病気になったとき…医療体制の拡充、市内で完結する大型施設の要望
- ・子育てには二コリのようなセンターも必要だが、市の中心部に公園が欲しい。公共機関のバス本数をもっと増やして欲しい

●地域性・人の温かさ

- ・特に山に近い所に住んでいて、しかも若者が離れていく現状、農家が多く田畑も広く所有しており高齢化が進み、草も多く生えて処理に困り道も徐々にふさがっている現状
- ・藤井町に住んでいます。健康促進策として塩川沿いのウォーキングコースを整備してほしい

●スポーツ・文化

- ・観光資源を活かした周遊(トロッコ列車)など集客の仕組みを提案。(武田神社～大村智記念館～文化ホール など)
- ・サッカーのまちとして子どもが参加できるイベントの充実。

(4) 子育て世代アンケート

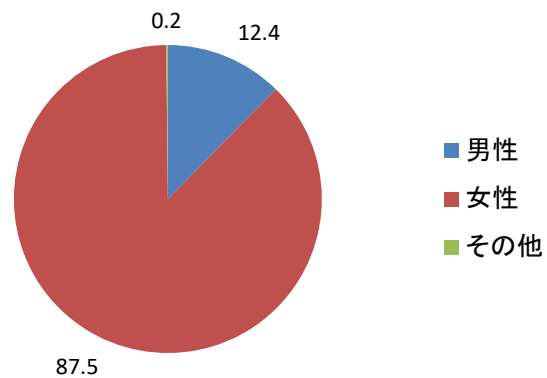
■調査概要

- ・実施日:令和7年10月20日~11月7日
- ・配布対象:子育て支援センター利用者、あんしんメール利用者(市内小・中学校に通学する子どもがいる保護者)、市内保育園・幼稚園に通園する子どもがいる保護者
- ・WEB フォームにて回答
- ・回収数:622 件

① 性別

「女性」が 87.5%と最も多く、次いで「男性」が 12.4%、「その他」が 0.2%となっている。

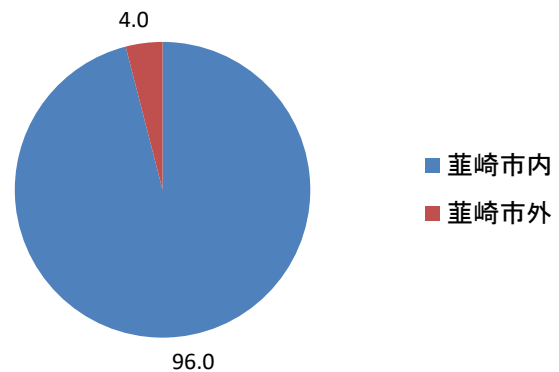
	件数	比率
総数	622	100.0%
男性	77	12.4%
女性	544	87.5%
その他	1	0.2%



② 住まい

「蕪崎市内」が 96.0%と最も多く、次いで「蕪崎市外」が 4.0%となっている。

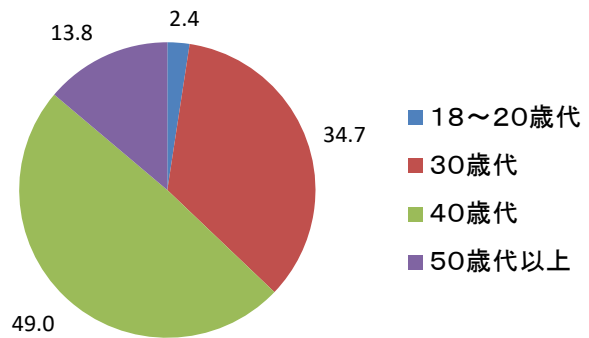
	件数	比率
総数	622	100.0%
蕪崎市内	597	96.0%
蕪崎市外	25	4.0%



③ 年代

「40歳代」が49.0%と最も多く、次いで「30歳代」が34.7%、「50歳代以上」が13.8%、「18～20歳代」が2.4%となっている。

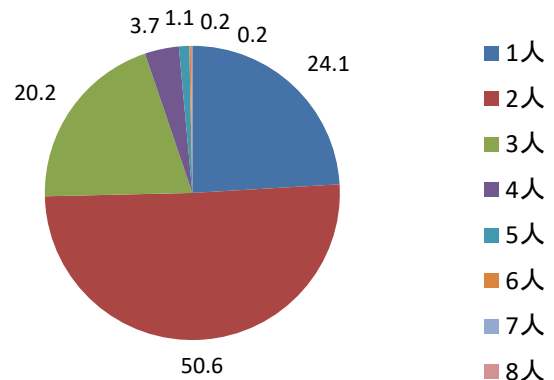
	件数	比率
総数	622	100.0%
18～20歳代	15	2.4%
30歳代	216	34.7%
40歳代	305	49.0%
50歳代以上	86	13.8%



④ 子どもの人数

「2人」が50.6%と最も多く、次いで「1人」が24.1%、「3人」が20.2%、「4人」が3.7%となっている。

	件数	比率
総数	615	100.0%
1人	148	24.1%
2人	311	50.6%
3人	124	20.2%
4人	23	3.7%
5人	7	1.1%
6人	1	0.2%
7人		
8人	1	0.2%



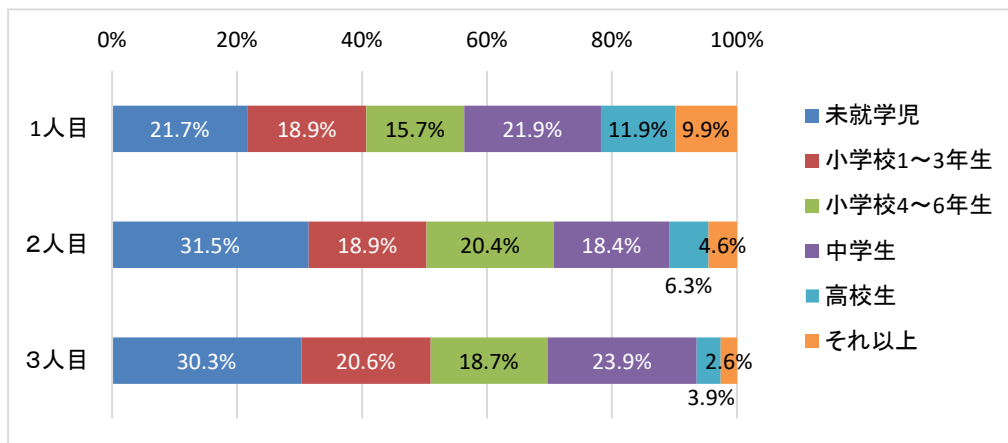
⑤ 子どもの年齢

1人目は「中学生」が21.9%と最も多く、次いで「未就学児」が21.7%、「小学校1～3年生」が18.9%、「小学校4～6年生」が15.7%となっている。

2人目は「未就学児」が31.5%と最も多く、次いで「小学校4～6年生」が20.4%、「小学校1～3年生」が18.9%、「中学生」が18.4%となっている。

3人目は「未就学児」が30.3%と最も多く、次いで「中学生」が23.9%、「小学校1～3年生」が20.6%、「小学校4～6年生」が18.7%となっている。

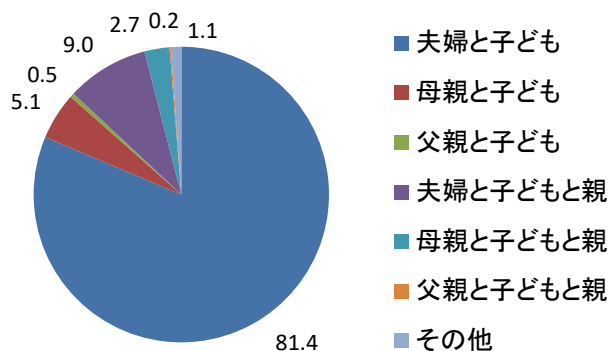
	件数			比率		
	1人目	2人目	3人目	1人目	2人目	3人目
総数	607	461	155	100.0%	100.0%	100.0%
未就学児	132	145	47	21.7%	31.5%	30.3%
小学校1～3年生	115	87	32	18.9%	18.9%	20.6%
小学校4～6年生	95	94	29	15.7%	20.4%	18.7%
中学生	133	85	37	21.9%	18.4%	23.9%
高校生	72	29	6	11.9%	6.3%	3.9%
それ以上	60	21	4	9.9%	4.6%	2.6%



⑥ 家族構成

「夫婦と子ども」が81.4%と最も多く、次いで「夫婦と子どもと親」が9.0%、「母親と子ども」が5.1%、「母親と子どもと親」が2.7%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
夫婦と子ども	506	81.4%
母親と子ども	32	5.1%
父親と子ども	3	0.5%
夫婦と子どもと親	56	9.0%
母親と子どもと親	17	2.7%
父親と子どもと親	1	0.2%
その他	7	1.1%



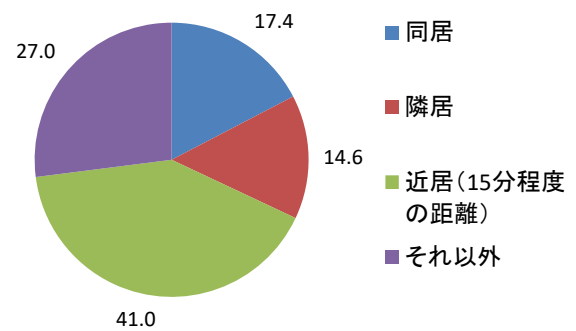
<その他>

- ・父母(夫婦)と祖母(親)
- ・父母と子どもと父兄

⑦ 親世帯との同居状況

「近居(15分程度の距離)」が41.0%と最も多く、次いで「それ以外」が27.0%、「同居」が17.4%、「隣居」が14.6%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
同居	108	17.4%
隣居	91	14.6%
近居(15分程度の距離)	255	41.0%
それ以外	168	27.0%



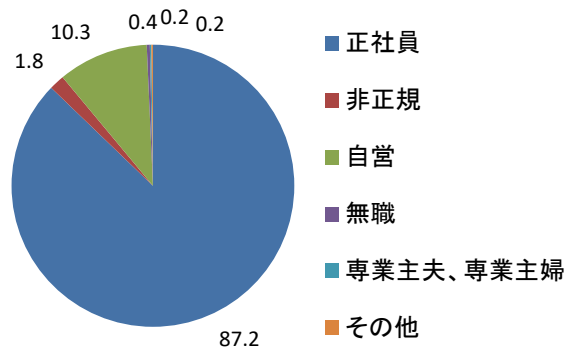
<その他>

市外・県内、県外・他県、海外、介護施設、死別

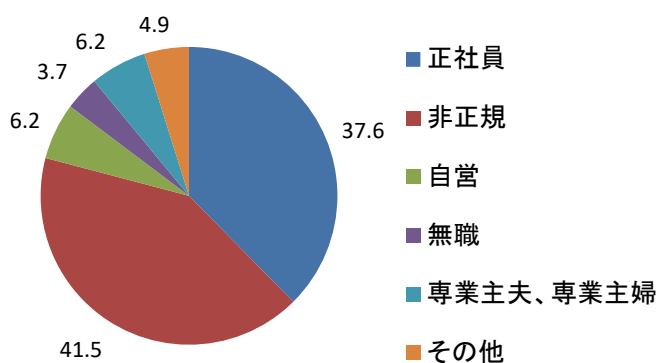
⑧ 勤務状況

父親は「正社員」が87.2%と最も多く、次いで「自営」が10.3%、「非正規」が1.8%、「無職」が0.4%となっている。母親は「非正規」が41.5%と最も多く、次いで「正社員」が37.6%、「自営」「専業主夫、専業主婦」が6.2%となっている。

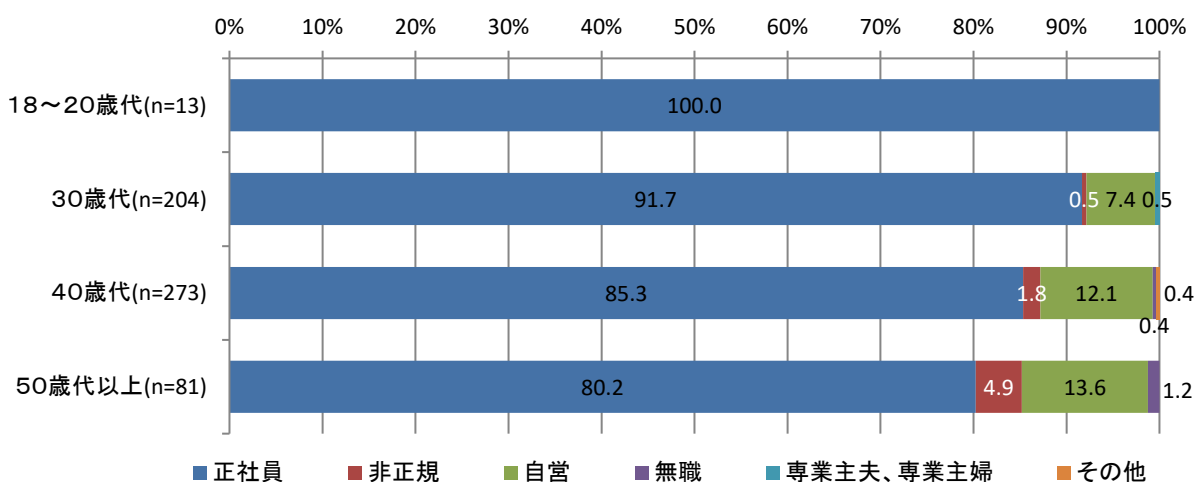
<父親>	件数	比率
総数	571	100.0%
正社員	498	87.2%
非正規	10	1.8%
自営	59	10.3%
無職	2	0.4%
専業主夫、専業主婦	1	0.2%
その他	1	0.2%



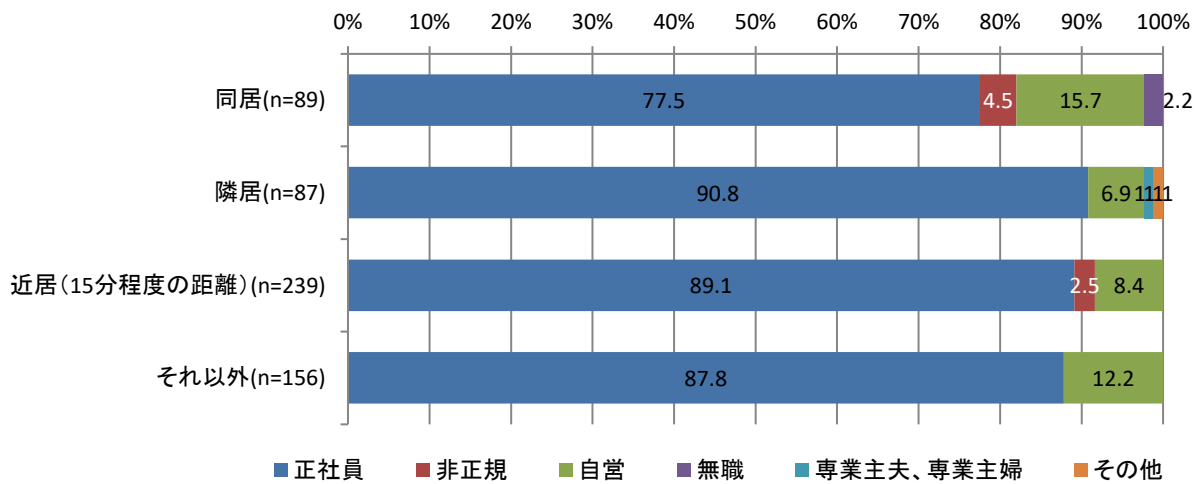
<母親>	件数	比率
総数	617	100.0%
正社員	232	37.6%
非正規	256	41.5%
自営	38	6.2%
無職	23	3.7%
専業主夫、専業主婦	38	6.2%
その他	30	4.9%



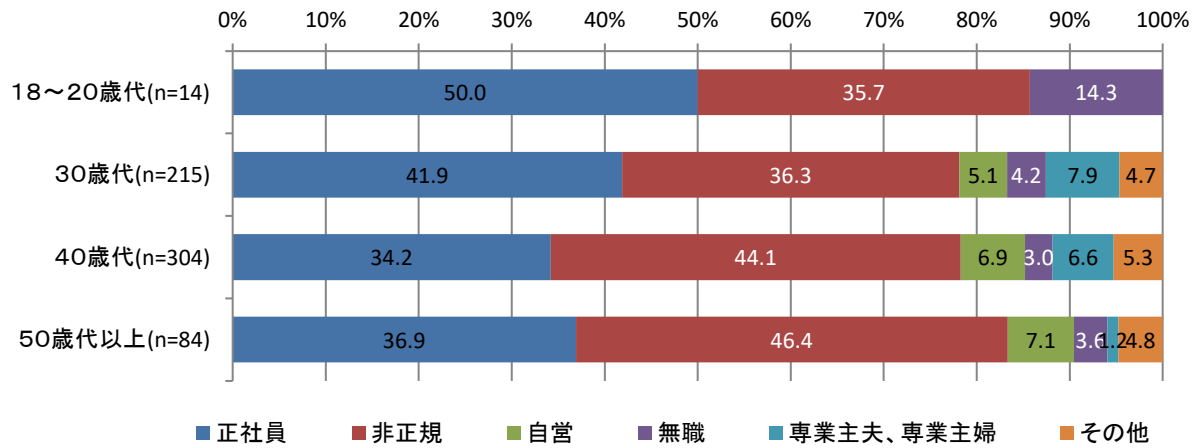
■年齢別父親の勤務状況



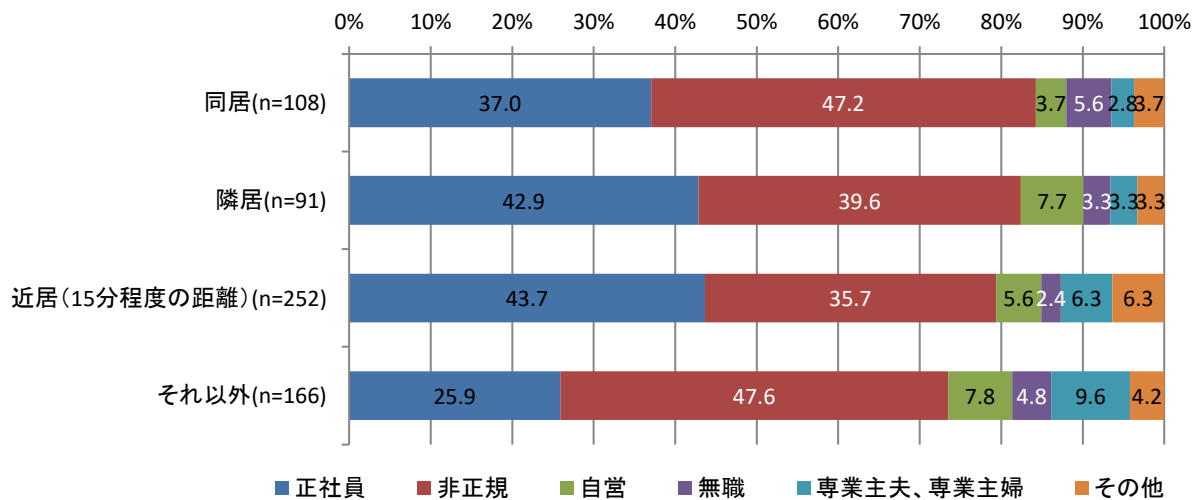
■親との居住状況別父親の勤務状況



■年齢別母親の勤務状況



■親との居住状況別母親の勤務状況

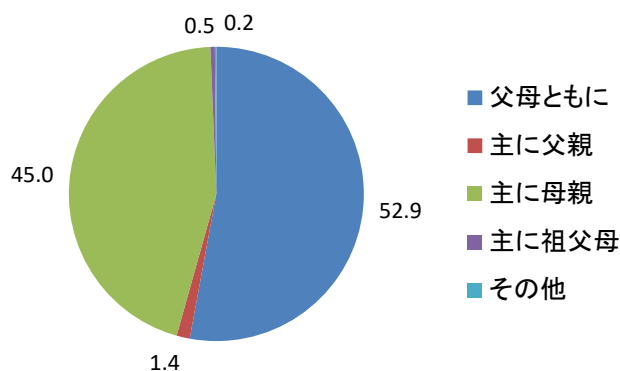


⑨ 子育てを主に行っている人

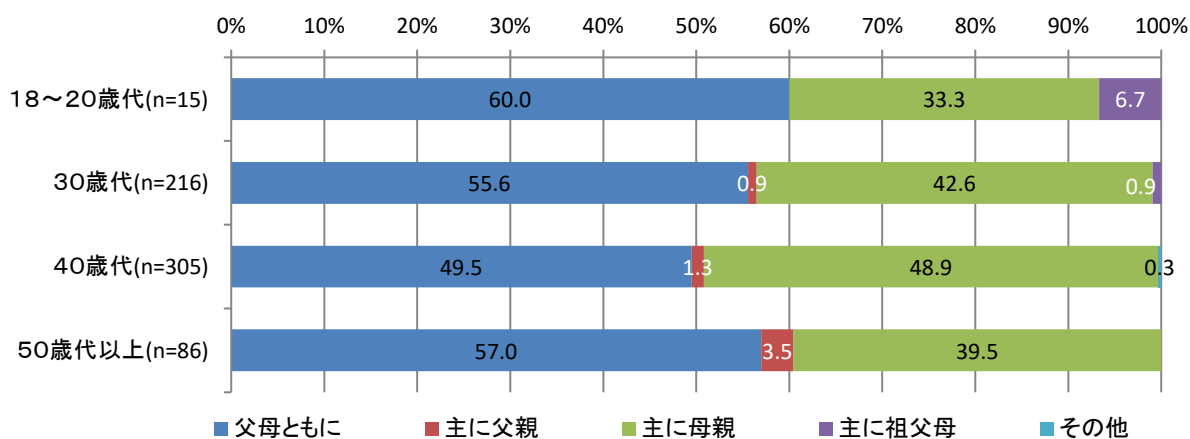
「父母ともに」が52.9%と最も多く、次いで「主に母親」が45.0%、「主に父親」が1.4%、「主に祖父母」が0.5%となっている。

18歳～20歳代が父母ともに子育てを行っているという回答が60.0%と最も多い。

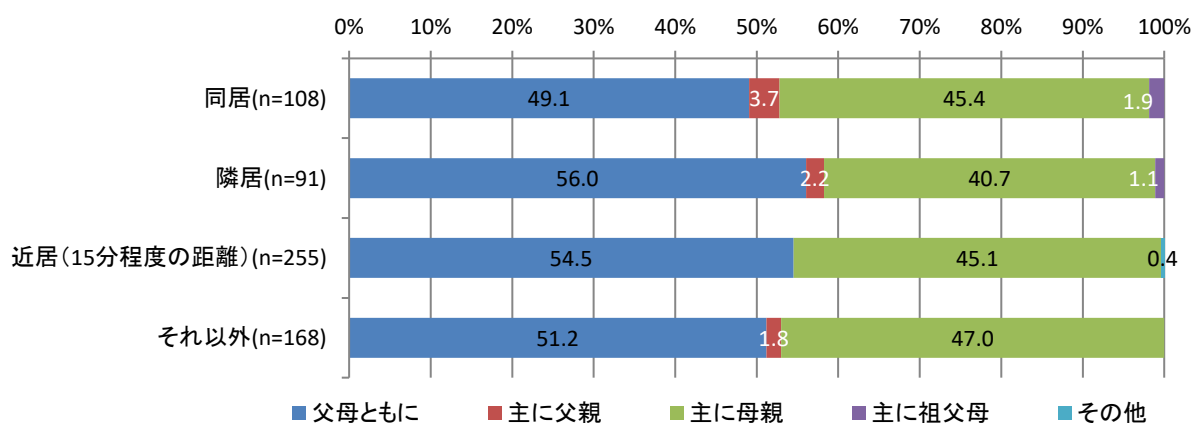
	件数	比率
総数	622	100.0%
父母ともに	329	52.9%
主に父親	9	1.4%
主に母親	280	45.0%
主に祖父母	3	0.5%
その他	1	0.2%



■年齢別



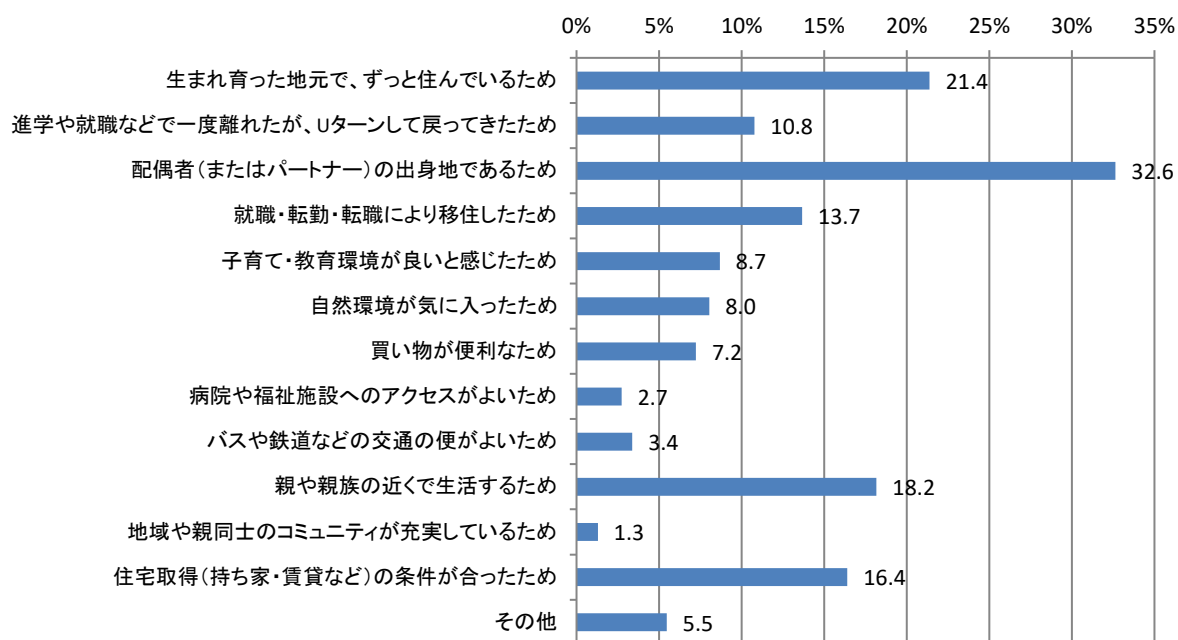
■親との居住状況別



⑩ 居住地の選定理由

「配偶者(またはパートナー)の出身地であるため」が32.6%と最も多く、次いで「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が21.4%、「親や親族の近くで生活するため」が18.2%、「住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため」が16.4%となっている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	133	21.4%
進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	67	10.8%
配偶者(またはパートナー)の出身地であるため	203	32.6%
就職・転勤・転職により移住したため	85	13.7%
子育て・教育環境が良いと感じたため	54	8.7%
自然環境が気に入ったため	50	8.0%
買い物が便利のため	45	7.2%
病院や福祉施設へのアクセスがよいため	17	2.7%
バスや鉄道などの交通の便がよいため	21	3.4%
親や親族の近くで生活するため	113	18.2%
地域や親同士のコミュニティが充実しているため	8	1.3%
住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため	102	16.4%
その他	34	5.5%



■年齢別

	総数	生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	配偶者（またはパートナー）の出身地であるため	就職・転勤・転職により移住したため	子育て・教育環境が良いと感じたため	自然環境が気に入ったため	買い物が便利のため	病院や福祉施設へのアクセスがよいため	バスや鉄道などの交通の便がよいため	親や親族の近くで生活するため	地域や親同士のコミュニティが充実しているため	住宅取得（持ち家・賃貸など）の条件が合ったため	その他
総数	622	133	67	203	85	54	50	45	17	21	113	8	102	34
18～20歳代	15	8	0	3	3	1	2	0	0	0	3	0	2	0
30歳代	216	50	28	78	28	13	15	15	7	7	37	3	41	8
40歳代	305	64	31	93	42	30	26	23	8	10	60	3	41	18
50歳代以上	86	11	8	29	12	10	7	7	2	4	13	2	18	8
総数		21.4%	10.8%	32.6%	13.7%	8.7%	8.0%	7.2%	2.7%	3.4%	18.2%	1.3%	16.4%	5.5%
18～20歳代		53.3%	0.0%	20.0%	20.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%
30歳代		23.1%	13.0%	36.1%	13.0%	6.0%	6.9%	6.9%	3.2%	3.2%	17.1%	1.4%	19.0%	3.7%
40歳代		21.0%	10.2%	30.5%	13.8%	9.8%	8.5%	7.5%	2.6%	3.3%	19.7%	1.0%	13.4%	5.9%
50歳代以上		12.8%	9.3%	33.7%	14.0%	11.6%	8.1%	8.1%	2.3%	4.7%	15.1%	2.3%	20.9%	9.3%

■親との居住状況別

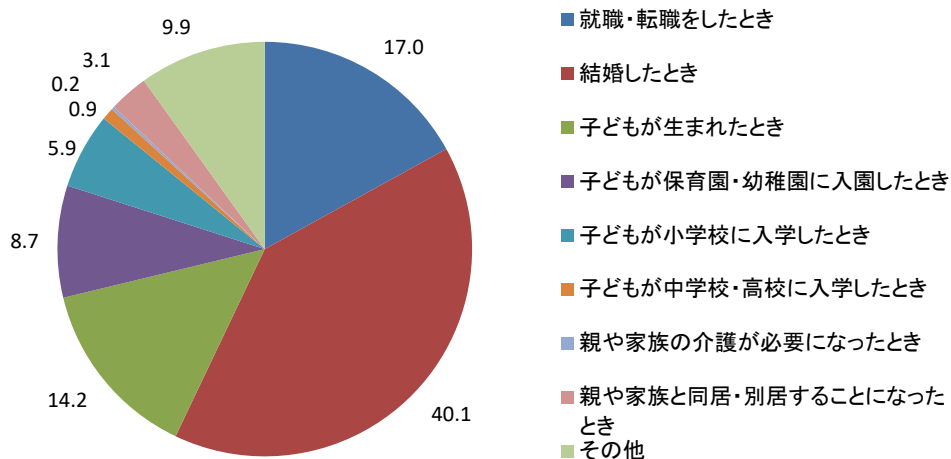
	総数	生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	配偶者（またはパートナー）の出身地であるため	就職・転勤・転職により移住したため	子育て・教育環境が良いと感じたため	自然環境が気に入ったため	買い物が便利のため	病院や福祉施設へのアクセスがよいため	バスや鉄道などの交通の便がよいため	親や親族の近くで生活するため	地域や親同士のコミュニティが充実しているため	住宅取得（持ち家・賃貸など）の条件が合ったため	その他
総数	622	133	67	203	85	54	50	45	17	21	113	8	102	34
同居	108	36	12	39	9	10	9	6	0	3	17	2	14	2
隣居	91	26	17	45	2	3	4	0	0	0	14	0	3	1
近居（15分程度）	255	67	35	94	14	16	16	19	10	11	71	4	44	5
それ以外	168	4	3	25	60	25	21	20	7	7	11	2	41	26
総数		21.4%	10.8%	32.6%	13.7%	8.7%	8.0%	7.2%	2.7%	3.4%	18.2%	1.3%	16.4%	5.5%
同居		33.3%	11.1%	36.1%	8.3%	9.3%	8.3%	5.6%	0.0%	2.8%	15.7%	1.9%	13.0%	1.9%
隣居		28.6%	18.7%	49.5%	2.2%	3.3%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	3.3%	1.1%
近居（15分程度の距離）		26.3%	13.7%	36.9%	5.5%	6.3%	6.3%	7.5%	3.9%	4.3%	27.8%	1.6%	17.3%	2.0%

⑩転居したきっかけ

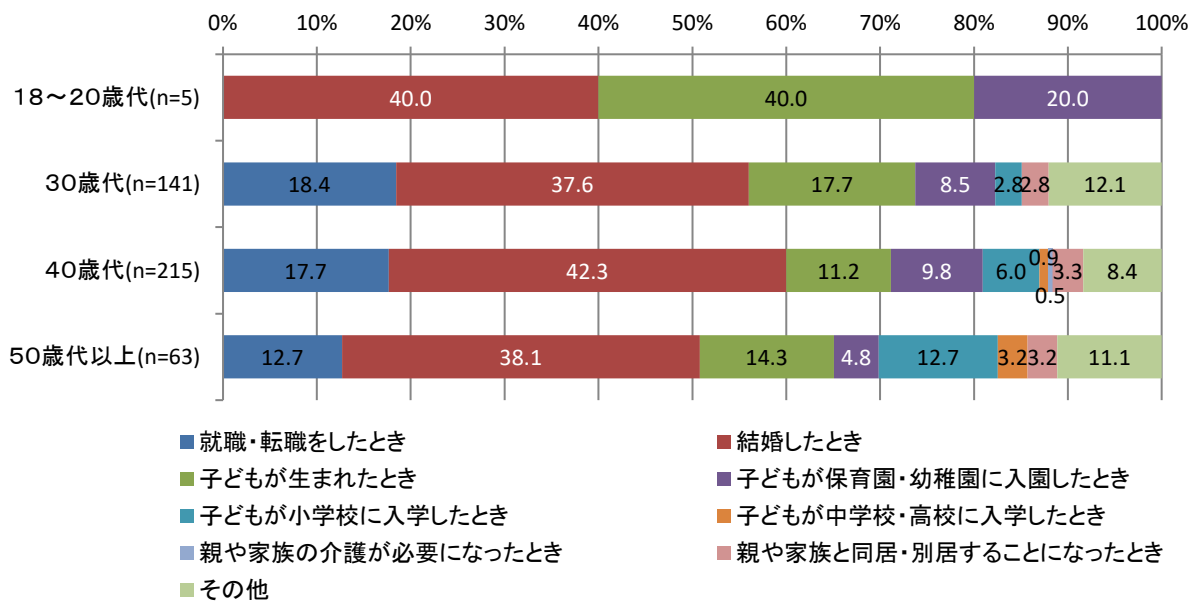
「結婚したとき」が27.3%と最も多く、次いで「就職・転職をしたとき」が11.7%、「子どもが生まれたとき」が9.8%となっている。

18歳～20歳代においては、「結婚したとき」と「子どもが生まれたとき」が40.0%と最も多くなっている。

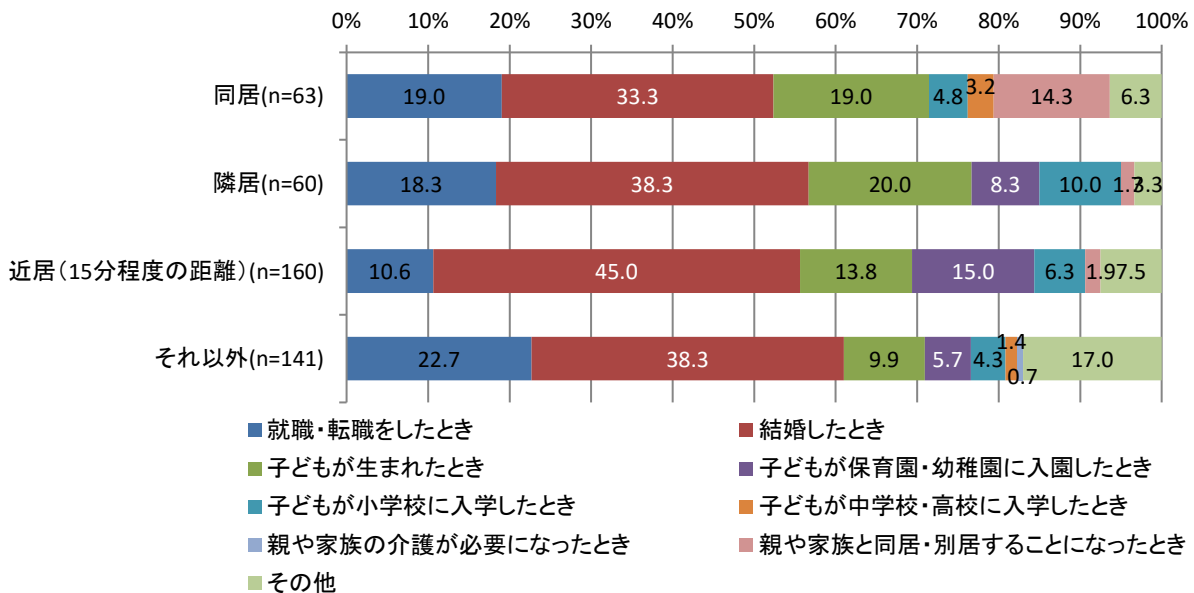
	件数	比率
総数	424	100.0%
就職・転職をしたとき	72	17.0%
結婚したとき	170	40.1%
子どもが生まれたとき	60	14.2%
子どもが保育園・幼稚園に入園したとき	37	8.7%
子どもが小学校に入学したとき	25	5.9%
子どもが中学校・高校に入学したとき	4	0.9%
親や家族の介護が必要になったとき	1	0.2%
親や家族と同居・別居することになったとき	13	3.1%
その他	42	9.9%



■年齢別



■親との居住状況別

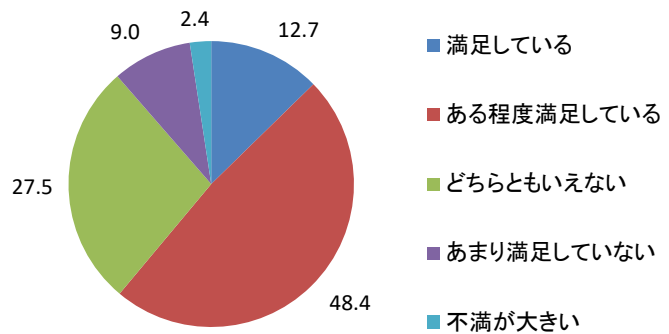


⑫ 今の子育て環境に満足しているか

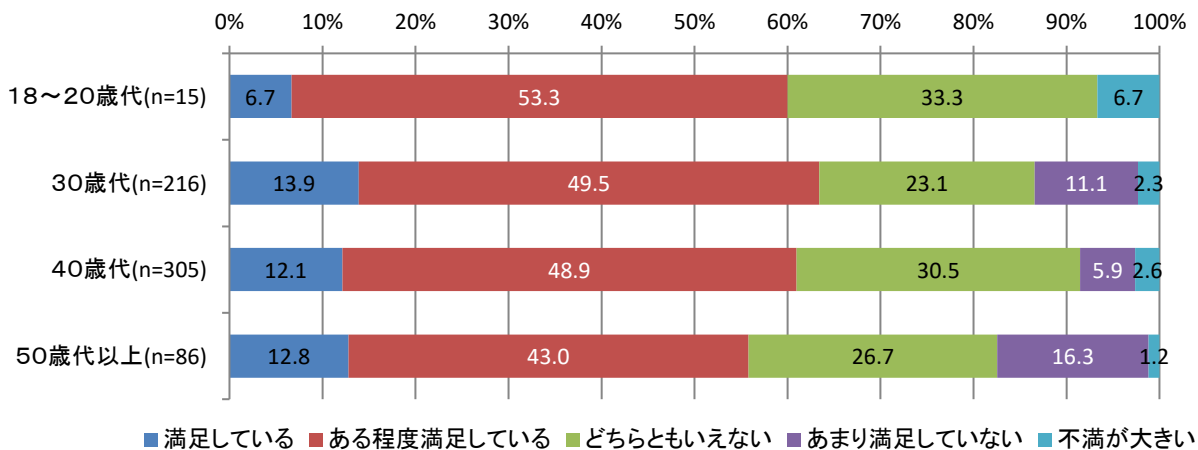
「ある程度満足している」が48.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.5%、「満足している」が12.7%、「あまり満足していない」が9.0%となっており、満足が61.1%となっている。

また、夫婦どちらかより、夫婦ともに子育てをしている人の方が不満の割合が少なくなっている。

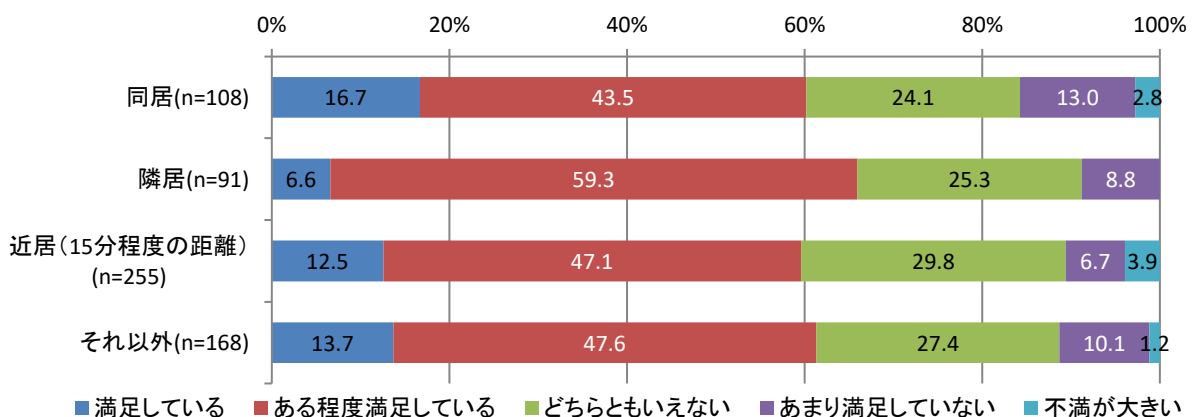
	件数	比率
総数	622	100.0%
満足している	79	12.7%
ある程度満足している	301	48.4%
どちらともいえない	171	27.5%
あまり満足していない	56	9.0%
不満が大きい	15	2.4%



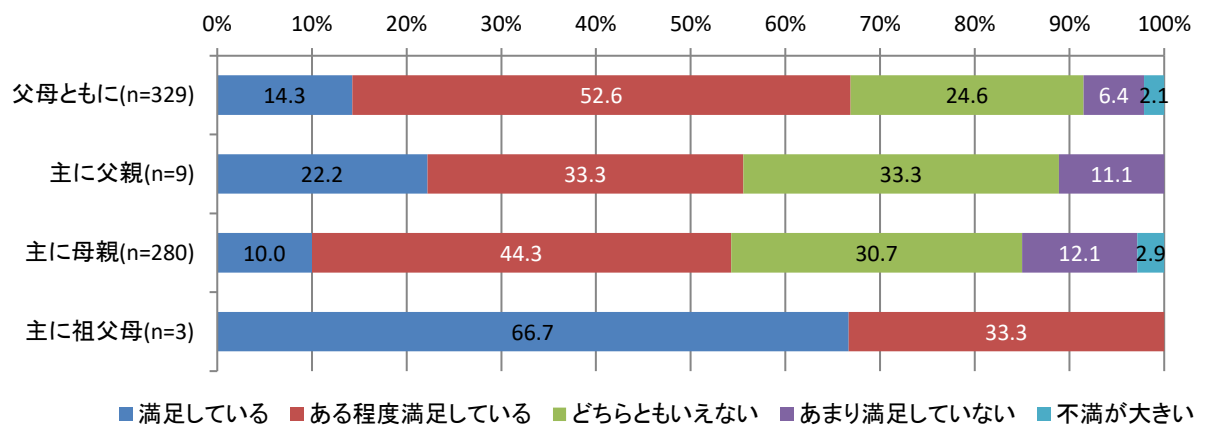
■年齢別



■親との居住状況別



■子育ての主体別



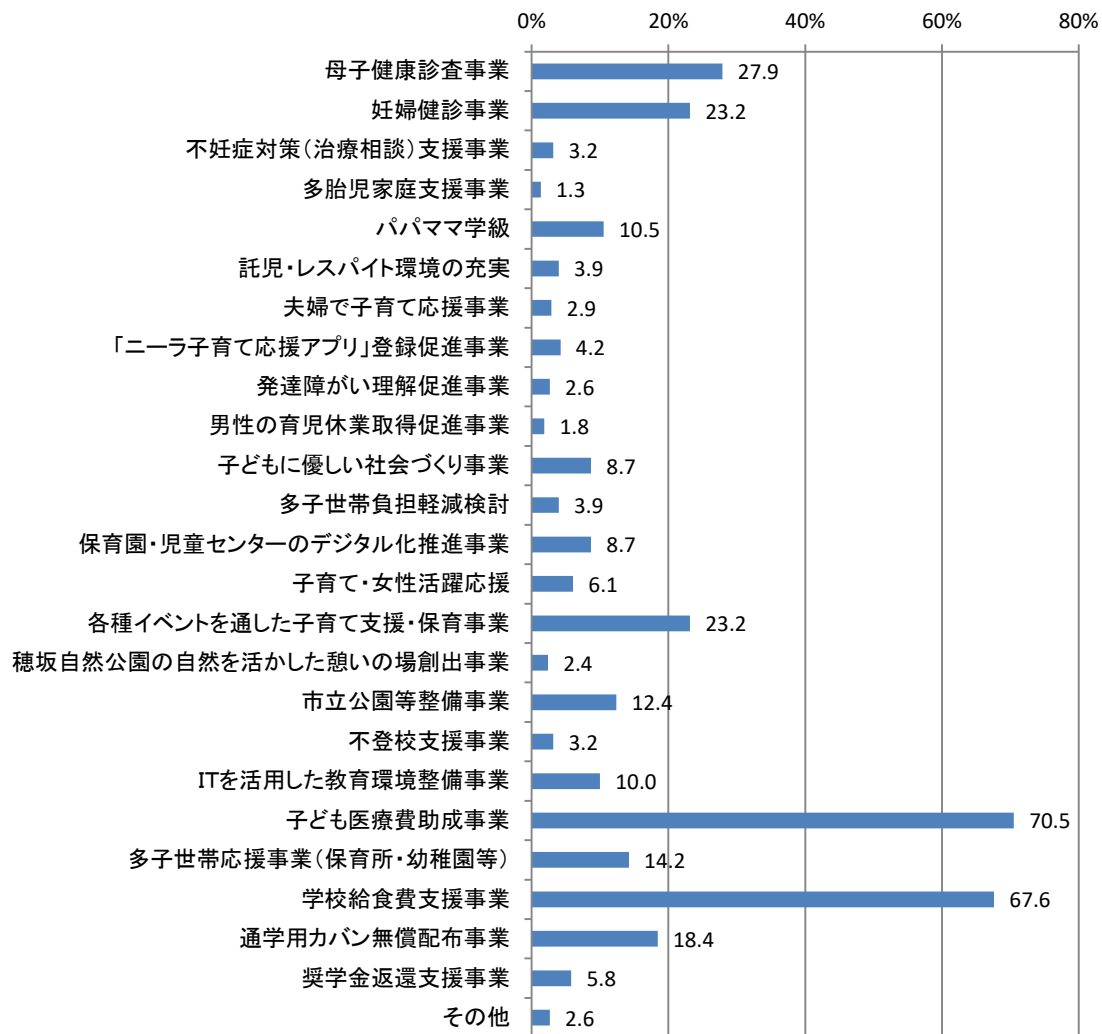
⑬ 満足している子育て支援策

「子ども医療費助成事業」が70.5%と最も多く、次いで「学校給食費支援事業」が67.6%、「母子健康診査事業」が27.9%、「妊婦健診事業」「各種イベントを通じた子育て支援・保育事業」が23.2%となっている。

		件数	比率
	総数	380	100.0%
出産支援	母子健康診査事業	106	27.9%
	妊婦健診事業	88	23.2%
	不妊症対策(治療相談)支援事業	12	3.2%
	多胎児家庭支援事業	5	1.3%
	パパママ学級	40	10.5%
子育て応援	託児・レスパイト環境の充実	15	3.9%
	夫婦で子育て応援事業	11	2.9%
	「ニーラ子育て応援アプリ」登録促進事業	16	4.2%
	発達障がい理解促進事業	10	2.6%
	男性の育児休業取得促進事業	7	1.8%
	子どもに優しい社会づくり事業	33	8.7%
	多子世帯負担軽減検討	15	3.9%
	保育園・児童センターのデジタル化推進事業	33	8.7%
	子育て・女性活躍応援	23	6.1%
(遊び場・教育) 子育て応援	各種イベントを通じた子育て支援・保育事業	88	23.2%
	穂坂自然公園の自然を活かした憩いの場創出事業	9	2.4%
	市立公園等整備事業	47	12.4%
	不登校支援事業	12	3.2%
	ITを活用した教育環境整備事業	38	10.0%
関係 子育て支援助成	子ども医療費助成事業	268	70.5%
	多子世帯応援事業(保育所・幼稚園等)	54	14.2%
	学校給食費支援事業	257	67.6%
	通学用カバン無償配布事業	70	18.4%
	奨学金返還支援事業	22	5.8%
	その他	10	2.6%

<その他>

にらちび、ミアキス



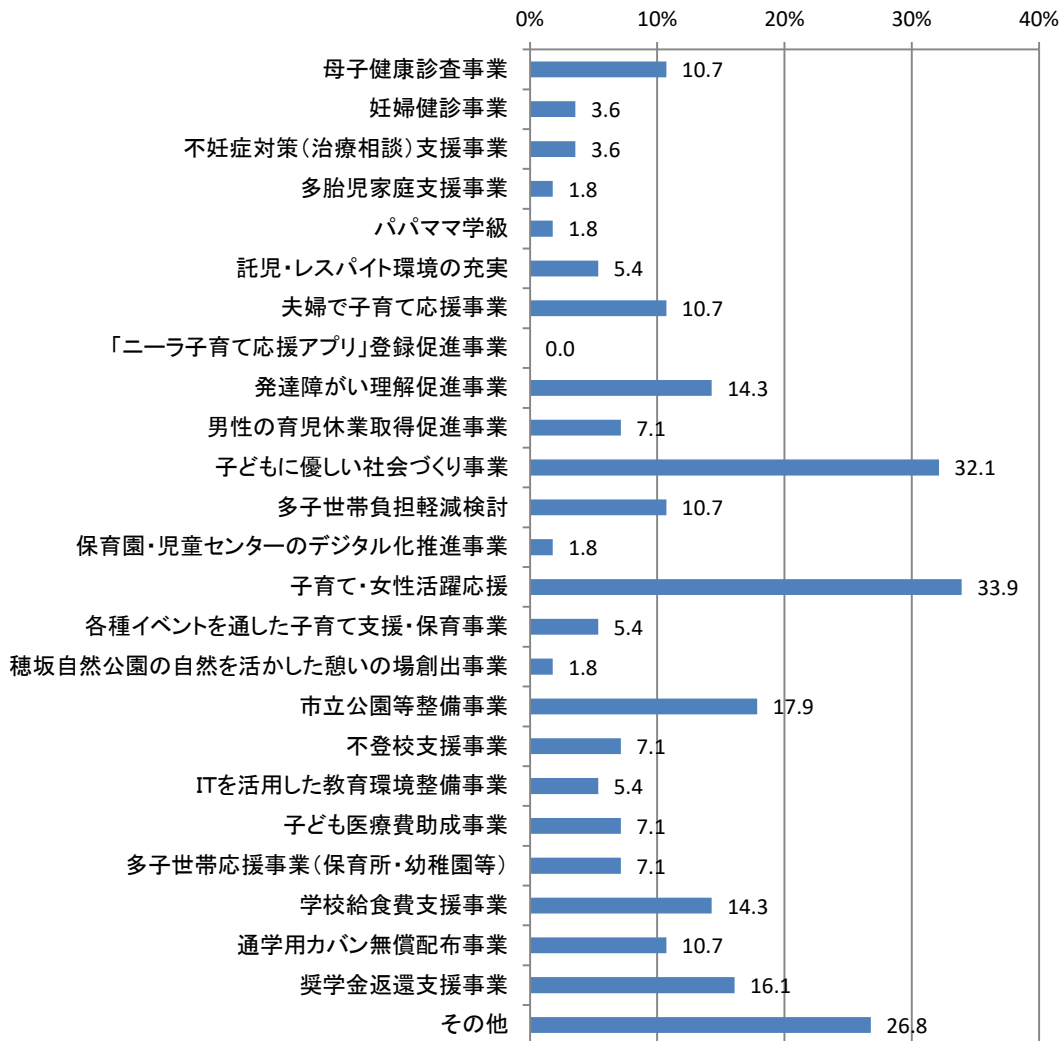
⑭ 不満を感じている子育て支援策

「子育て・女性活躍応援」が 33.9%と最も多く、次いで「子どもに優しい社会づくり事業」が 32.1%、「その他」が 26.8%、「市立公園等整備事業」が 17.9%となっている。

		件数	比率
	総数	56	100.0%
出産支援	母子健康診査事業	6	10.7%
	妊婦健診事業	2	3.6%
	不妊症対策(治療相談)支援事業	2	3.6%
	多胎児家庭支援事業	1	1.8%
	パパママ学級	1	1.8%
子育て応援	託児・レスパイト環境の充実	3	5.4%
	夫婦で子育て応援事業	6	10.7%
	「ニーラ子育て応援アプリ」登録促進事業	0	0.0%
	発達障がい理解促進事業	8	14.3%
	男性の育児休業取得促進事業	4	7.1%
	子どもに優しい社会づくり事業	18	32.1%
	多子世帯負担軽減検討	6	10.7%
	保育園・児童センターのデジタル化推進事業	1	1.8%
	子育て・女性活躍応援	19	33.9%
(遊び場・教育)	子育て応援		
	各種イベントを通じた子育て支援・保育事業	3	5.4%
	穂坂自然公園の自然を活かした憩いの場創出事業	1	1.8%
	市立公園等整備事業	10	17.9%
	不登校支援事業	4	7.1%
関係	ITを活用した教育環境整備事業	3	5.4%
	子ども医療費助成事業	4	7.1%
	多子世帯応援事業(保育所・幼稚園等)	4	7.1%
	学校給食費支援事業	8	14.3%
	通学用カバン無償配布事業	6	10.7%
	奨学金返還支援事業	9	16.1%
	その他	15	26.8%

<その他>

保育料、教育の質、子どもの居場所づくり



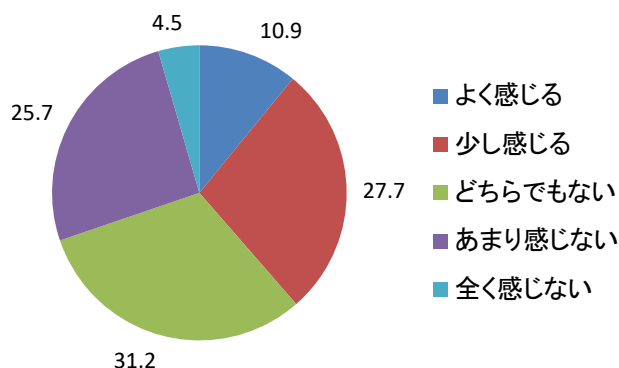
⑮ 地域の子育て世代同士や住民とのつながりを感じているか

「どちらでもない」が31.2%と最も多く、次いで「少し感じる」が27.7%、「あまり感じない」が25.7%、「よく感じる」が10.9%となっている。

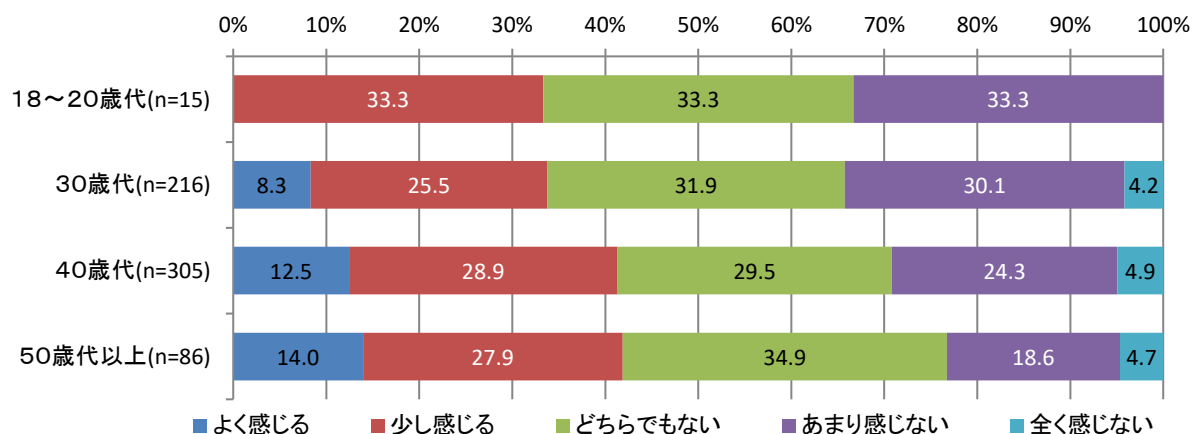
年齢が上がるにつれて、世代同士や住民とのつながりを感じている人の割合が多くなっている。

また、子育ての主体別では、父親が子育ての主体の人の方が、つながりを感じている割合が多くなっている。

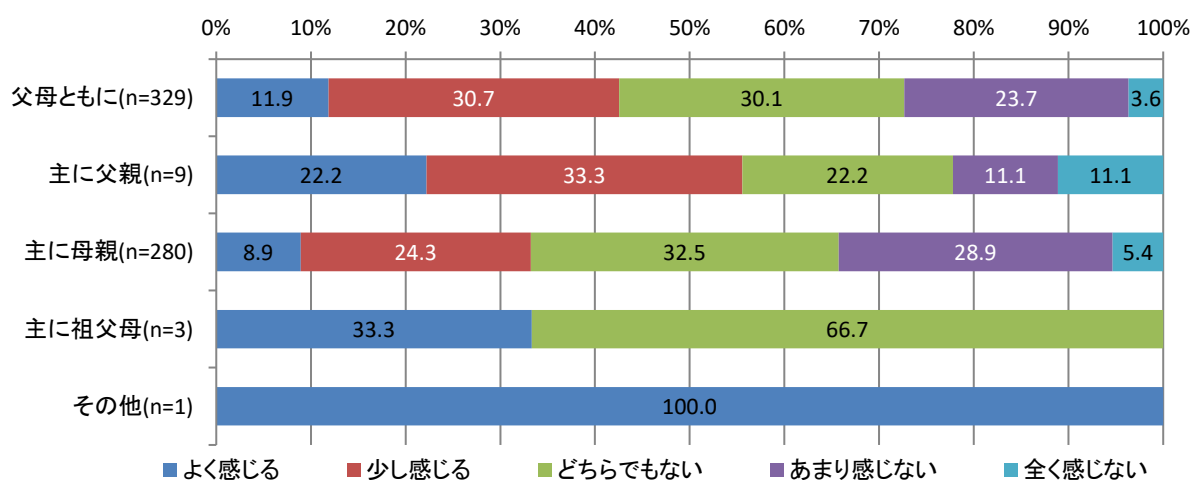
	件数	比率
総数	622	100.0%
よく感じる	68	10.9%
少し感じる	172	27.7%
どちらでもない	194	31.2%
あまり感じない	160	25.7%
全く感じない	28	4.5%



■年齢別



■子育ての主体別

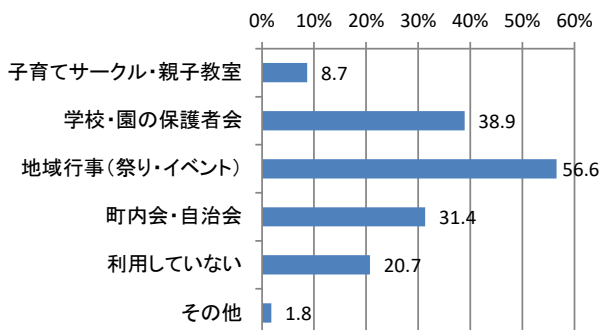


⑩ 地域の交流の場・仕組みで利用しているもの

「地域行事(祭り・イベント)」が 56.6%と最も多く、次いで「学校・園の保護者会」が 38.9%、「町内会・自治会」が 31.4%、「利用していない」が 20.7%となっている。

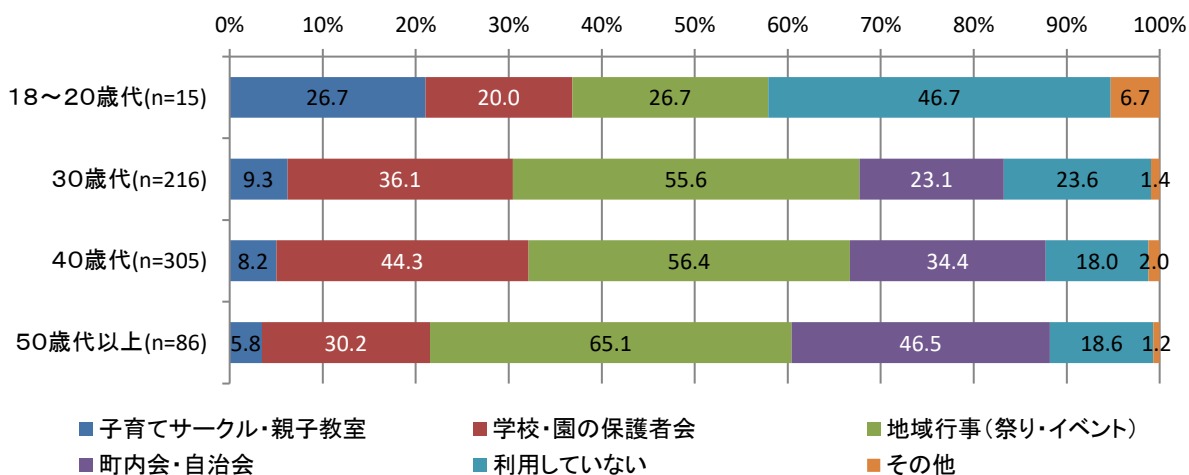
20歳代は交流の場や仕組みを「利用していない」が46.7%と最も多いが、年代が上がるにつれて「地域行事(祭り・イベント)」で交流している人の割合が増えている。

	件数	比率
総数	622	100.0%
子育てサークル・親子教室	54	8.7%
学校・園の保護者会	242	38.9%
地域行事(祭り・イベント)	352	56.6%
町内会・自治会	195	31.4%
利用していない	129	20.7%
その他	11	1.8%



<その他> 子育て支援センター、地域の子どもクラブ・スポーツ少年団

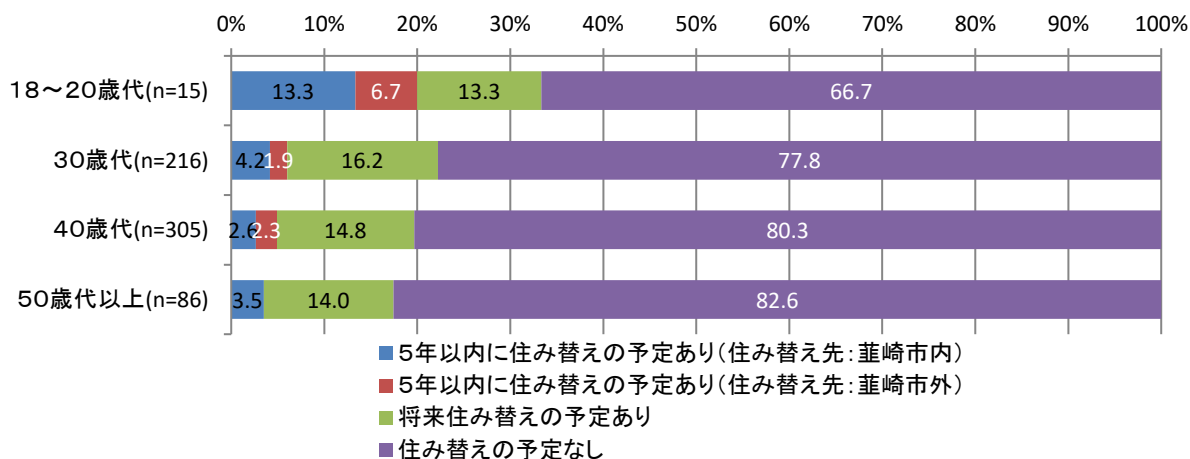
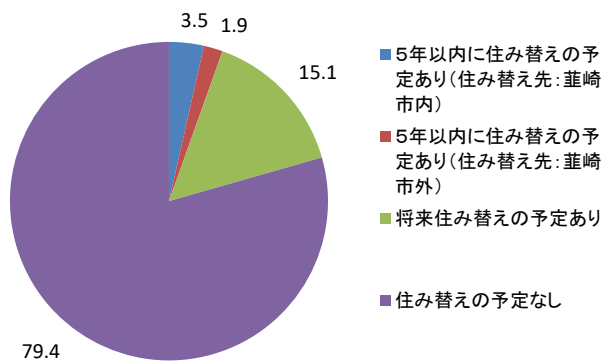
■年齢別



⑰ 今後の住み替え予定

「住み替えの予定なし」が79.4%と最も多く、次いで「将来住み替えの予定あり」が15.1%、「5年以内に住み替えの予定あり(住み替え先: 蕪崎市外)」が1.9%、「5年以内に住み替えの予定あり(住み替え先: 蕪崎市外)」が3.5%となっている。

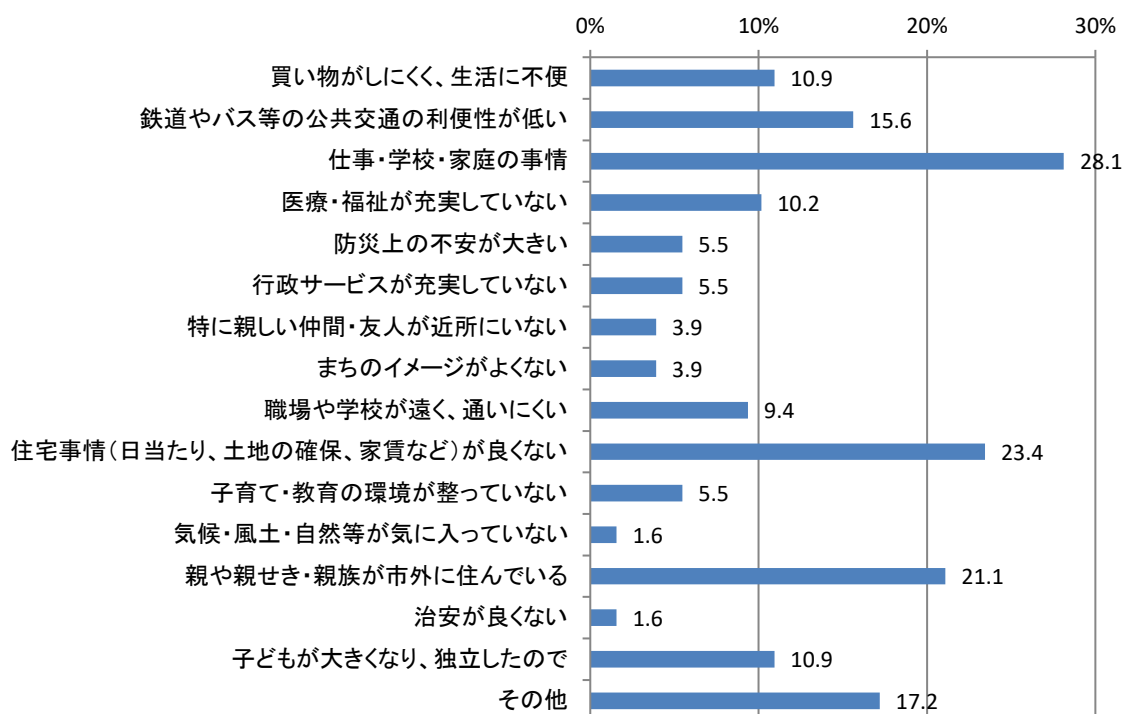
	件数	比率
総数	622	100.0%
5年以内に住み替えの予定あり (住み替え先: 蕪崎市外)	22	3.5%
5年以内に住み替えの予定あり (住み替え先: 蕪崎市外)	12	1.9%
将来住み替えの予定あり	94	15.1%
住み替えの予定なし	494	79.4%



⑱ 転居したい理由

「仕事・学校・家庭の事情」が28.1%と最も多く、次いで「住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良くない」が23.4%、「親や親せき・親族が市外に住んでいる」が21.1%、「その他」が17.2%となっている。

	件数	比率
総数	128	100.0%
買い物がしにくく、生活に不便	14	10.9%
鉄道やバス等の公共交通の利便性が低い	20	15.6%
仕事・学校・家庭の事情	36	28.1%
医療・福祉が充実していない	13	10.2%
防災上の不安が大きい	7	5.5%
行政サービスが充実していない	7	5.5%
特に親しい仲間・友人が近所にいない	5	3.9%
まちのイメージがよくない	5	3.9%
職場や学校が遠く、通いにくい	12	9.4%
住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良くない	30	23.4%
子育て・教育の環境が整っていない	7	5.5%
気候・風土・自然等が気に入っていない	2	1.6%
親や親せき・親族が市外に住んでいる	27	21.1%
治安が良くない	2	1.6%
子どもが大きくなり、独立したので	14	10.9%
その他	22	17.2%



⑱ 他の地域と比べて蕪崎市はどのような市だと思うか

カテゴリー	件数
子育て支援・教育関連	122
交通・アクセス・インフラ	55
自然環境・住みやすさ	87
商業・利便性	80
地域交流・イベント	21
行政・制度・財政	21
その他	95

<主な意見>

●子育て支援・教育関連

- ・子育て世代の家庭への支援が他の市に比べて行き届いていると思う
- ・子育て支援に充実している
- ・給食の無償化はありがたい、学校給食はオーガニックを推進していて大変良い

●交通・アクセス・インフラ

- ・交通の便が悪く買い物をするにも通学するのも不便
- ・道が悪い。駐車場がない
- ・駅周辺や国道 141 号線沿いは人も多くて便利

●自然環境・住みやすさ

- ・自然が豊かな街、自然と街がちょうど良くある市
- ・コンパクトに医療福祉がまとまっていて住みやすい
- ・ほどよい田舎で住みやすい

●商業・利便性

- ・駅の周辺は便利かもしれないが、少し離れたらとても不便
- ・商業施設(様々な施設や病院)がコンパクトにまとまっているため生活しやすい
- ・自然の豊かさと便利さが共存する街、自然豊かだが、ショッピングモールなども程よくあるので、便利

●行政・制度・財政

- ・地域の民生委員や児童相談員の働きが見えない、子育てや福祉に関して行政の働きを改善
- ・市長も地域活性化に向けて色々な取り組みをしてくださっていて大変感謝
- ・子育て支援政策が不十分、子供が多い家庭が良いと感じる制度や対応がない

●地域交流・イベント

- ・地域スポーツに種類を増やして欲しい
- ・イベントやお祭りが多い
- ・東京エレクトロンホールが、音もよく設備も綺麗で快適に利用でき、子供達の行事にもとてもいいと思う

⑳ 子育てをするうえで市に望むこと

カテゴリー	件数
教育・学習環境	110
経済的支援・金銭的負担軽減	89
遊び場・施設の充実	69
交通・通学安全	66
子育て支援サービス	62
地域活性化・住環境	25
医療・健康支援	23
安全・治安対策	18
障害児・不登校支援	15
その他	61

<主な意見>

●経済的支援・金銭的負担軽減

- ・子育て世帯をもっと手厚く、非課税世帯以外の税金を払っている子育て世帯でも手当、給付金などの制度がほしい
- ・子供ともっと長い時間一緒にいたいと思う人やもう1人産みたいと思う人の気持ちが報われる環境が整うことを期待

●教育・学習環境

- ・学業、部活において活動しやすい環境をつくってほしい。学生の体育館テニスコート使用無料など
- ・子どもたちの希望が叶いやすい教育環境を整えていただけるとありがたい

●医療・健康支援

- ・韮崎市立病院の小児科が午後受診できなかつたり、入院ができなくて大変困っています
- ・歯科矯正医療費の補助や負担(学校の検診で必要と見なされた場合)

●交通・安全

- ・街灯を増やしたり、歩道の整備など、安心して暮らせる環境を整えること
- ・工業団地が出来た事で渋滞が凄く驚いた。高速利用者と工業団地などへの往来が増え、通学時間の調整に不安も多い

●遊び場・施設の充実

- ・気軽に行ける小さな公園や、子どもが遊べる室内の場所をつくってほしい
- ・公園やプールなど、子どもたちが遊びやすい施設の充実

●子育て支援サービス

- ・支援センターの維持をぜひお願いします
- ・病児保育の予約なし利用の改善

●安全(通学)・治安対策

- ・子供が安心安全に通学出来る歩道の整備
- ・下校の見守りがもう少しあると助かります

●地域活性化・住環境

- ・地域の人達が親切
- ・人と人の繋がりが広まるように大切に考えてほしい

●障害児・不登校支援

- ・フリースクールがあるといい
- ・発達障害児の相談機会を増やしてほしい

(5) 小中高生アンケート

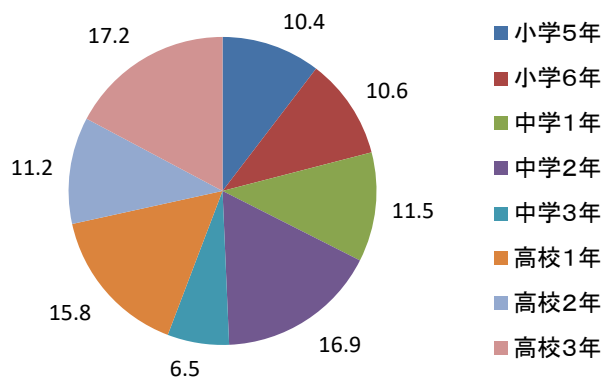
■実施概要

- ・実施日:令和7年10月20日～11月7日
- ・配布対象:小中高生(市内小学校5年以上、中学校、高校)
- ・WEBフォームにて回答
- ・回収数:小学生230人(小5:114、小6:116)
中学生382人(中1:126、中2:185、中3:71)
高校生485人(高1:173、高2:123、高3:189)

① 学年

「高校3年」が17.2%と最も多く、次いで「中学2年」が16.9%、「高校1年」が15.8%、「中学1年」が11.5%となっている。

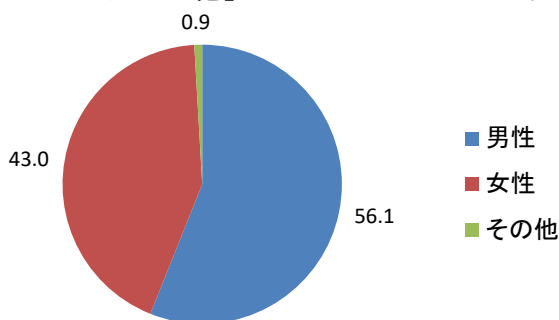
	件数	比率
総数	1097	100.0%
小学5年	114	10.4%
小学6年	116	10.6%
中学1年	126	11.5%
中学2年	185	16.9%
中学3年	71	6.5%
高校1年	173	15.8%
高校2年	123	11.2%
高校3年	189	17.2%



② 性別

「男性」が56.1%と最も多く、次いで「女性」が43.0%、「その他」が0.9%となっている。

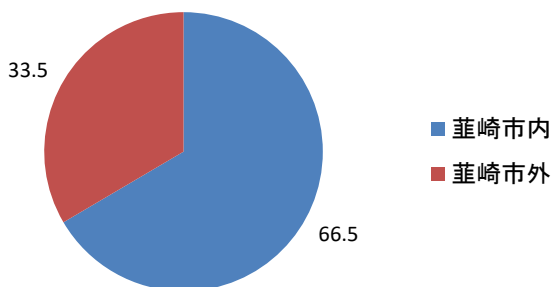
	件数	比率
総数	1097	100.0%
男性	615	56.1%
女性	472	43.0%
その他	10	0.9%



③ 住まい

「蕪崎市内」が66.5%と最も多く、次いで「蕪崎市外」が33.5%となっている。

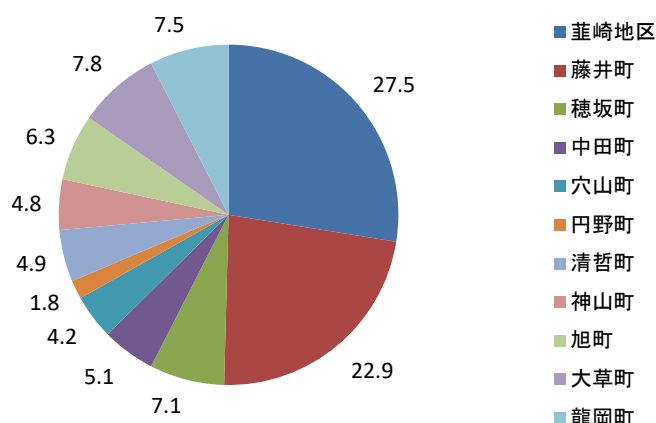
	件数	比率
総数	1097	100.0%
蕪崎市内	730	66.5%
蕪崎市外	367	33.5%



④ お住まいの地区

「葦崎地区」が27.5%と最も多く、次いで「藤井町」が22.9%、「大草町」が7.8%、「龍岡町」が7.5%となっている。

	件数	比率
総数	730	100.0%
葦崎地区	201	27.5%
藤井町	167	22.9%
穂坂町	52	7.1%
中田町	37	5.1%
穴山町	31	4.2%
円野町	13	1.8%
清哲町	36	4.9%
神山町	35	4.8%
旭町	46	6.3%
大草町	57	7.8%
龍岡町	55	7.5%



■ 学年別

	総数	地区 葦崎	藤井町	穂坂町	中田町	穴山町	円野町	清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町
総数	730	201	167	52	37	31	13	36	35	46	57	55
小学5年	113	39	35	7	9	5	1	6	9	0	0	2
小学6年	114	39	31	11	7	11	4	5	5	0	1	0
中学1年	115	34	36	12	9	4	1	2	2	1	8	6
中学2年	179	49	36	7	9	5	3	10	8	13	20	19
中学3年	70	7	0	0	0	2	2	9	7	14	13	16
高校1年	46	13	9	2	0	1	0	1	1	8	5	6
高校2年	37	11	10	1	0	1	1	1	2	5	4	1
高校3年	56	9	10	12	3	2	1	2	1	5	6	5

	地区 葦崎	藤井町	穂坂町	中田町	穴山町	円野町	清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町
総数	27.5%	22.9%	7.1%	5.1%	4.2%	1.8%	4.9%	4.8%	6.3%	7.8%	7.5%
小学5年	34.5%	31.0%	6.2%	8.0%	4.4%	0.9%	5.3%	8.0%	0.0%	0.0%	1.8%
小学6年	34.2%	27.2%	9.6%	6.1%	9.6%	3.5%	4.4%	4.4%	0.0%	0.9%	0.0%
中学1年	29.6%	31.3%	10.4%	7.8%	3.5%	0.9%	1.7%	1.7%	0.9%	7.0%	5.2%
中学2年	27.4%	20.1%	3.9%	5.0%	2.8%	1.7%	5.6%	4.5%	7.3%	11.2%	10.6%
中学3年	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	12.9%	10.0%	20.0%	18.6%	22.9%
高校1年	28.3%	19.6%	4.3%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	17.4%	10.9%	13.0%
高校2年	29.7%	27.0%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%	2.7%	5.4%	13.5%	10.8%	2.7%
高校3年	16.1%	17.9%	21.4%	5.4%	3.6%	1.8%	3.6%	1.8%	8.9%	10.7%	8.9%

⑤ 蕪崎市の良いところ

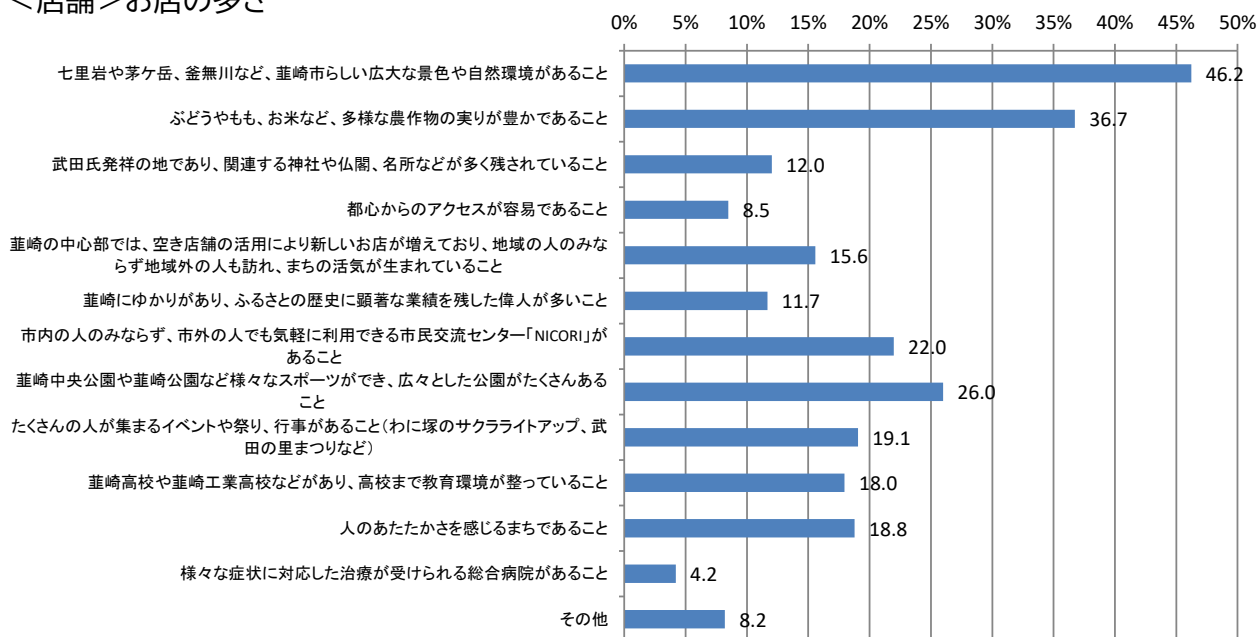
「七里岩や茅ヶ岳、釜無川など、蕪崎市らしい広大な景色や自然環境があること」が46.2%と最も多く、次いで「ぶどうやもも、お米など、多様な農作物の実りが豊かであること」が36.7%、「蕪崎中央公園や蕪崎公園など様々なスポーツができ、広々とした公園がたくさんあること」が26.0%、「市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること」が22.0%となっている。

市外在住の学生からは、「市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること」や「蕪崎高校や蕪崎工業高校などがあり、高校まで教育環境が整っていること」が市内在住の学生より高くなっている。

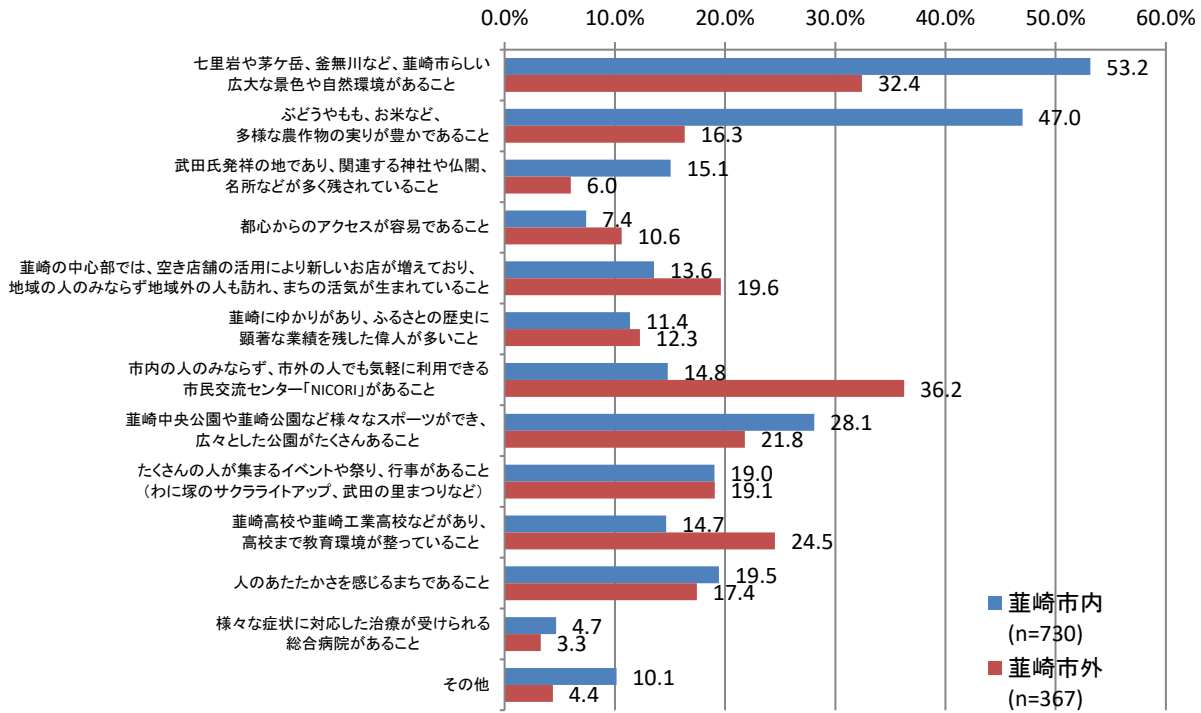
学年によらず「七里岩や茅ヶ岳、釜無川など、蕪崎市らしい広大な景色や自然環境があること」が良いところの上位にあるが、高校3年生は「市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること」がそれを上回っている。

	件数	比率
総数	1097	100.0%
七里岩や茅ヶ岳、釜無川など、蕪崎市らしい広大な景色や自然環境があること	507	46.2%
ぶどうやもも、お米など、多様な農作物の実りが豊かであること	403	36.7%
武田氏発祥の地であり、関連する神社や仏閣、名所などが多く残されていること	132	12.0%
都心からのアクセスが容易であること	93	8.5%
蕪崎の中心部では、空き店舗の活用により新しいお店が増えており、地域の人のみならず地域外の人を訪れ、まちの活気が生まれていること	171	15.6%
蕪崎にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が多いこと	128	11.7%
市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること	241	22.0%
蕪崎中央公園や蕪崎公園など様々なスポーツができ、広々とした公園がたくさんあること	285	26.0%
たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事があること(わに塚のサクラライトアップ、武田の里まつりなど)	209	19.1%
蕪崎高校や蕪崎工業高校などがあり、高校まで教育環境が整っていること	197	18.0%
人のあたたかさを感じるまちであること	206	18.8%
様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院があること	46	4.2%
その他	90	8.2%

<店舗>お店の多さ



■市内／市外在住別



■学年別

	七里岩や茅ヶ岳、釜無川など、市らしい広大な景色や自然環境があること	ぶどうやもも、お米など、多様な農作物の実りが豊かであること	武田氏発祥の地であり、関連する神社や仏閣、名所などが多く残されていること	都心からのアクセスが容易であること	市外の中心部では、空き店舗の活用により新しいお店が増えており、地域の人のみならず地域外の人も訪れ、まちの活気が生まれていること	市外にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が多いこと	市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること	市外中央公園や市外公園など様々なスポーツができ、広々とした公園がたくさんあること	たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事があること（わに塚のサクラライトアップ、武田の里まつりなど）	市外高校や市外工業高校などがあり、高校まで教育環境が整っていること	人のあたたかさを感じるまちであること	様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院があること	その他	
総数	1097	507	403	132	93	171	128	241	285	209	197	206	46	90
小学5年	114	70	61	26	7	17	21	10	27	0	9	23	5	32
小学6年	116	68	63	21	11	11	12	11	28	0	12	25	5	31
中学1年	126	67	67	19	5	15	13	20	30	43	25	29	5	1
中学2年	185	93	75	26	14	13	21	23	61	55	32	34	10	4
中学3年	71	35	34	5	8	9	2	11	27	22	9	15	3	1
高校1年	173	60	33	15	23	36	21	59	47	32	44	36	6	3
高校2年	123	44	28	6	9	27	10	33	25	27	29	27	5	6
高校3年	189	70	42	14	16	43	28	74	40	30	37	17	7	12

%	七里岩や茅ヶ岳、釜無川など、市らしい広大な景色や自然環境があること	ぶどうやもも、お米など、多様な農作物の実りが豊かであること	武田氏発祥の地であり、関連する神社や仏閣、名所などが多く残されていること	都心からのアクセスが容易であること	市外の中心部では、空き店舗の活用により新しいお店が増えており、地域の人のみならず地域外の人も訪れ、まちの活気が生まれていること	市外にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が多いこと	市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる市民交流センター「NICORI」があること	市外中央公園や市外公園など様々なスポーツができ、広々とした公園がたくさんあること	たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事があること（わに塚のサクラライトアップ、武田の里まつりなど）	市外高校や市外工業高校などがあり、高校まで教育環境が整っていること	人のあたたかさを感じるまちであること	様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院があること	その他
総数	46.2%	36.7%	12.0%	8.5%	15.6%	11.7%	22.0%	26.0%	19.1%	18.0%	18.8%	4.2%	8.2%
小学5年	61.4%	53.5%	22.8%	6.1%	14.9%	18.4%	8.8%	23.7%	0.0%	7.9%	20.2%	4.4%	28.1%
小学6年	58.6%	54.3%	18.1%	9.5%	9.5%	10.3%	9.5%	24.1%	0.0%	10.3%	21.6%	4.3%	26.7%
中学1年	53.2%	53.2%	15.1%	4.0%	11.9%	10.3%	15.9%	23.8%	34.1%	19.8%	23.0%	4.0%	0.8%
中学2年	50.3%	40.5%	14.1%	7.6%	7.0%	11.4%	12.4%	33.0%	29.7%	17.3%	18.4%	5.4%	2.2%
中学3年	49.3%	47.9%	7.0%	11.3%	12.7%	2.8%	15.5%	38.0%	31.0%	12.7%	21.1%	4.2%	1.4%
高校1年	34.7%	19.1%	8.7%	13.3%	20.8%	12.1%	34.1%	27.2%	18.5%	25.4%	20.8%	3.5%	1.7%
高校2年	35.8%	22.8%	4.9%	7.3%	22.0%	8.1%	26.8%	20.3%	22.0%	23.6%	22.0%	4.1%	4.9%
高校3年	37.0%	22.2%	7.4%	8.5%	22.8%	14.8%	39.2%	21.2%	15.9%	19.6%	9.0%	3.7%	6.3%

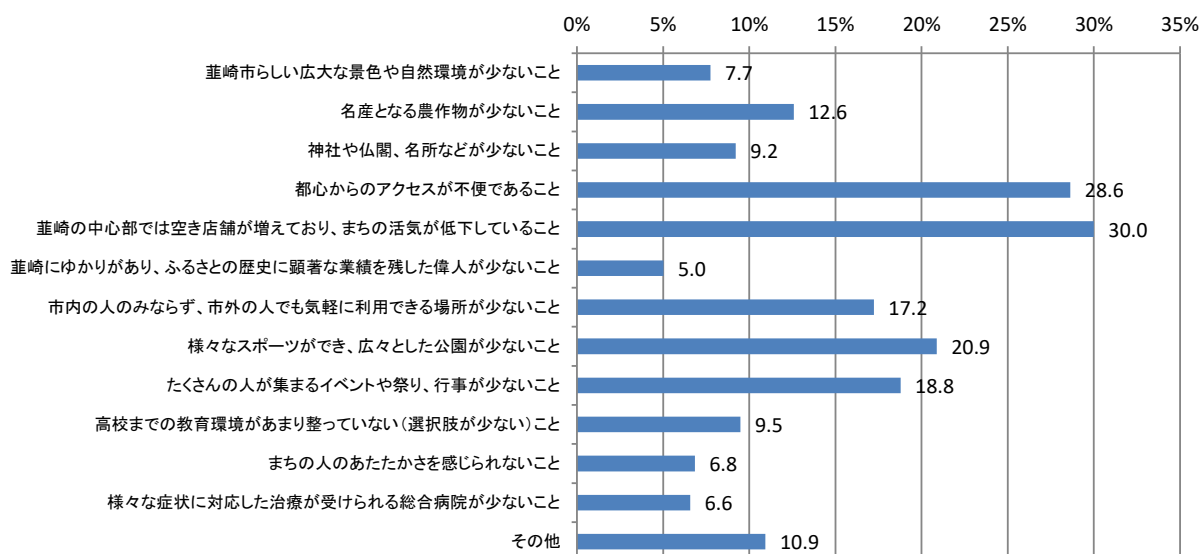
⑥ 韮崎市の良くないところ

「韮崎の中心部では空き店舗が増えており、まちの活気が低下していること」が30.0%と最も多く、次いで「都心からのアクセスが不便であること」が28.6%、「様々なスポーツができ、広々とした公園が少ないこと」が20.9%、「たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事が少ないこと」が18.8%となっている。

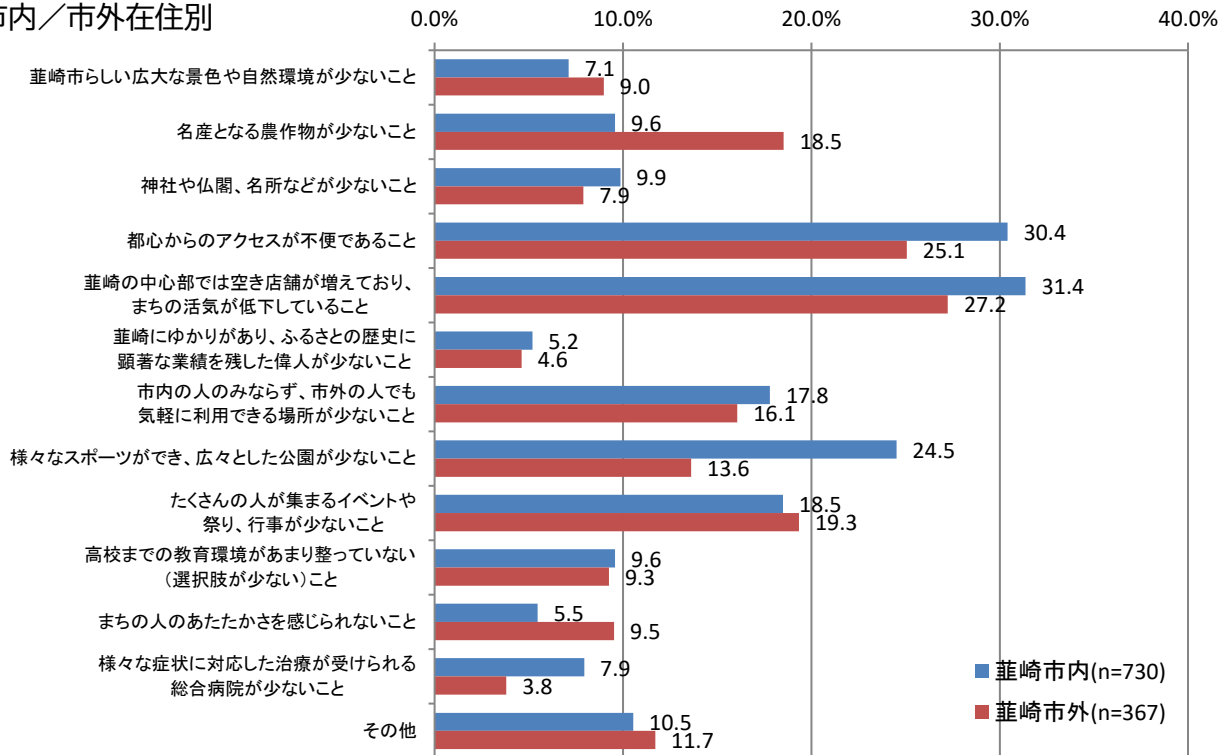
	件数	比率
総数	1097	100.0%
韮崎市らしい広大な景色や自然環境が少ないこと	85	7.7%
名産となる農作物が少ないこと	138	12.6%
神社や仏閣、名所などが少ないこと	101	9.2%
都心からのアクセスが不便であること	314	28.6%
韮崎の中心部では空き店舗が増えており、まちの活気が低下していること	329	30.0%
韮崎にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が少ないこと	55	5.0%
市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる場所が少ないこと	189	17.2%
様々なスポーツができ、広々とした公園が少ないこと	229	20.9%
たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事が少ないこと	206	18.8%
高校までの教育環境があまり整っていない(選択肢が少ない)こと	104	9.5%
まちの人のあたたかさを感じられないこと	75	6.8%
様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院が少ないこと	72	6.6%
その他	120	10.9%

<その他>

商業施設・娯楽施設が少ない、公共施設の老朽化、治安・衛生、道路整備の不備



■市内／市外在住別



■学年別

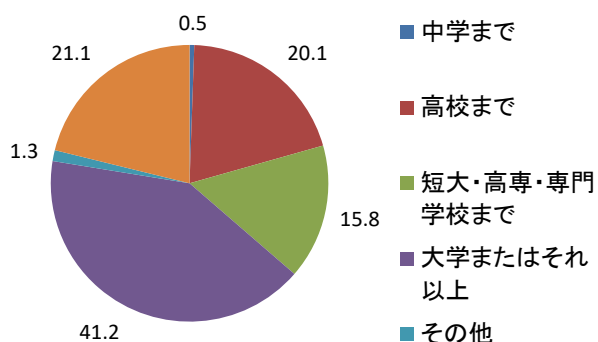
	総数	斐崎市らしい広大な景色や自然環境が少ないこと	名産となる農作物が少ないこと	神社や仏閣、名所などが少ないこと	都心からのアクセスが不便であること	斐崎の中心部では空き店舗が増えており、まちの活気が低下していること	斐崎にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が少ないこと	市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる場所が少ないこと	広々とした公園が少ないこと	様々なスポーツができ、広々とした公園が少ないこと	たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事が少ないこと	高校までの教育環境があまり整っていない(選択肢が少ない)こと	まちの人のあたたかさを感じられないこと	様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院が少ないこと	その他
総数	1097	85	138	101	314	329	55	189	229	206	104	75	72	120	
小学5年	114	8	19	14	19	22	8	22	30	18	0	5	13	18	
小学6年	116	5	8	18	39	27	7	13	35	18	0	5	9	26	
中学1年	126	6	8	7	37	48	4	20	35	23	13	5	11	10	
中学2年	185	18	18	17	55	67	10	39	42	39	26	9	14	16	
中学3年	71	3	3	8	26	26	1	13	13	10	12	2	3	2	
高校1年	173	13	36	19	49	46	8	24	26	45	20	17	6	15	
高校2年	123	11	17	7	31	48	4	28	27	24	14	10	7	13	
高校3年	189	21	29	11	58	45	13	30	21	29	19	22	9	20	

	%	斐崎市らしい広大な景色や自然環境が少ないこと	名産となる農作物が少ないこと	神社や仏閣、名所などが少ないこと	都心からのアクセスが不便であること	斐崎の中心部では空き店舗が増えており、まちの活気が低下していること	斐崎にゆかりがあり、ふるさとの歴史に顕著な業績を残した偉人が少ないこと	市内の人のみならず、市外の人でも気軽に利用できる場所が少ないこと	広々とした公園が少ないこと	様々なスポーツができ、広々とした公園が少ないこと	たくさんの人が集まるイベントや祭り、行事が少ないこと	高校までの教育環境があまり整っていない(選択肢が少ない)こと	まちの人のあたたかさを感じられないこと	様々な症状に対応した治療が受けられる総合病院が少ないこと	その他
総数	7.7%	12.6%	9.2%	28.6%	30.0%	5.0%	17.2%	20.9%	18.8%	9.5%	6.8%	6.6%	10.9%		
小学5年	7.0%	16.7%	12.3%	16.7%	19.3%	7.0%	19.3%	26.3%	15.8%	0.0%	4.4%	11.4%	15.8%		
小学6年	4.3%	6.9%	15.5%	33.6%	23.3%	6.0%	11.2%	30.2%	15.5%	0.0%	4.3%	7.8%	22.4%		
中学1年	4.8%	6.3%	5.6%	29.4%	38.1%	3.2%	15.9%	27.8%	18.3%	10.3%	4.0%	8.7%	7.9%		
中学2年	9.7%	9.7%	9.2%	29.7%	36.2%	5.4%	21.1%	22.7%	21.1%	14.1%	4.9%	7.6%	8.6%		
中学3年	4.2%	4.2%	11.3%	36.6%	36.6%	1.4%	18.3%	18.3%	14.1%	16.9%	2.8%	4.2%	2.8%		
高校1年	7.5%	20.8%	11.0%	28.3%	26.6%	4.6%	13.9%	15.0%	26.0%	11.6%	9.8%	3.5%	8.7%		
高校2年	8.9%	13.8%	5.7%	25.2%	39.0%	3.3%	22.8%	22.0%	19.5%	11.4%	8.1%	5.7%	10.6%		
高校3年	11.1%	15.3%	5.8%	30.7%	23.8%	6.9%	15.9%	11.1%	15.3%	10.1%	11.6%	4.8%	10.6%		

⑦ 将来の進路

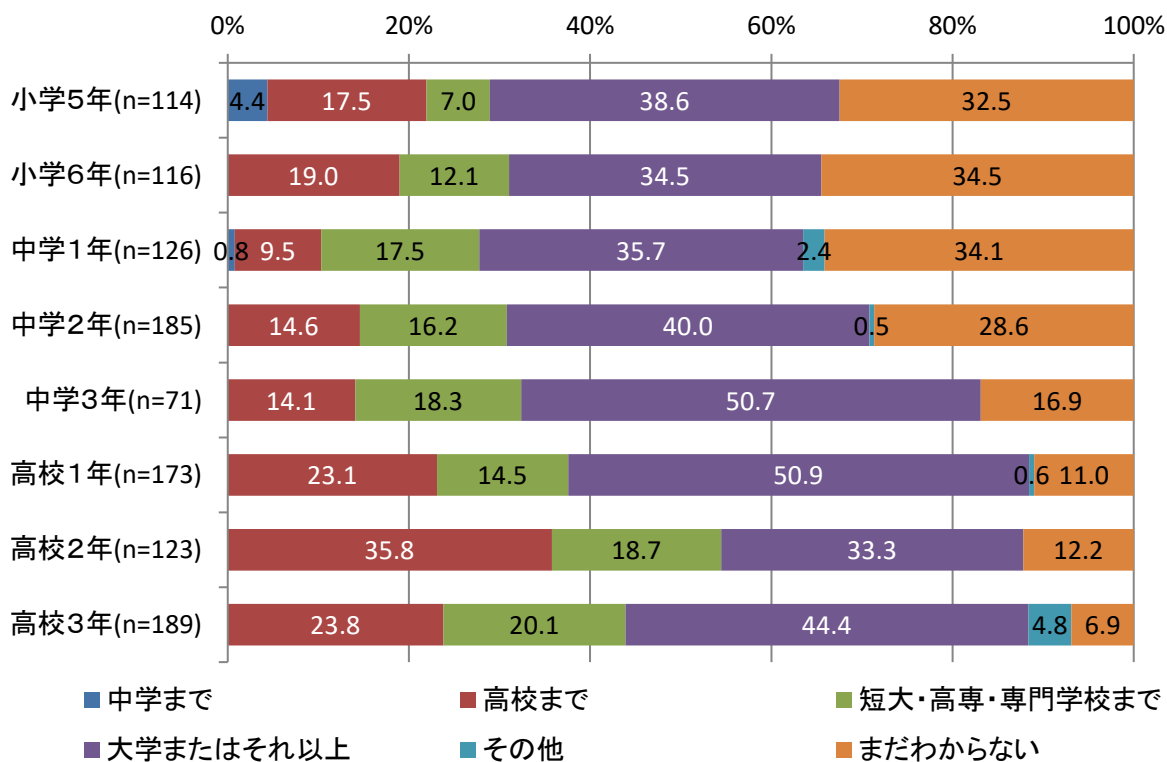
「大学またはそれ以上」が41.2%と最も多く、次いで「まだわからない」が21.1%、「高校まで」が20.1%、「短大・高専・専門学校まで」が15.8%となっている。

	件数	比率
総数	1097	100.0%
中学まで	6	0.5%
高校まで	220	20.1%
短大・高専・専門学校まで	173	15.8%
大学またはそれ以上	452	41.2%
その他	14	1.3%
まだわからない	232	21.1%



<その他> 留学

■学年別

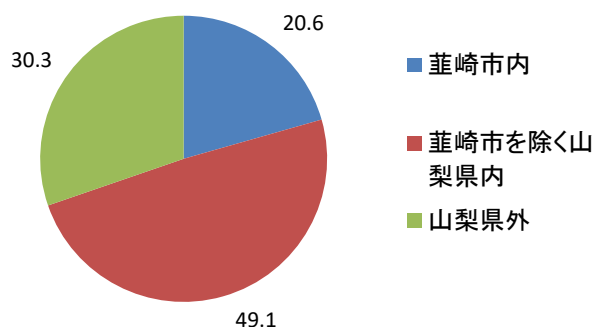


⑧ 進路先・進路希望先の場所

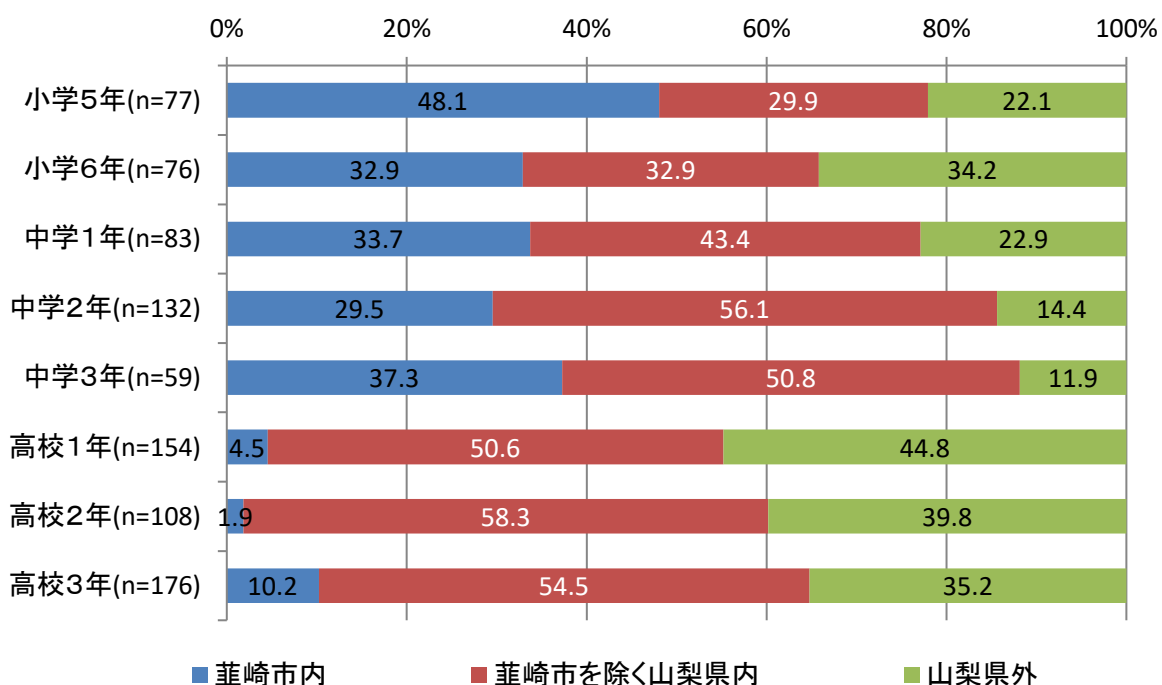
「韮崎市を除く山梨県内」が49.1%と最も多く、次いで「山梨県外」が30.3%、「韮崎市」が20.6%となっている。

高校生になると韮崎市を希望する人の割合が減り、山梨県外の割合が増えている。

	件数	比率
総数	865	100.0%
韮崎市	178	20.6%
韮崎市を除く山梨県内	425	49.1%
山梨県外	262	30.3%



■ 学年別

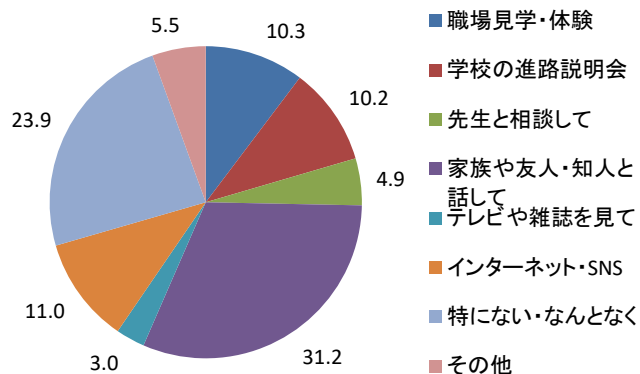


⑨ 決めたきっかけ

「その他」が 25.5%と最も多く、次いで「家族や友人・知人と話して」が 24.6%、「特にない・なんとなく」が 18.9%、「インターネット・SNS」が 8.7%となっている。

学年別では、高校生は「家族や友人・知人と話して」が最も多く、小学生は「なんとなく」が最も多い。

	件数	比率
総数	865	100.0%
職場見学・体験	89	10.3%
学校の進路説明会	88	10.2%
先生と相談して	42	4.9%
家族や友人・知人と話して	270	31.2%
テレビや雑誌を見て	26	3.0%
インターネット・SNS	95	11.0%
特にない・なんとなく	207	23.9%
その他	48	5.5%



<その他> オープンキャンパス、自分で調べた、部活やスポーツを通じて

■ 学年別

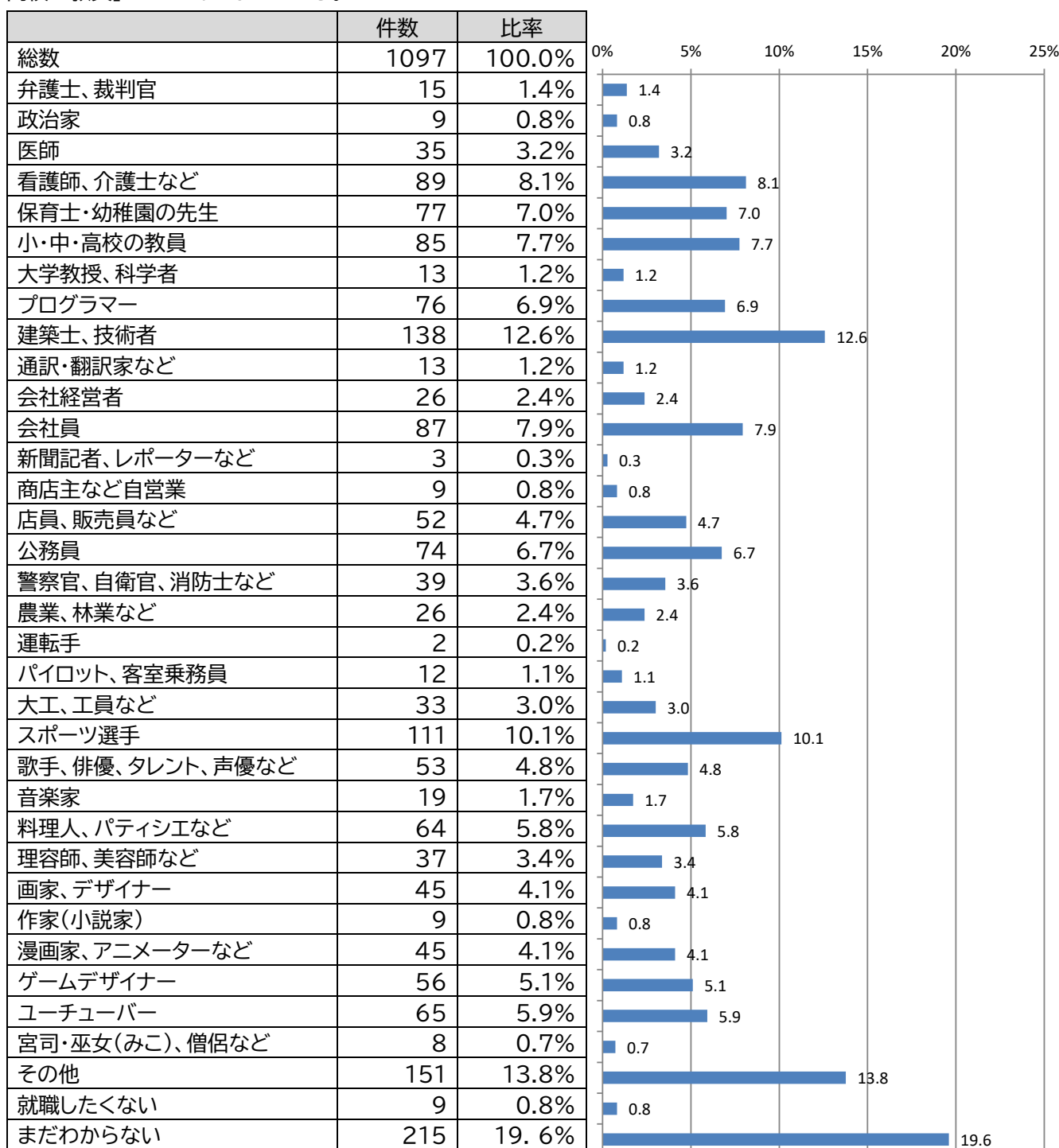
	総数	職場見学・体験	学校の進路説明会	先生と相談して	家族や友人・知人と話して	テレビや雑誌を見て	インターネット・SNS	特にない・なんとなく	その他
総数	865	89	88	42	270	26	95	207	48
小学5年	77	6	1	1	28	4	2	31	4
小学6年	76	6	2	1	23	5	1	32	6
中学1年	83	0	2	1	18	6	18	32	6
中学2年	132	10	2	1	54	6	17	38	4
中学3年	59	7	8	2	28	1	6	6	1
高校1年	154	13	17	4	48	2	23	38	9
高校2年	108	19	18	6	29	2	8	22	4
高校3年	176	28	38	26	42	0	20	8	14

%	職場見学・体験	学校の進路説明会	先生と相談して	家族や友人・知人と話して	テレビや雑誌を見て	インターネット・SNS	特にない・なんとなく	その他
総数	10.3%	10.2%	4.9%	31.2%	3.0%	11.0%	23.9%	5.5%
小学5年	7.8%	1.3%	1.3%	36.4%	5.2%	2.6%	40.3%	5.2%
小学6年	7.9%	2.6%	1.3%	30.3%	6.6%	1.3%	42.1%	7.9%
中学1年	0.0%	2.4%	1.2%	21.7%	7.2%	21.7%	38.6%	7.2%
中学2年	7.6%	1.5%	0.8%	40.9%	4.5%	12.9%	28.8%	3.0%
中学3年	11.9%	13.6%	3.4%	47.5%	1.7%	10.2%	10.2%	1.7%
高校1年	8.4%	11.0%	2.6%	31.2%	1.3%	14.9%	24.7%	5.8%
高校2年	17.6%	16.7%	5.6%	26.9%	1.9%	7.4%	20.4%	3.7%
高校3年	15.9%	21.6%	14.8%	23.9%	0.0%	11.4%	4.5%	8.0%

⑩ 将来就きたい仕事

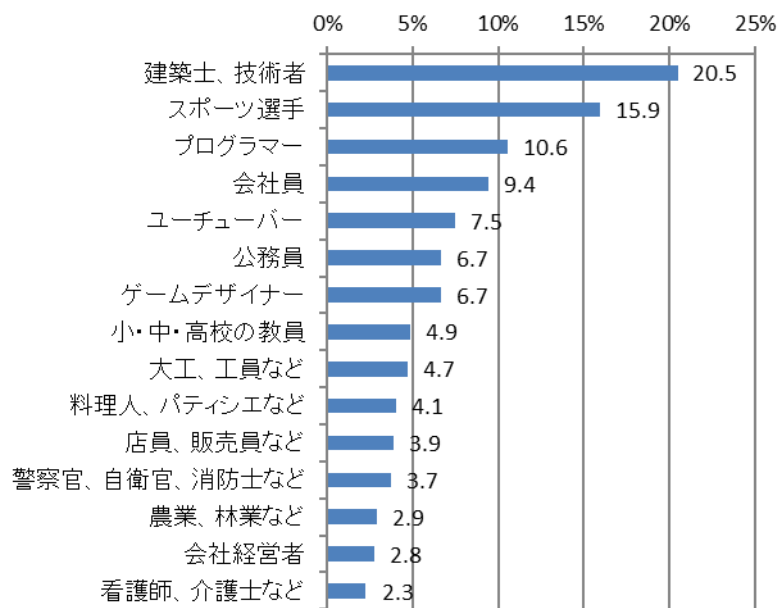
「まだわからない」が19.6%と最も多く、次いで「建築士、技術者」が12.6%、「スポーツ選手」が10.1%となっている。

男女別で見ると、男性は、「建築士」が20.5%と最も多く、次いで「スポーツ選手」15.9%、「プログラマー」10.6%、女性は、「看護師、介護士など」が15.7%と最も多く、次いで「保育士・幼稚園の先生」13.8%、「小・中・高校の教員」が7.7%となっている。

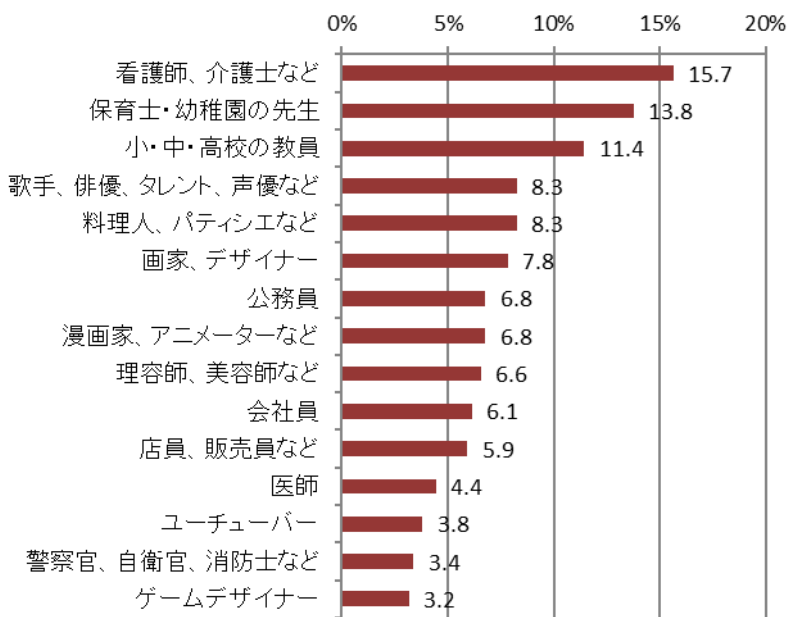


<その他> 管理栄養士、スポーツ関係、自動車整備士、運転士
 製造業、観光業、ウエディングプランナー、運輸業
 ファッション・美容、動物関係、植物関係

■将来就きたい仕事(男性)



■就きたい仕事(女性)



⑪ 平日の放課後、休日はどこで過ごしているか

放課後の居場所は、平日は「自分の家」が91.0%と最も多く、次いで「学校(部活動等)」が44.6%となっている。

また、休日は「自分の家」が84.3%と最も多く、次いで「スーパーやショッピングモール」が29.3%となっている。

	件数			割合	
	総数	平日	休日	平日	休日
総数	1097	1097	1097	100.0%	100.0%
自分の家	1046	998	925	91.0%	84.3%
祖父母の家	240	96	205	8.8%	18.7%
友だちの家	198	75	160	6.8%	14.6%
塾・習い事	364	305	212	27.8%	19.3%
学校(部活動等)	523	489	278	44.6%	25.3%
学童保育	15	12	3	1.1%	0.3%
放課後子供教室	22	18	6	1.6%	0.5%
先輩・後輩の家	30	16	23	1.5%	2.1%
スーパーやショッピングモール	337	77	321	7.0%	29.3%
ファストフード店	167	47	154	4.3%	14.0%
公共の施設(図書館、市民交流センター、青少年育成プラザ「Miacis(ミアキス)」など)	191	83	160	7.6%	14.6%
公園・広場	158	64	137	5.8%	12.5%
その他	53	22	34	2.0%	3.1%

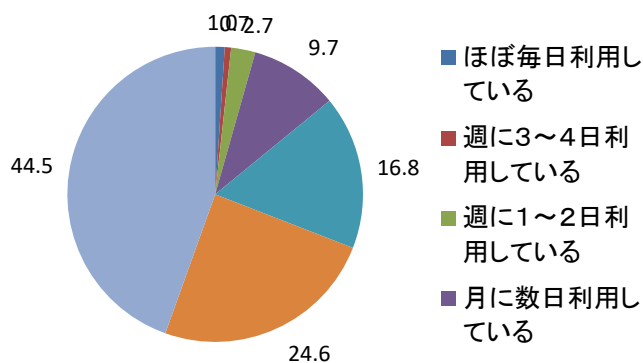
⑫ 主に誰と過ごしているか

		総数	一人	家族	友達
自分の家	件数	1051	377	933	73
	比率	100.0%	35.9%	88.8%	6.9%
祖父母の家	件数	271	47	249	7
	比率	100.0%	17.3%	91.9%	2.6%
友だちの家	件数	243	35	13	215
	比率	100.0%	14.4%	5.3%	88.5%
塾・習い事	件数	343	163	40	180
	比率	100.0%	47.5%	11.7%	52.5%
学校(部活動等)	件数	489	80	16	444
	比率	100.0%	16.4%	3.3%	90.8%
学童保育	件数	22	7	2	15
	比率	100.0%	31.8%	9.1%	68.2%
放課後子供教室	件数	27	5	1	22
	比率	100.0%	18.5%	3.7%	81.5%
先輩・後輩の家	件数	41	9	2	37
	比率	100.0%	22.0%	4.9%	90.2%
スーパーやショッピングモール	件数	342	59	247	169
	比率	100.0%	17.3%	72.2%	49.4%
ファストフード店	件数	193	36	132	108
	比率	100.0%	18.7%	68.4%	56.0%
公共の施設(図書館、市民交流センター、 青少年育成プラザ「Miacis(ミアキス)」 など)	件数	202	60	40	147
	比率	100.0%	29.7%	19.8%	72.8%
公園・広場	件数	170	40	69	114
	比率	100.0%	23.5%	40.6%	67.1%
その他	件数	41	15	20	22
	比率	100.0%	36.6%	48.8%	53.7%

⑬ Miacis(ミアキス)の利用頻度(中高生だけの回答)

「利用したことがない」が44.5%と最も多く、次いで「ほとんど利用していない」が24.6%、「数か月に1回利用している」が16.8%、「月に数日利用している」が9.7%となっている。

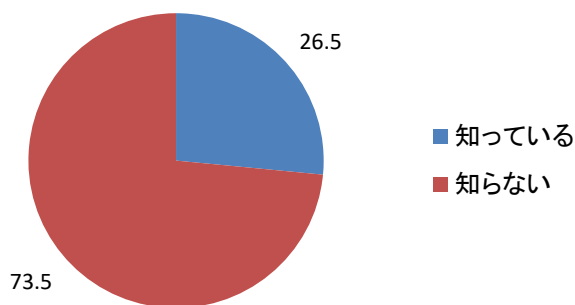
	件数	比率
総数	867	100.0%
ほぼ毎日利用している	9	1.0%
週に3~4日利用している	6	0.7%
週に1~2日利用している	23	2.7%
月に数日利用している	84	9.7%
数か月に1回利用している	146	16.8%
ほとんど利用していない	213	24.6%
利用したことがない	386	44.5%



⑭ Miacis(ミアキス)を知っているか(小学生だけの回答)

小学生で「知っている」が26.5%となっている。

	件数	比率
総数	230	100.0%
知っている	61	26.5%
知らない	169	73.5%

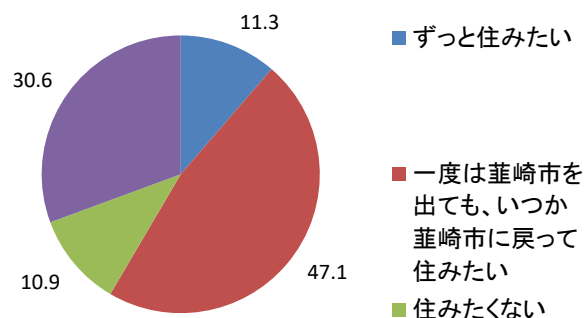


⑮ 将来的な定住意向(蕪崎市在住の中高生だけの回答)

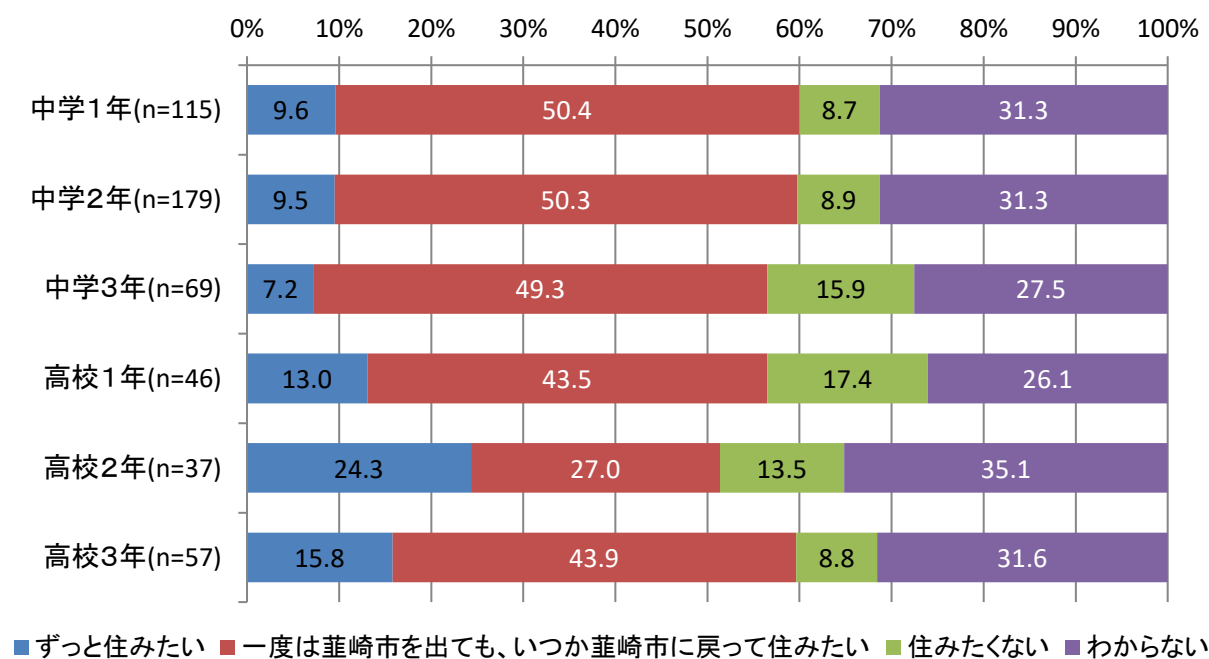
「一度は蕪崎市を出ても、いつか蕪崎市に戻って住みたい」が47.1%と最も多く、次いで「わからない」が30.6%、「ずっと住みたい」が11.3%、「住みたくない」が10.9%となっている。

高校2年生までは、「ずっと住みたい」、「一度は蕪崎市を出ても、いつか蕪崎市に戻って住みたい」の割合は徐々に減りつつあるが、高校3年生になると、「ずっと住みたい」、「一度は蕪崎市を出ても、いつか蕪崎市に戻って住みたい」の割合が多くなっている。

	件数	比率
総数	503	100.0%
ずっと住みたい	57	11.3%
一度は蕪崎市を出ても、いつか蕪崎市に戻って住みたい	237	47.1%
住みたくない	55	10.9%
わからない	154	30.6%



■ 学年別



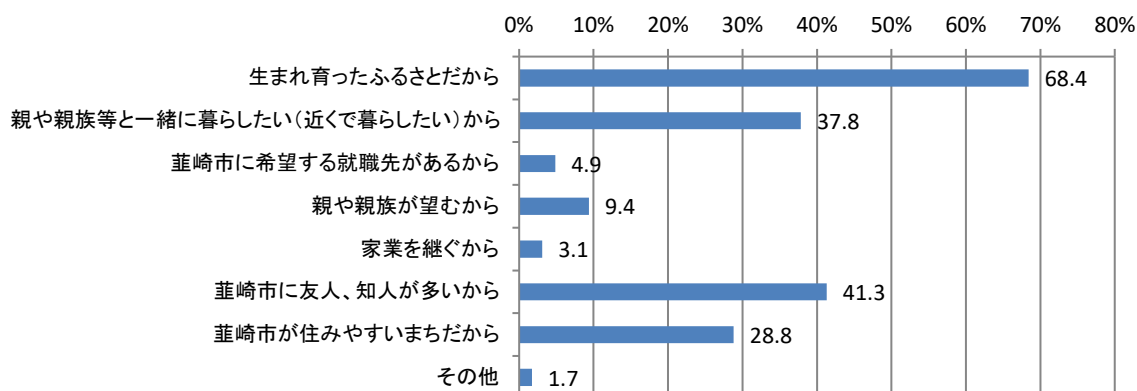
⑩ 「住みたい」を選択した理由(葦崎市在住の中高生のみで、かつ将来「ずっと住みたい」、「一度は葦崎市を出ても、いつか葦崎市に戻って住みたい」を選択した人のみ回答)

「生まれ育ったふるさとだから」が68.4%と最も多く、次いで「葦崎市に友人、知人が多いから」が41.3%、「親や親族等と一緒に暮らしたい(近くで暮らしたい)から」が37.8%、「葦崎市が住みやすいまちだから」が28.8%となっている。

高校3年生になると、住みたい理由に「葦崎市に希望する就職先があるから」の割合が増えている。

	件数	比率
総数	288	100.0%
生まれ育ったふるさとだから	197	68.4%
親や親族等と一緒に暮らしたい(近くで暮らしたい)から	109	37.8%
葦崎市に希望する就職先があるから	14	4.9%
親や親族が望むから	27	9.4%
家業を継ぐから	9	3.1%
葦崎市に友人、知人が多いから	119	41.3%
葦崎市が住みやすいまちだから	83	28.8%
その他	5	1.7%

<その他> 自然が豊か



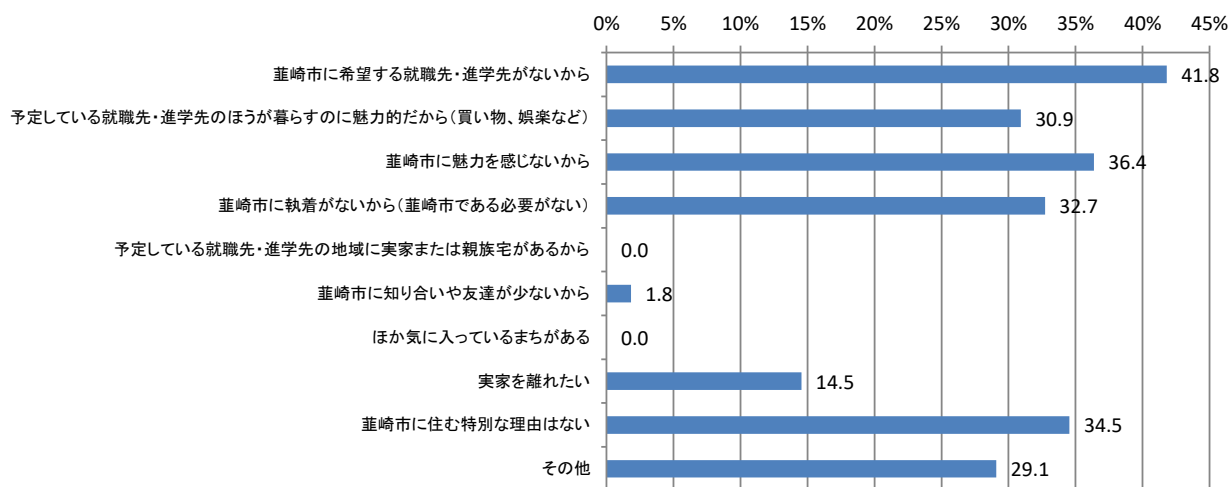
■ 学年別

	総数	生まれ育ったふるさとだから	親や親族等と一緒に暮らしたい(近くで暮らしたい)から	葦崎市に希望する就職先があるから	親や親族が望むから	家業を継ぐから	葦崎市に友人、知人が多いから	葦崎市が住みやすいまちだから	その他
総数	288	197	109	14	27	9	119	83	5
中学1年	67	51	19	1	7	4	32	25	0
中学2年	106	75	45	4	4	3	46	27	3
中学3年	37	25	14	0	6	1	13	13	1
高校1年	26	15	8	1	3	0	9	8	1
高校2年	19	7	7	0	0	0	6	6	0
高校3年	33	24	16	8	7	1	13	4	0
総数		68.4%	37.8%	4.9%	9.4%	3.1%	41.3%	28.8%	1.7%
中学1年		76.1%	28.4%	1.5%	10.4%	6.0%	47.8%	37.3%	0.0%
中学2年		70.8%	42.5%	3.8%	3.8%	2.8%	43.4%	25.5%	2.8%
中学3年		67.6%	37.8%	0.0%	16.2%	2.7%	35.1%	35.1%	2.7%
高校1年		57.7%	30.8%	3.8%	11.5%	0.0%	34.6%	30.8%	3.8%
高校2年		36.8%	36.8%	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	31.6%	0.0%
高校3年		72.7%	48.5%	24.2%	21.2%	3.0%	39.4%	12.1%	0.0%

⑰ 「住みたくない」を選択した理由(韮崎市在住の中高生のみで、かつ将来「住みたくない」を選択した人のみ回答)

「韮崎市に希望する就職先・進学先がないから」が 41.8%と最も多く、次いで「韮崎市に魅力を感じないから」が 36.4%、「韮崎市に住む特別な理由はない」が 34.5%、「韮崎市に執着がないから(韮崎市である必要がない)」が 32.7%となっている。

	件数	比率
総数	55	100.0%
韮崎市に希望する就職先・進学先がないから	23	41.8%
予定している就職先・進学先のほうが暮らすのに魅力的だから(買い物、娯楽など)	17	30.9%
韮崎市に魅力を感じないから	20	36.4%
韮崎市に執着がないから(韮崎市である必要がない)	18	32.7%
予定している就職先・進学先の地域に実家または親族宅があるから		0.0%
韮崎市に知り合いや友達が少ないから	1	1.8%
ほか気に入っているまちがある		0.0%
実家を離れたい	8	14.5%
韮崎市に住む特別な理由はない	19	34.5%
その他	16	29.1%



■学年別

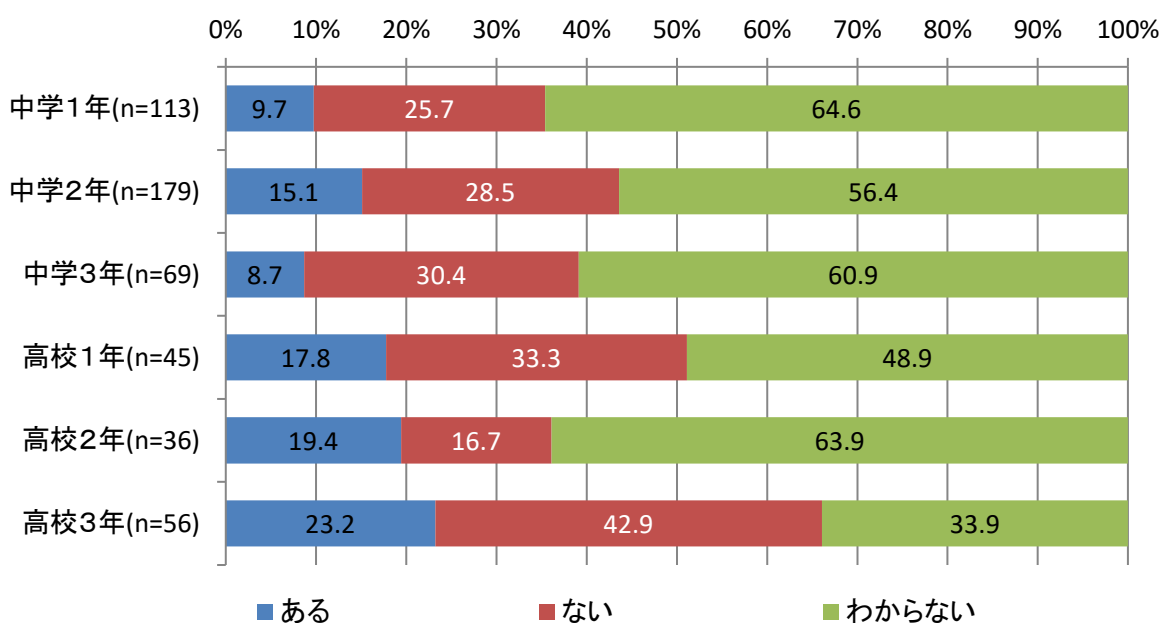
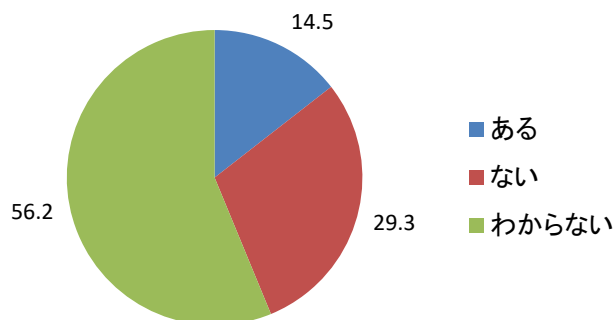
	総数	葎崎市に希望する就職先・進学先がないから	予定している就職先・進学先のほうが暮らすのに魅力的だから（買い物、娯楽など）	葎崎市に魅力を感じないから	葎崎市に執着がないから（葎崎市である必要がない）	予定している就職先・進学先の地域に実家または親族宅があるから	葎崎市に知り合いや友達が少ないから	ほか気に入っているまちがある	実家を離れたい	葎崎市に住む特別な理由はない	その他
総数	55	23	17	20	18		1		8	19	16
中学1年	10	2	1	3	3		0		1	4	5
中学2年	16	11	6	4	4		0		2	3	8
中学3年	11	4	5	4	4		0		1	6	1
高校1年	8	4	0	4	2		1		1	2	2
高校2年	5	0	2	2	4		0		2	2	0
高校3年	5	2	3	3	1		0		1	2	0
総数		41.8%	30.9%	36.4%	32.7%	0.0%	1.8%	0.0%	14.5%	34.5%	29.1%
中学1年		20.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	50.0%
中学2年		68.8%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	18.8%	50.0%
中学3年		36.4%	45.5%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	9.1%
高校1年		50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%
高校2年		0.0%	40.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%
高校3年		40.0%	60.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%

⑱ 自分が働きたいと思える企業(会社)は韮崎市にあるか(韮崎市在住の中高生のみ回答)

「わからない」が56.2%と最も多く、次いで「ない」が29.3%となっている。

高校3年生になると「わからない」の割合は減り、33.9%と減っている。

	件数	比率
総数	498	100.0%
ある	72	14.5%
ない	146	29.3%
わからない	280	56.2%

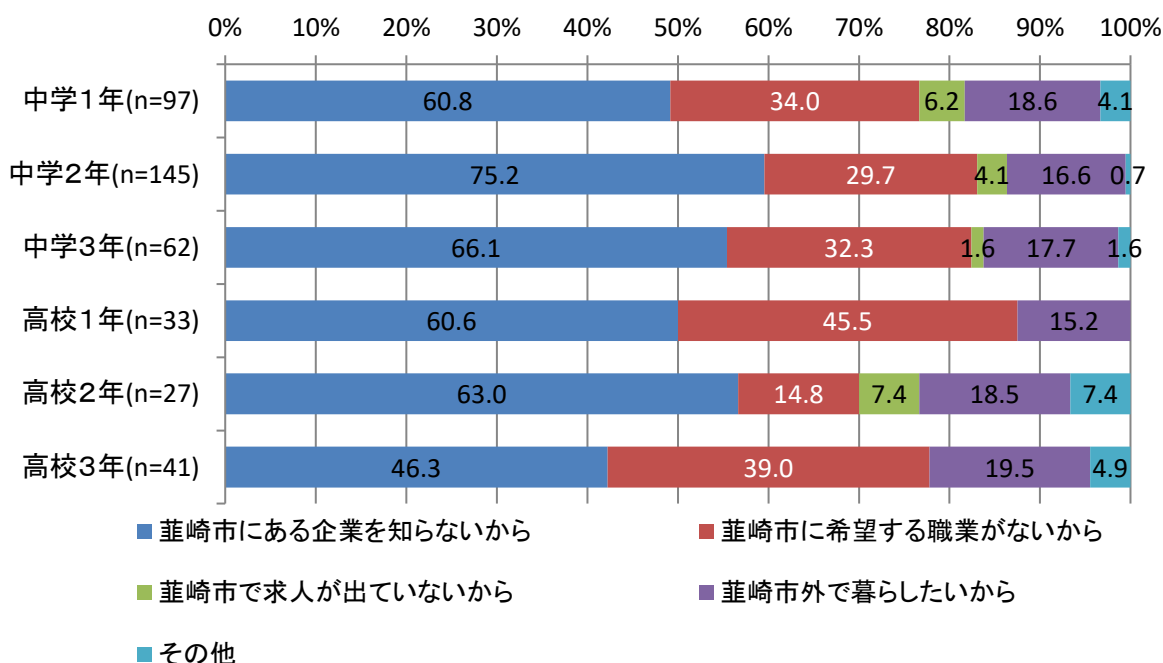
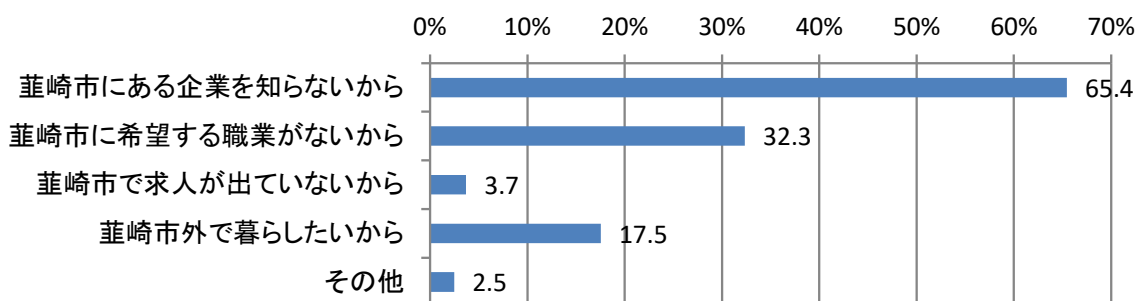


⑱ 自分が働きたいと思える企業(会社)は蕪崎市に「ない」「わからない」と回答した理由(蕪崎市在住の中高生のみ回答)

「蕪崎市にある企業を知らないから」が65.4%と最も多く、次いで「蕪崎市に希望する職業がないから」が32.3%、「蕪崎市外で暮らしたいから」が17.5%、「蕪崎市で求人が出ていないから」が3.7%となっている。

高校3年生になると、「蕪崎市にある企業を知らないから」の割合は46.3%まで減っている。

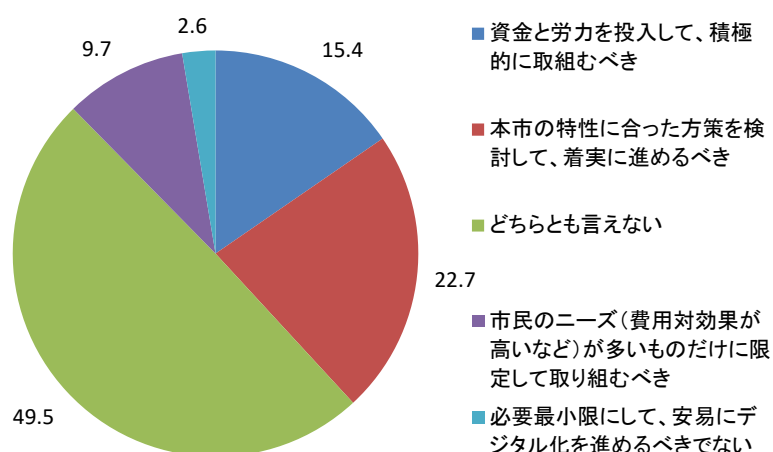
	件数	比率
総数	405	100.0%
蕪崎市にある企業を知らないから	265	65.4%
蕪崎市に希望する職業がないから	131	32.3%
蕪崎市で求人が出ていないから	15	3.7%
蕪崎市外で暮らしたいから	71	17.5%
その他	10	2.5%



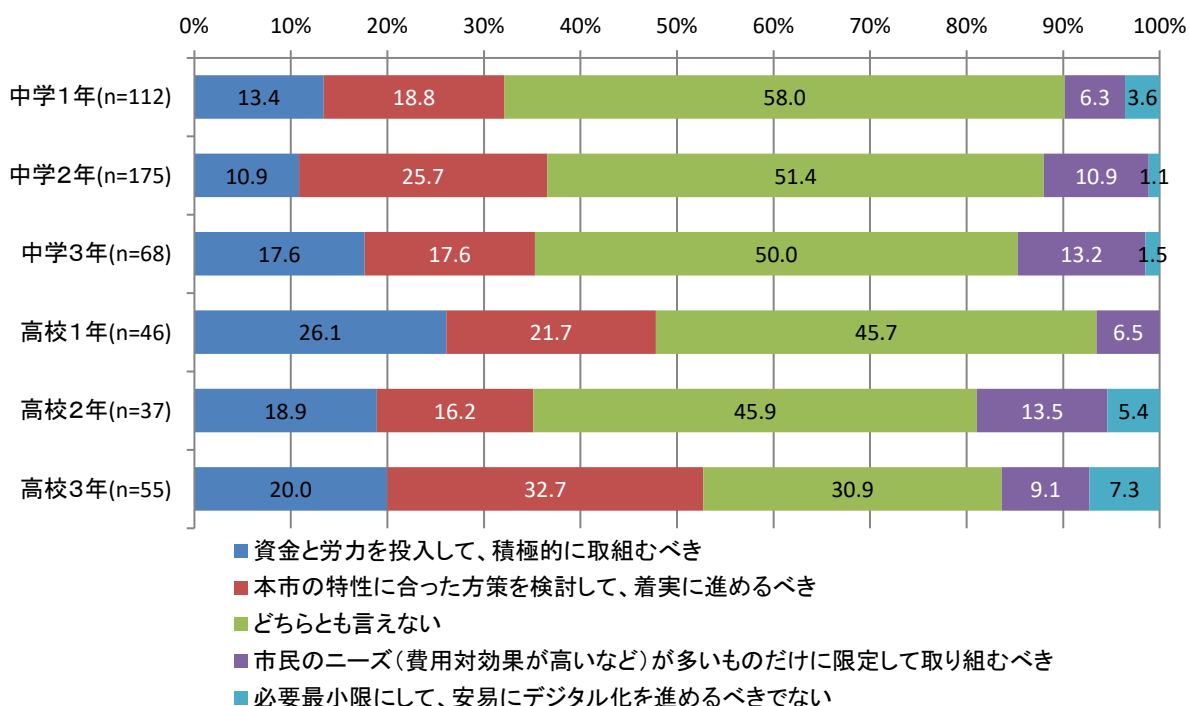
⑩ 蕪崎市における行政及び自治体へのデジタル化に対する取り組みについて(蕪崎市在住の中高生のみ回答)

「どちらとも言えない」が 49.5%と最も多く、次いで「本市の特性に合った方策を検討して、着実に進めるべき」が 22.7%、「資金と労力を投入して、積極的に取り組むべき」が 15.4%、「市民のニーズ(費用対効果が高いなど)が多いものだけに限定して取り組むべき」が 9.7%となっている。

	件数	比率
総数	493	100.0%
資金と労力を投入して、積極的に取り組むべき	76	15.4%
本市の特性に合った方策を検討して、着実に進めるべき	112	22.7%
どちらとも言えない	244	49.5%
市民のニーズ(費用対効果が高いなど)が多いものだけに限定して取り組むべき	48	9.7%
必要最小限にして、安易にデジタル化を進めるべきでない	13	2.6%



■ 学年別



②1 他の地域と比べて蕪崎市はどのような市だと思うか

カテゴリー	件数
自然・環境	305
地域性・人の温かさ	129
商業・利便性	104
交通・アクセス	38
都市の特徴・魅力	34
スポーツ・文化	31
子育て・教育環境	22
その他	293

<主な意見>

●自然・環境

- ・自然豊か、自然に囲まれている土地だと思います
- ・市全体として活気があって、地域内で連携をとっている。独自の魅力、見どころが多くある

●交通・アクセス

- ・都会へのアクセスも良くて過ごしやすい
- ・交通手段が少ない、交通が不便な町

●商業・利便性

- ・学校の近くに商業施設や店舗が複数あるため学生にとって快適な市
- ・駅の近くにニコリやアメリカ横丁など様々な施設があり、とても便利で過ごしやすいところだと思っています。

●地域性・人の温かさ

- ・人が暖かい市
- ・地域活性化に尽力している印象を受ける市

●子育て・教育環境

- ・子育てがしやすい市
- ・家・塾以外に勉強できる場所があり助かる、ニコリを学習等で利用できるのは便利でありがたい

●スポーツ・文化

- ・落ち着いている市だけど、イベント事は全員盛り上がって楽しんでいるイメージ
- ・サッカーの町。中田英寿さんで有名。

●都市の特徴・魅力

- ・市全体として活気があって、地域内で連携をとっている。独自の魅力、見どころが多くある。自然が豊か。
- ・活気があふれている、若者が多く、いろいろなことに挑戦しやすい

② 韮崎市での普段の生活の中で不安に思うことや、これからのまちづくりに向けての提案・意見

カテゴリー	件数
商業・利便性	71
交通・アクセス	69
地域性・人の温かさ	36
スポーツ・文化	31
子育て・教育環境	18
自然・環境	16
都市の特徴・魅力	8
その他	128

<主な意見>

●自然・環境

- ・釜無川を挟んで東側と西側で繁栄具合に差がある
- ・全体的に良い町けどもう少し木や森の管理をしてほしい
- ・自然とを感じるけどいろんな動物がいるのが不安

●交通・アクセス

- ・観光資源や施設に行くための公共交通機関が整っていないと感じる時があります
- ・電車やバスの本数が少なく、通学の時間に制限を感じる
- ・渋滞がすごい道だったり、危険な道が何か所があるから交通の整備をもう少し充実させてほしい

●商業・利便性

- ・商業施設が増えると便利
- ・コンビニやファストフード店を増やす
- ・もう少し若者が遊べる施設があるとありがたい

●地域性・人の温かさ

- ・少子化により地域の活性化が低下しているからもっと盛り上げていくべき
- ・活気がない、屋外で体づくりができる施設が欲しい
- ・外国人が増えていて怖い

●子育て・教育環境

- ・学習施設が欲しいです。ニコリのような静かに落ち着いて学習できる場所が欲しい
- ・難しいとは思いますが、大学などの専門学校・専門機関を整えて欲しいです
- ・学校帰りの遅い時間に駅へ行くと暗くて危険を感じる

●スポーツ・文化

- ・祭りをやるならもう少し広い場所を確保して欲しい
- ・サッカー場の整備をしてほしい
- ・市政祭などのお祭りを昔みたいのにぎやかに大きく開催してほしい

●都市の特徴・魅力

- ・観光地を繋ぐバスや乗合タクシーなどがあると気軽に観光しやすくなると思う
- ・七里ヶ岩を境目に少し町の活気が偏っていること
- ・空き家をもっとカフェや図書館・外食などにリニューアルしてほしい

(6) 企業アンケート

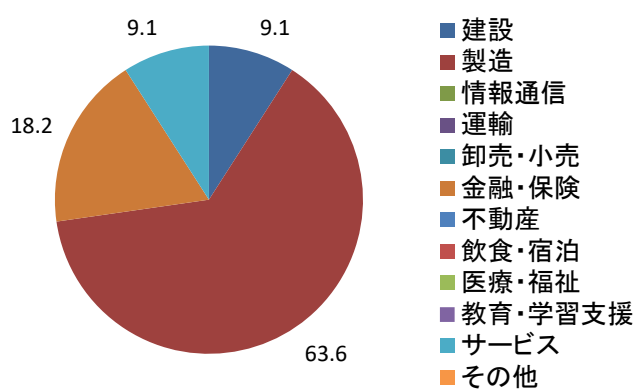
■調査概要

- ・実施日:令和7年10月20日~11月7日
- ・配布対象:葦崎工業クラブに所属している企業
- ・実施方法:WEB フォームにて回答
- ・回収数:11社

① 業種

「製造」が63.6%と最も多く、次いで「金融・保険」が18.2%、「建設」「サービス」が9.1%となっている。

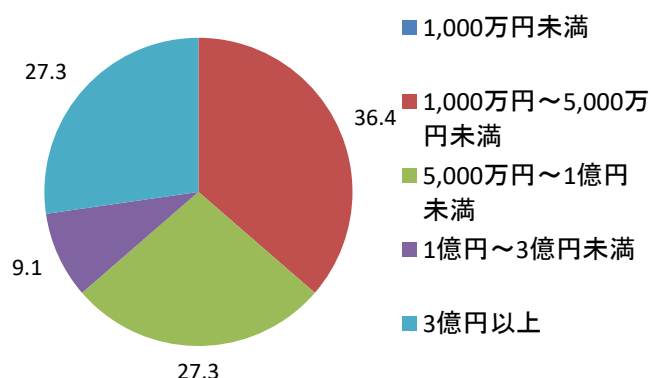
	件数	比率
総数	11	100.0%
建設	1	9.1%
製造	7	63.6%
情報通信		0.0%
運輸		0.0%
卸売・小売		0.0%
金融・保険	2	18.2%
不動産		0.0%
飲食・宿泊		0.0%
医療・福祉		0.0%
教育・学習支援		0.0%
サービス	1	9.1%
その他		0.0%



② 資本金

「1,000万円～5,000万円未満」が36.4%と最も多く、次いで「5,000万円～1億円未満」「3億円以上」が27.3%となっている。

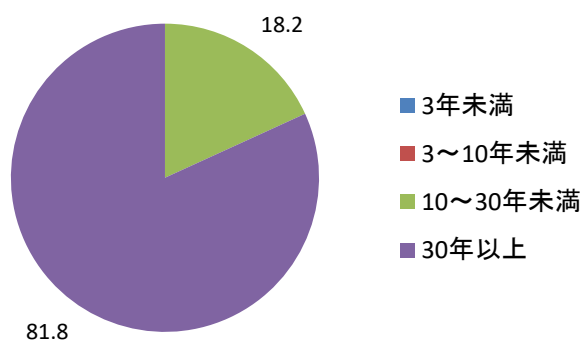
	件数	比率
総数	11	100.0%
1,000万円未満		0.0%
1,000万円～5,000万円未満	4	36.4%
5,000万円～1億円未満	3	27.3%
1億円～3億円未満	1	9.1%
3億円以上	3	27.3%



③ 総業年

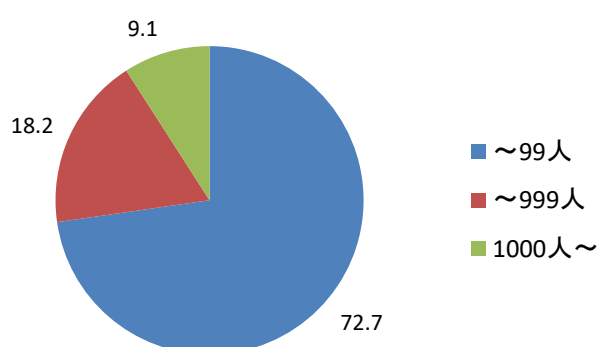
「30年以上」が81.8%と最も多く、次いで「10～30年未満」が18.2%となっている。

	件数	比率
総数	11	100.0%
3年未満		0.0%
3～10年未満		0.0%
10～30年未満	2	18.2%
30年以上	9	81.8%



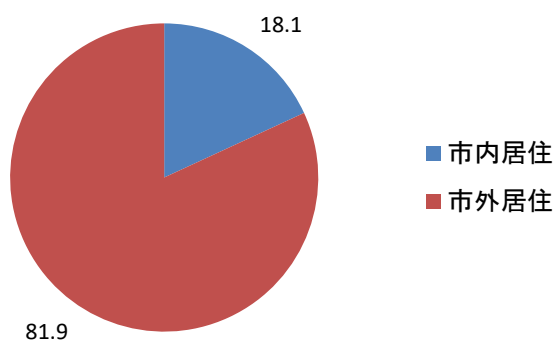
④ 従業員数

	件数	比率
総数	11	100.0%
～99人	8	72.7%
～999人	2	18.2%
1000人～	1	9.1%



⑤ 社員の居住地(11社計)

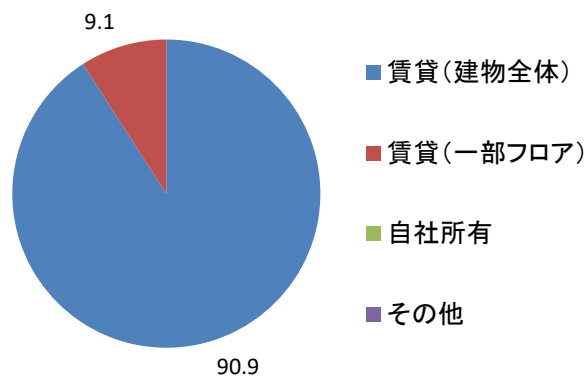
	人数	比率
市内居住	514	18.1%
市外居住	2,323	81.9%



⑥ 社屋の所有形態

「賃貸(建物全体)」が90.9%と最も多く、次いで「賃貸(一部フロア)」が9.1%となっている。

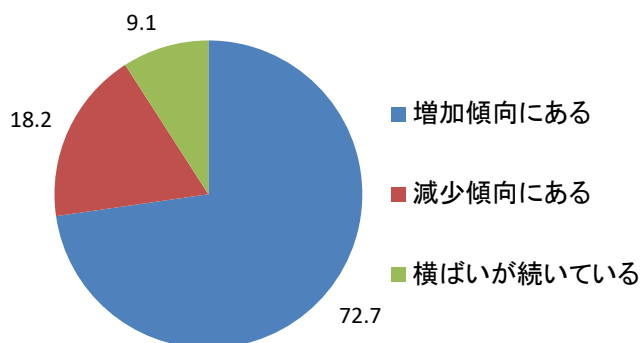
	件数	比率
総数	11	100.0%
賃貸(建物全体)	10	90.9%
賃貸(一部フロア)	1	9.1%
自社所有		0.0%
その他		0.0%



⑦ 売上傾向

「増加傾向にある」が72.7%と最も多く、次いで「減少傾向にある」が18.2%、「横ばいが続いている」が9.1%となっている。

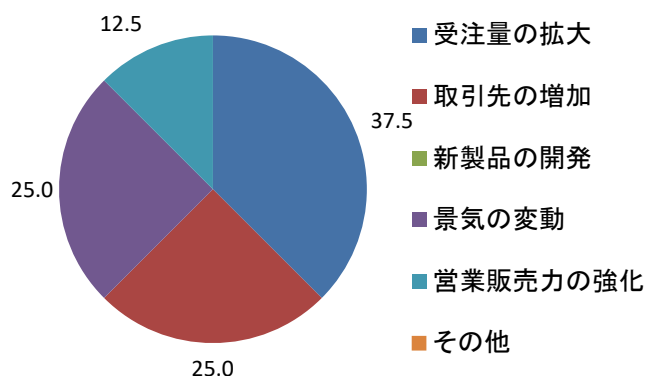
	件数	比率
総数	11	100.0%
増加傾向にある	8	72.7%
減少傾向にある	2	18.2%
横ばいが続いている	1	9.1%



⑧ 売上増加傾向の理由

「受注量の拡大」が37.5%と最も多く、次いで「取引先の増加」「景気の変動」が25.0%、「営業販売力の強化」が12.5%となっている。

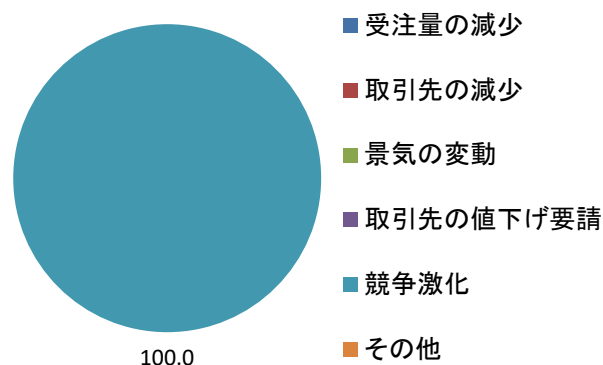
	件数	比率
総数	8	100.0%
受注量の拡大	3	37.5%
取引先の増加	2	25.0%
新製品の開発		0.0%
景気の変動	2	25.0%
営業販売力の強化	1	12.5%
その他		0.0%



⑨ 売上減少傾向の理由

「競争激化」が100.0%と最も多くなっている。

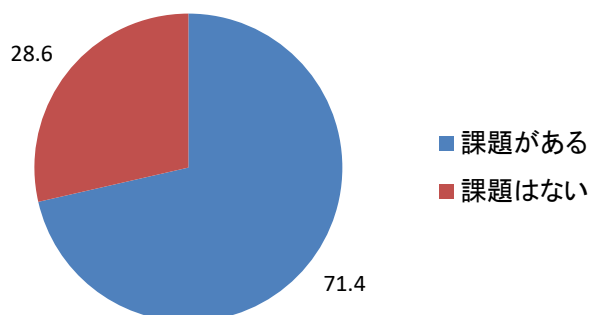
	件数	比率
総数	1	100.0%
受注量の減少		0.0%
取引先の減少		0.0%
景気の変動		0.0%
取引先の値下げ要請		0.0%
競争激化	1	100.0%
その他		0.0%



⑩ 操業環境について、現在抱えている課題

「課題がある」が81.8%と最も多く、次いで「課題はない」が18.2%となっている。

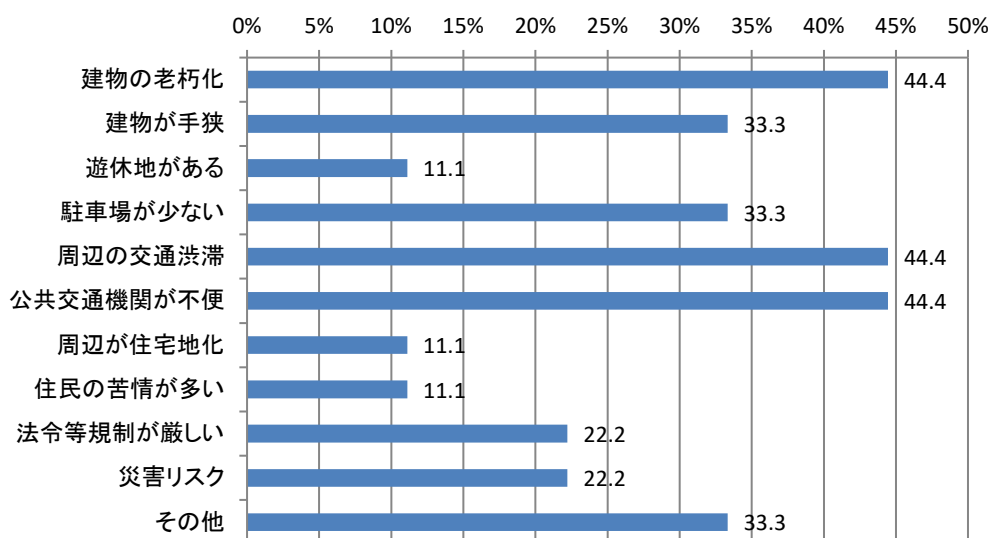
	件数	比率
総数	11	100.0%
課題がある	9	81.8%
課題はない	2	18.2%



⑪ 課題があると回答した理由

「建物の老朽化」「周辺の交通渋滞」「公共交通機関が不便」が44.4%、「建物が手狭」「駐車場が少ない」が33.3%となっている。

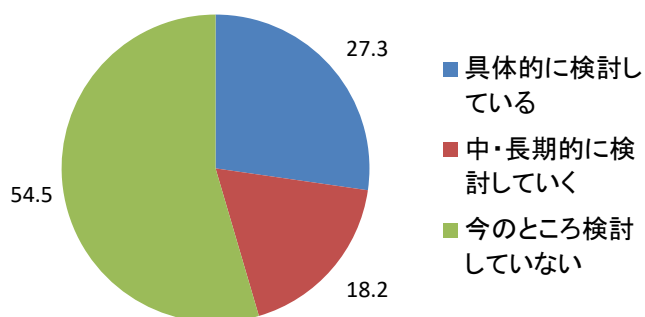
	件数	比率
総数	9	100.0%
建物の老朽化	4	44.4%
建物が手狭	3	33.3%
遊休地がある	1	11.1%
駐車場が少ない	3	33.3%
周辺の交通渋滞	4	44.4%
公共交通機関が不便	4	44.4%
周辺が住宅地化	1	11.1%
住民の苦情が多い	1	11.1%
法令等規制が厳しい	2	22.2%
災害リスク	2	22.2%
その他	3	33.3%



⑫ 今後事業所の拡張、建物の更新等の計画

「今のところ検討していない」が54.5%と最も多く、次いで「具体的に検討している」が27.3%、「中・長期的に検討していく」が18.2%となっている。

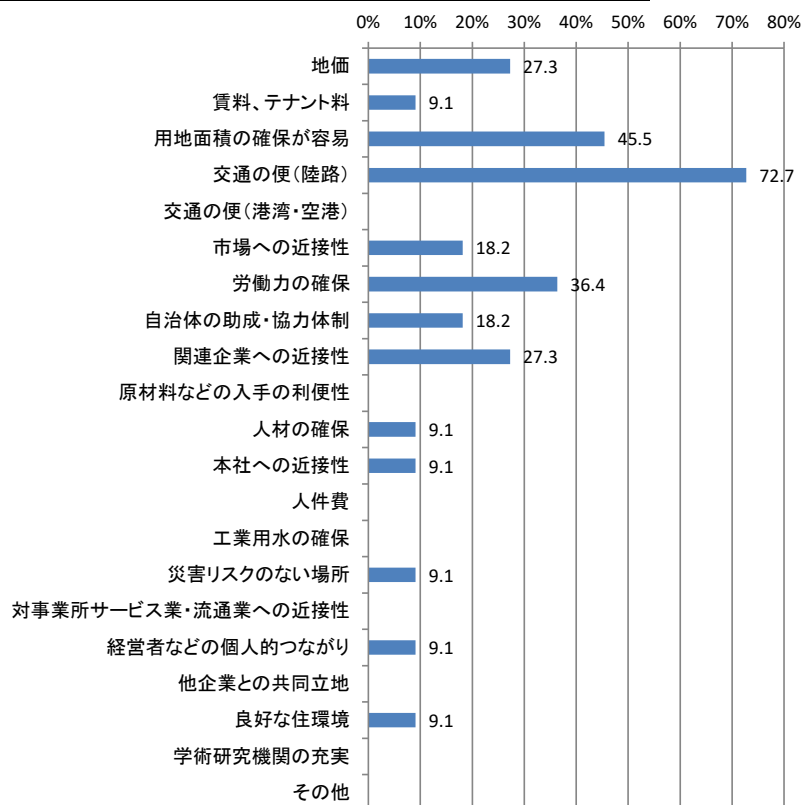
	件数	比率
総数	11	100.0%
具体的に検討している	3	27.3%
中・長期的に検討していく	2	18.2%
今のところ検討していない	6	54.5%



⑬ 立地先を決定する際に重視する点

「交通の便(陸路)」が72.7%と最も多く、次いで「用地面積の確保が容易」が45.5%、「労働力の確保」が36.4%、「地価」「関連企業への近接性」が27.3%となっている。

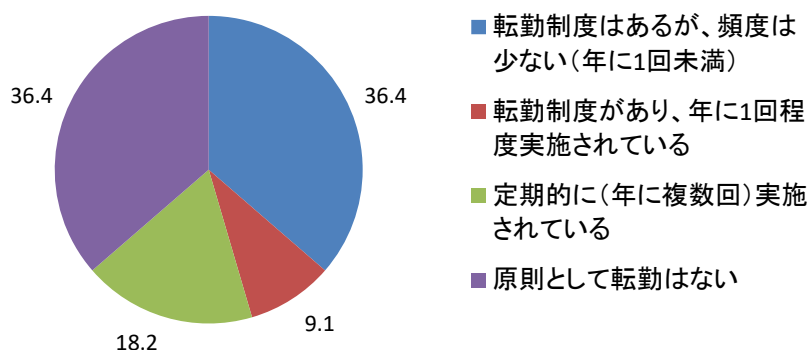
	件数	比率
総数	11	100.0%
地価	3	27.3%
賃料、テナント料	1	9.1%
用地面積の確保が容易	5	45.5%
交通の便(陸路)	8	72.7%
交通の便(港湾・空港)		0.0%
市場への近接性	2	18.2%
労働力の確保	4	36.4%
自治体の助成・協力体制	2	18.2%
関連企業への近接性	3	27.3%
原材料などの入手の利便性		0.0%
人材の確保	1	9.1%
本社への近接性	1	9.1%
人件費		0.0%
工業用水の確保		0.0%
災害リスクのない場所	1	9.1%
対事業所サービス業・流通業への近接性		0.0%
経営者などの個人的つながり	1	9.1%
他企業との共同立地		0.0%
良好な住環境	1	9.1%
学術研究機関の充実		0.0%
その他		0.0%



⑭ 転勤を伴う異動制度と頻度

「転勤制度はあるが、頻度は少ない(年に1回未満)」「原則として転勤はない」が36.4%、「定期的に(年に複数回)実施されている」が18.2%、「転勤制度があり、年に1回程度実施されている」が9.1%となっている。

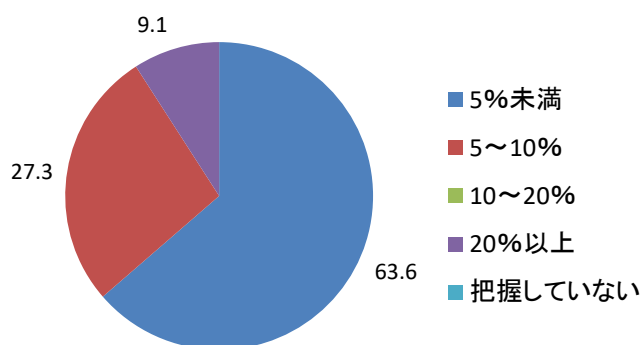
	件数	比率
総数	11	100.0%
転勤制度はあるが、頻度は少ない(年に1回未満)	4	36.4%
転勤制度があり、年に1回程度実施されている	1	9.1%
定期的に(年に複数回)実施されている	2	18.2%
原則として転勤はない	4	36.4%



⑮ 過去1年間の離職率

「5%未満」が63.6%と最も多く、次いで「5~10%」が27.3%、「20%以上」が9.1%となっている。

	件数	比率
総数	11	100.0%
5%未満	7	63.6%
5~10%	3	27.3%
10~20%		0.0%
20%以上	1	9.1%
把握していない		0.0%

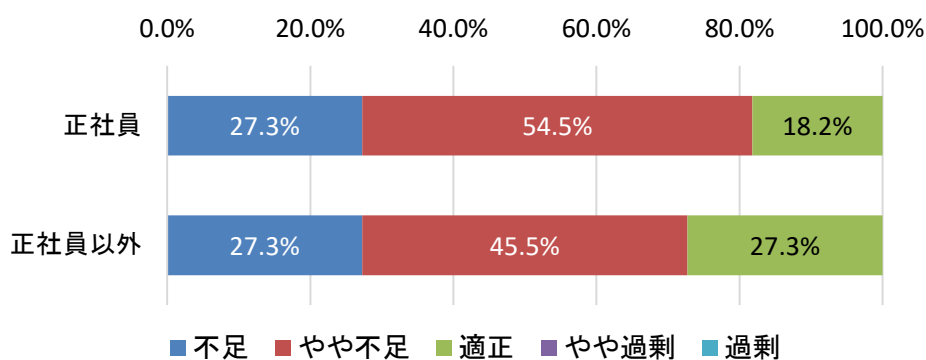


⑩ 人手の過不足(正社員、正社員以外)

正社員については、「やや不足」が 57.1%と最も多く、次いで「不足」「適正」が 21.4%となっている。

正社員以外については、「やや不足」が 50.0%と最も多く、次いで「適正」が 28.6%、「不足」が 21.4%となっている。

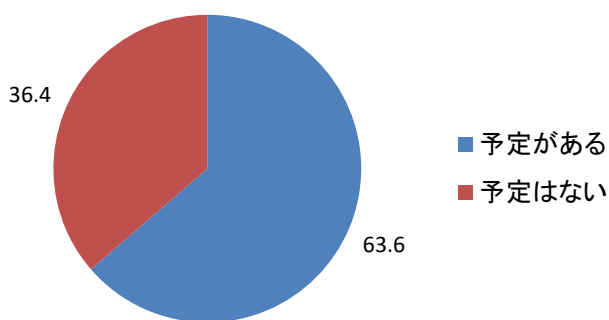
	正社員		正社員以外	
	件数	比率	件数	比率
総数	11	100.0%	11	100.0%
不足	3	27.3%	3	27.3%
やや不足	6	54.5%	5	45.5%
適正	2	18.2%	3	27.3%
やや過剰		0.0%		0.0%
過剰		0.0%		0.0%



⑪ 従業員(パート、アルバイトを含む)を増やす予定

「予定がある」が 63.6%と最も多く、次いで「予定はない」が 36.4%となっている。

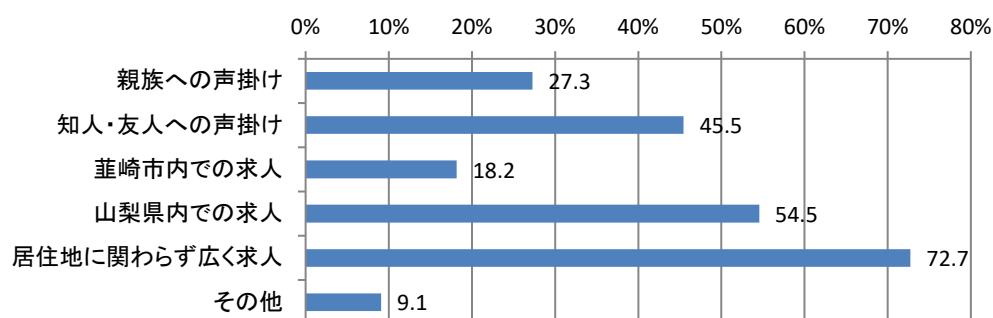
	件数	比率
総数	11	100.0%
予定がある	7	63.6%
予定はない	4	36.4%



⑱ 求人を行っている範囲

「居住地に関わらず広く求人」が 72.7%と最も多く、次いで「山梨県内での求人」が 54.5%、「知人・友人への声掛け」が 45.5%、「親族への声掛け」が 27.3%となっている。

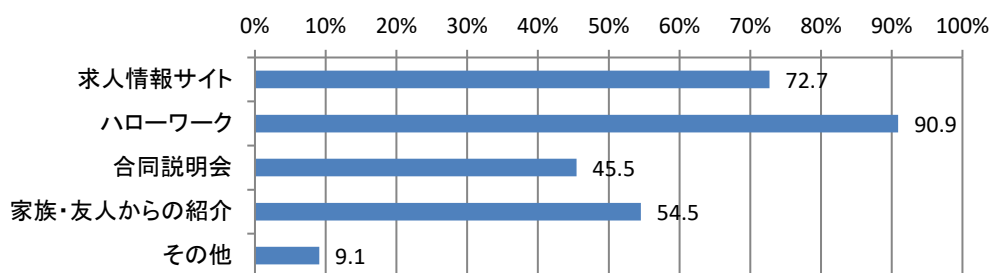
	件数	比率
総数	11	100.0%
親族への声掛け	3	27.3%
知人・友人への声掛け	5	45.5%
韮崎市内的での求人	2	18.2%
山梨県内での求人	6	54.5%
居住地に関わらず広く求人	8	72.7%
その他	1	9.1%



⑲ 求人で行っている媒体等

「ハローワーク」が 90.9%と最も多く、次いで「求人情報サイト」が 72.7%、「家族・友人からの紹介」が 54.5%、「合同説明会」が 45.5%となっている。

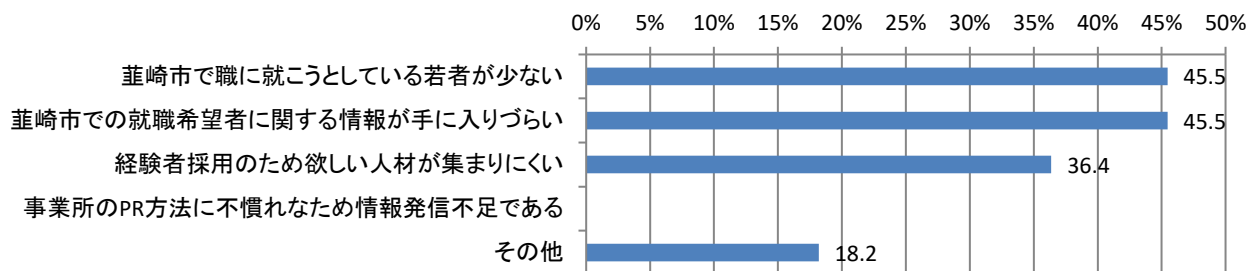
	件数	比率
総数	11	100.0%
求人情報サイト	8	72.7%
ハローワーク	10	90.9%
合同説明会	5	45.5%
家族・友人からの紹介	6	54.5%
その他	1	9.1%



⑩ 従業員の確保に取り組む上での課題

「蕪崎市で職に就こうとしている若者が少ない」「蕪崎市での就職希望者に関する情報が手に入りづらい」が45.5%、「経験者採用のため欲しい人材が集まりにくい」が36.4%、「その他」が18.2%となっている。

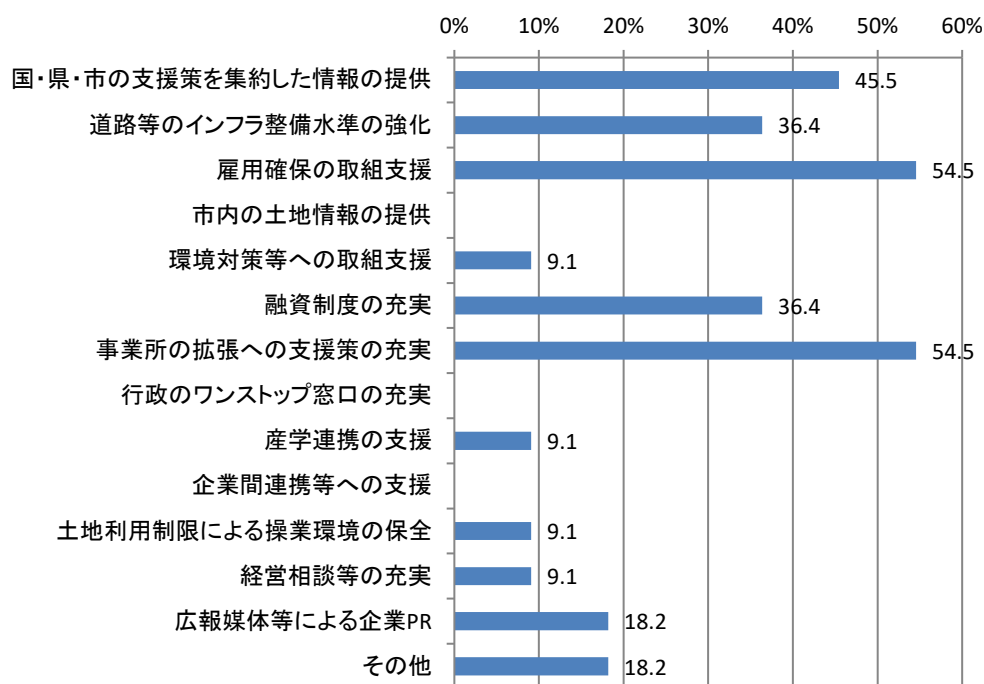
	件数	比率
総数	11	100.0%
蕪崎市で職に就こうとしている若者が少ない	5	45.5%
蕪崎市での就職希望者に関する情報が手に入りづらい	5	45.5%
経験者採用のため欲しい人材が集まりにくい	4	36.4%
事業所のPR方法に不慣れなため情報発信不足である		0.0%
その他	2	18.2%



② 良好な操業環境、雇用促進等に取り組むにあたり、韮崎市が力を入れるべき対策

「雇用確保の取組支援」「事業所の拡張への支援策の充実」が54.5%、「国・県・市の支援策を集約した情報の提供」が45.5%、「道路等のインフラ整備水準の強化」「融資制度の充実」が36.4%となっている。

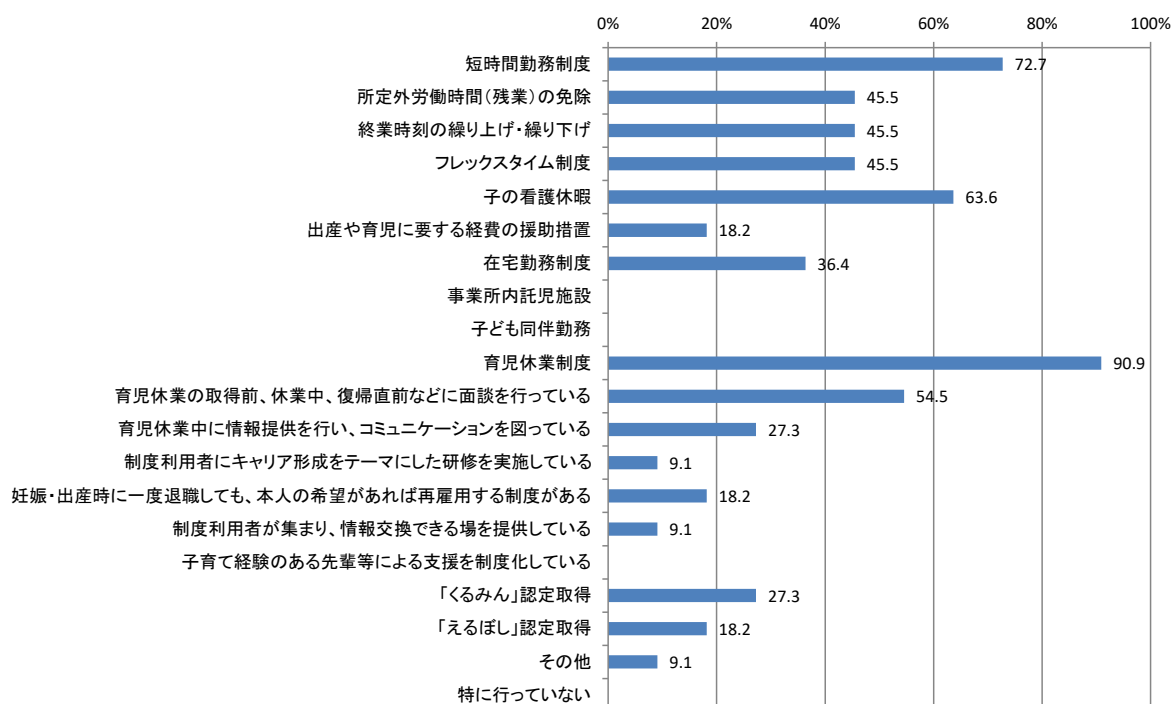
	件数	比率
総数	11	100.0%
国・県・市の支援策を集約した情報の提供	5	45.5%
道路等のインフラ整備水準の強化	4	36.4%
雇用確保の取組支援	6	54.5%
市内の土地情報の提供		0.0%
環境対策等への取組支援	1	9.1%
融資制度の充実	4	36.4%
事業所の拡張への支援策の充実	6	54.5%
行政のワンストップ窓口の充実		0.0%
産学連携の支援	1	9.1%
企業間連携等への支援		0.0%
土地利用制限による操業環境の保全	1	9.1%
経営相談等の充実	1	9.1%
広報媒体等による企業PR	2	18.2%
その他	2	18.2%



② 実施している子育て支援

「育児休業制度」が90.9%と最も多く、次いで「短時間勤務制度」が72.7%、「子の看護休暇」が63.6%、「育児休業の取得前、休業中、復帰直前などに面談を行っている」が54.5%となっている。

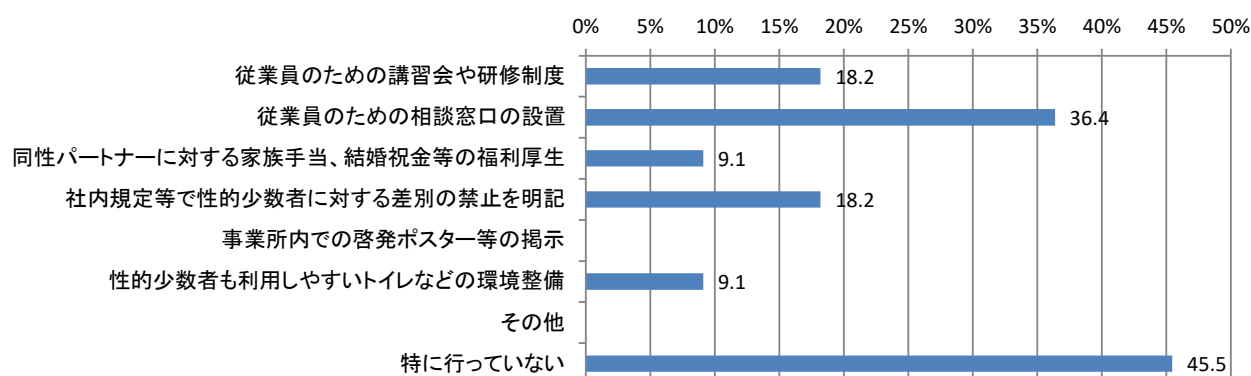
	件数	比率
総数	11	100.0%
短時間勤務制度	8	72.7%
所定外労働時間（残業）の免除	5	45.5%
終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5	45.5%
フレックスタイム制度	5	45.5%
子の看護休暇	7	63.6%
出産や育児に要する経費の援助措置	2	18.2%
在宅勤務制度	4	36.4%
事業所内託児施設		0.0%
子ども同伴勤務		0.0%
育児休業制度	10	90.9%
育児休業の取得前、休業中、復帰直前などに面談を行っている	6	54.5%
育児休業中に情報提供を行い、コミュニケーションを図っている	3	27.3%
制度利用者にキャリア形成をテーマにした研修を実施している	1	9.1%
妊娠・出産時に一度退職しても、本人の希望があれば再雇用する制度がある	2	18.2%
制度利用者が集まり、情報交換できる場を提供している	1	9.1%
子育て経験のある先輩等による支援を制度化している		0.0%
「くるみん」認定取得	3	27.3%
「えるぼし」認定取得	2	18.2%
その他	1	9.1%
特に行っていない		0.0%



③ 性的少数者への配慮

「特に行っていない」が45.5%と最も多く、次いで「従業員のための相談窓口の設置」が36.4%、「従業員のための講習会や研修制度」「社内規定等で性的少数者に対する差別の禁止を明記」が18.2%となっている。

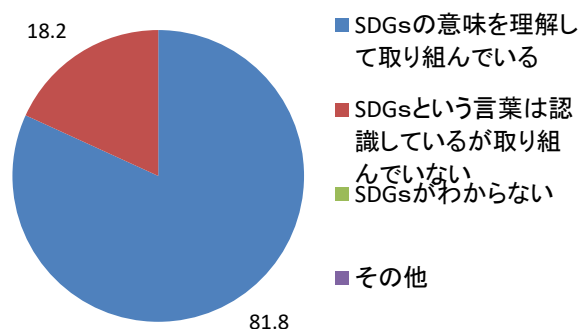
	件数	比率
総数	11	100.0%
従業員のための講習会や研修制度	2	18.2%
従業員のための相談窓口の設置	4	36.4%
同性パートナーに対する家族手当、結婚祝金等の福利厚生	1	9.1%
社内規定等で性的少数者に対する差別の禁止を明記	2	18.2%
事業所内での啓発ポスター等の掲示		0.0%
性的少数者も利用しやすいトイレなどの環境整備	1	9.1%
その他		0.0%



④ SDGsへの取組み

「SDGsの意味を理解して取り組んでいる」が81.8%と最も多く、次いで「SDGsという言葉は認識しているが取り組んでいない」が18.2%となっている。

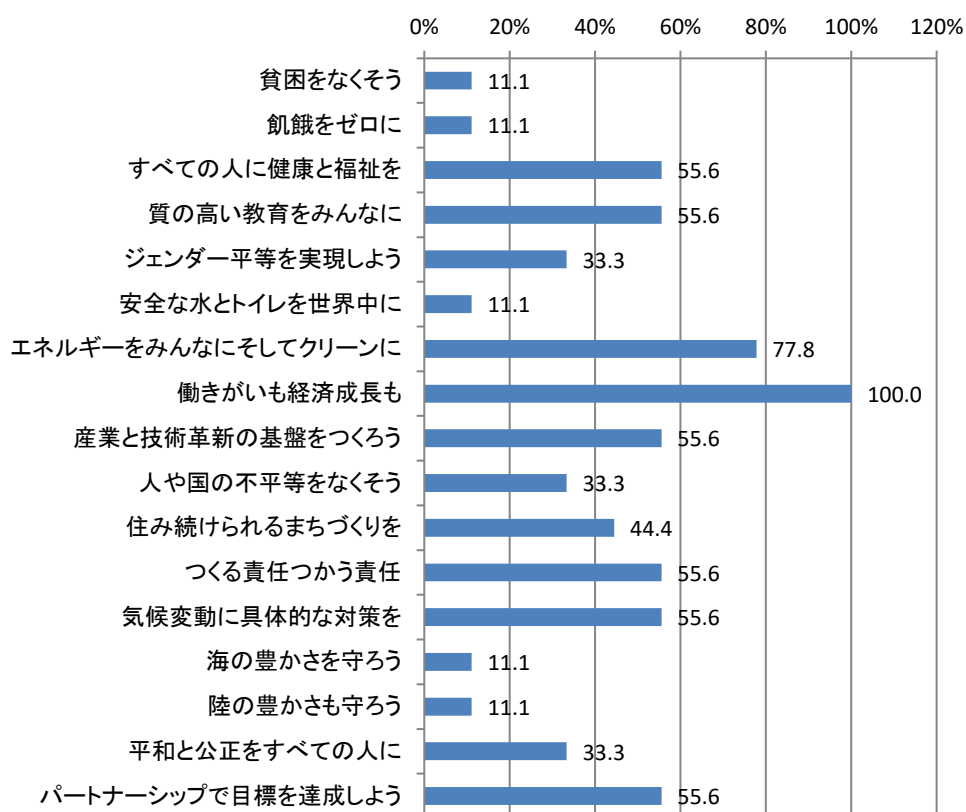
	件数	比率
総数	11	100.0%
SDGsの意味を理解して取り組んでいる	9	81.8%
SDGsという言葉は認識しているが取り組んでいない	2	18.2%
SDGsがわからない		0.0%
その他		0.0%



⑤ SDGs17 目標のうち、特に注力して取組みをしている目標

「働きがいも経済成長も」が 100.0%と最も多く、次いで「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が 77.8%、「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「つくる責任つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」「パートナーシップで目標を達成しよう」が 55.6%となっている。

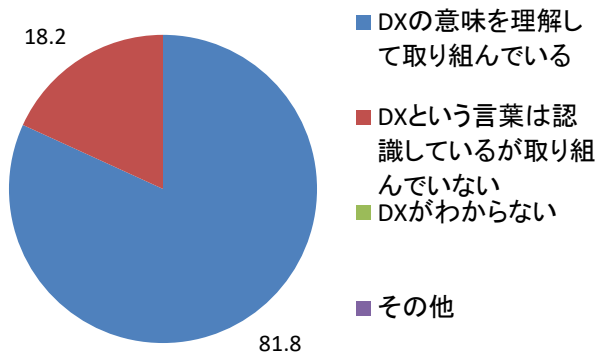
	件数	比率
総数	9	100.0%
貧困をなくそう	1	11.1%
飢餓をゼロに	1	11.1%
すべての人に健康と福祉を	5	55.6%
質の高い教育をみんなに	5	55.6%
ジェンダー平等を実現しよう	3	33.3%
安全な水とトイレを世界中に	1	11.1%
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	7	77.8%
働きがいも経済成長も	9	100.0%
産業と技術革新の基盤をつくろう	5	55.6%
人や国の不平等をなくそう	3	33.3%
住み続けられるまちづくりを	4	44.4%
つくる責任つかう責任	5	55.6%
気候変動に具体的な対策を	5	55.6%
海の豊かさを守ろう	1	11.1%
陸の豊かさも守ろう	1	11.1%
平和と公正をすべての人に	3	33.3%
パートナーシップで目標を達成しよう	5	55.6%



②⑥ DX への取組み

「DX の意味を理解して取り組んでいる」が 81.8%と最も多く、次いで「DX という言葉は認識しているが取り組んでいない」が 18.2%となっている。

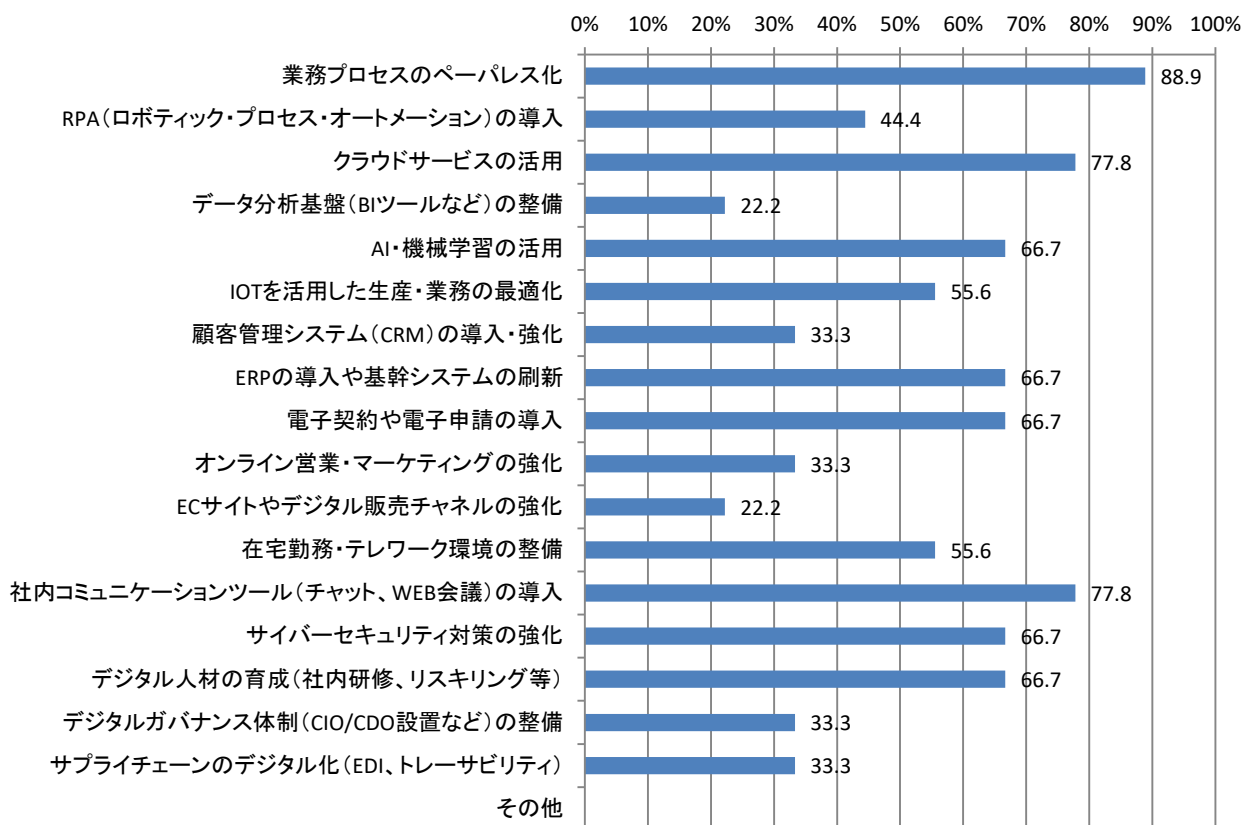
	件数	比率
総数	11	100.0%
DX の意味を理解して取り組んでいる	9	81.8%
DX という言葉は認識しているが取り組んでいない	2	18.2%
DX がわからない		0.0%
その他		0.0%



㊦ DX で特に注力した取組み

「業務プロセスのペーパレス化」が 88.9%と最も多く、次いで「クラウドサービスの活用」「社内コミュニケーションツール(チャット、WEB 会議)の導入」が 77.8%、「AI・機械学習の活用」「ERP の導入や基幹システムの刷新」「電子契約や電子申請の導入」「サイバーセキュリティ対策の強化」「デジタル人材の育成(社内研修、リスキリング等)」が 66.7%となっている。

	件数	比率
総数	9	100.0%
業務プロセスのペーパレス化	8	88.9%
RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) の導入	4	44.4%
クラウドサービスの活用	7	77.8%
データ分析基盤 (BI ツールなど) の整備	2	22.2%
AI・機械学習の活用	6	66.7%
IOT を活用した生産・業務の最適化	5	55.6%
顧客管理システム (CRM) の導入・強化	3	33.3%
ERP の導入や基幹システムの刷新	6	66.7%
電子契約や電子申請の導入	6	66.7%
オンライン営業・マーケティングの強化	3	33.3%
EC サイトやデジタル販売チャネルの強化	2	22.2%
在宅勤務・テレワーク環境の整備	5	55.6%
社内コミュニケーションツール (チャット、WEB 会議) の導入	7	77.8%
サイバーセキュリティ対策の強化	6	66.7%
デジタル人材の育成 (社内研修、リスキリング等)	6	66.7%
デジタルガバナンス体制 (CIO/CDO 設置など) の整備	3	33.3%
サプライチェーンのデジタル化 (EDI、トレーサビリティ)	3	33.3%
その他		0.0%



㊸ 他の地域と比較して韮崎市はどのような市だと思うか

- ・商工会が活気があり、企業誘致や獲得に熱心と思う
- ・企業間のつながりを担っている地域
- ・土地に関しての規制が厳しい
- ・住環境はいいし、大手企業の進出も素晴らしいが、肝心の従業員の居住について配慮がない。
- ・自然豊かで住みよい市である。子育てや教育に力を入れている市である。課題へ常にチャレンジしている市である。
- ・もう少し活気が欲しいと思いますが、活気があり明るく綺麗な市だと思います。
- ・災害の少なさ、交通(高速道路からのアクセス、東京とのアクセス)などを考えると、企業としてはとても良い市だと感じておりますが、これからの働き手となる 20~30 歳代にとっては生活する上での魅力が少ないように感じます。
- ・総合的に見て住みやすい土地だと思う
- ・住みやすい市だと思います。
- ・世界の東京エレクトロンの城下町として、経済、住民が増えることが期待できるかと思います。
- ・県内でも有力な市であると考えます。
- ・ものづくり企業に対する支援・PR などに力を入れている市だと思います。

㊹ 韮崎市において事業を進めていくうえでの市への要望

- ・大型商業施設誘致
- ・住宅用地が少ない
- ・工業区域と居住区域の選別は重要であるが今後予想される中部横断道の全線開通により韮崎市は交通のクロスロードとなります。このことから農地を踏まえ韮崎市全体のランドデザインをしっかりとしてほしい。これにはコンサルの提案ではなく実際に地域住民と膝を合わせわせて素晴らしい市民都市を作ってもらいたし。工場は沢山立ちました but 従業員は他町村で生活しています。これではだめですね。
- ・市内企業のリテラシー水準の引上げが課題ではないか。(IT、多様性、働き方、子育て、SDGs 等)
- ・この推進によって、職場環境が現代向きに改善され、結果的に雇用が増えるのではないかと考える。
- ・また、高齢者や観光客が利用できる移動交通手段が増えると良いのではないかと考える。自家用車以外の手段がないため、駅周辺から長距離移動がしにくい。
- ・高齢者: 今後は免許をはく奪された方でも、お買い物等のために交通移動で利用できる手段が必要となるのではないか。
- ・観光客: 電車で来られた方が、駅から目的地へ長距離移動(カーシェア・レンタカー)・短距離移動(電動自転車・電動スクーター)を手軽にできる手段が必要となるのではないか”
- ・若者が定着しやすい街づくり。例えば娯楽施設等。韮崎へ遊びに行こう！という感じにしてもらいたい。
- ・民家と十分な離隔距離を確保した工業団地としてのエリアの確保および電力、上下水道、道路(渋滞緩和含む)などのインフラの整備を引き続き要望いたします。
- ・企業に有益な情報があればもっと共有したい。
- ・韮崎市の企業と他市町村の企業で交流会の開催を希望します。

(7) 市外在住就業者アンケート

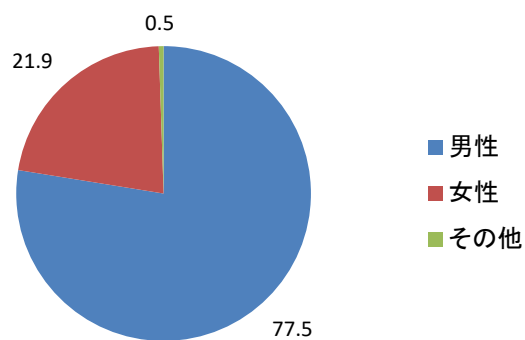
■実施概要

- ・実施日:令和7年10月20日~11月7日
- ・配布対象:葦崎工業クラブに所属している企業に勤めていて、市外在住の方
- ・WEB フォームにて回答
- ・回収数:383 件

① 性別

「男性」が 77.5%と最も多く、次いで「女性」が 21.9%、「その他」が 0.5%となっている。

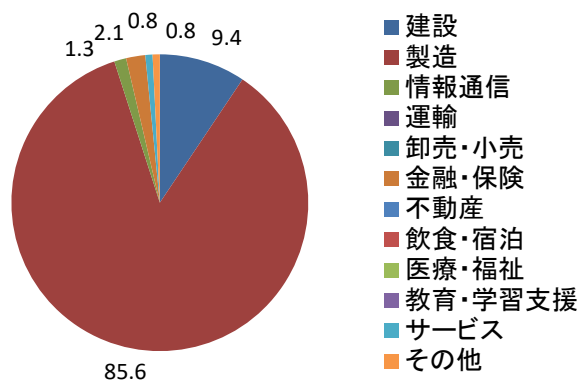
	件数	比率
総数	383	100.0%
男性	297	77.5%
女性	84	21.9%
その他	2	0.5%



② 勤めている会社の業種

「製造」が 85.6%と最も多く、次いで「建設」が 9.4%、「金融・保険」が 2.1%、「情報通信」が 1.3%となっている。

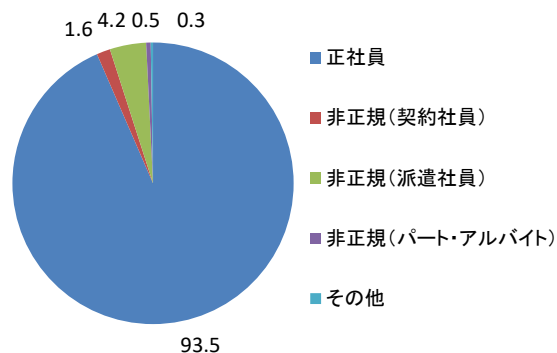
	件数	比率
総数	383	100.0%
建設	36	9.4%
製造	328	85.6%
情報通信	5	1.3%
運輸		
卸売・小売		
金融・保険	8	2.1%
不動産		
飲食・宿泊		
医療・福祉		
教育・学習支援		
サービス	3	0.8%
その他	3	0.8%



③ 勤務形態

「正社員」が 93.5%と最も多く、次いで「非正規(派遣社員)」が 4.2%、「非正規(契約社員)」が 1.6%、「非正規(パート・アルバイト)」が 0.5%となっている。

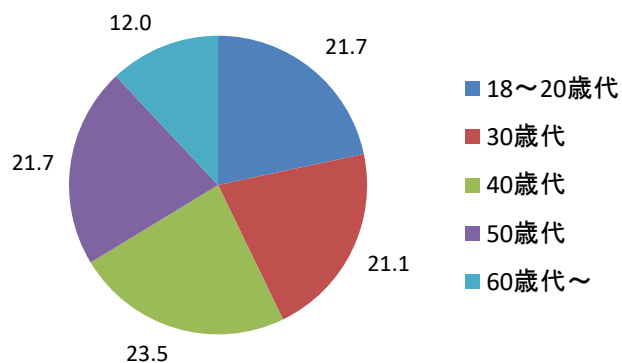
	件数	比率
総数	383	100.0%
正社員	358	93.5%
非正規(契約社員)	6	1.6%
非正規(派遣社員)	16	4.2%
非正規(パート・アルバイト)	2	0.5%
その他	1	0.3%



④年齢

「40歳代」が 23.5%と最も多く、次いで「18～20歳代」「50歳代」が 21.7%、「30歳代」が 21.1%となっている。

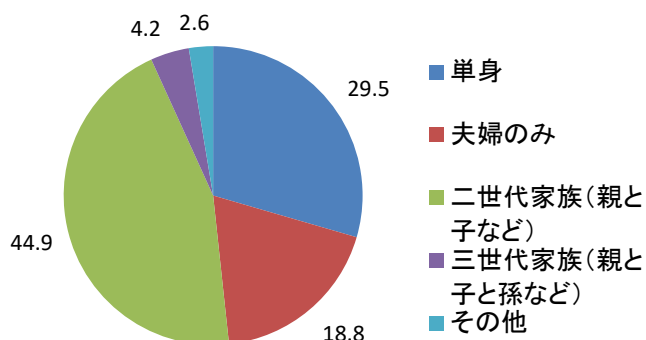
	件数	比率
総数	383	100.0%
18～20歳代	83	21.7%
30歳代	81	21.1%
40歳代	90	23.5%
50歳代	83	21.7%
60歳代～	46	12.0%



⑤家族構成

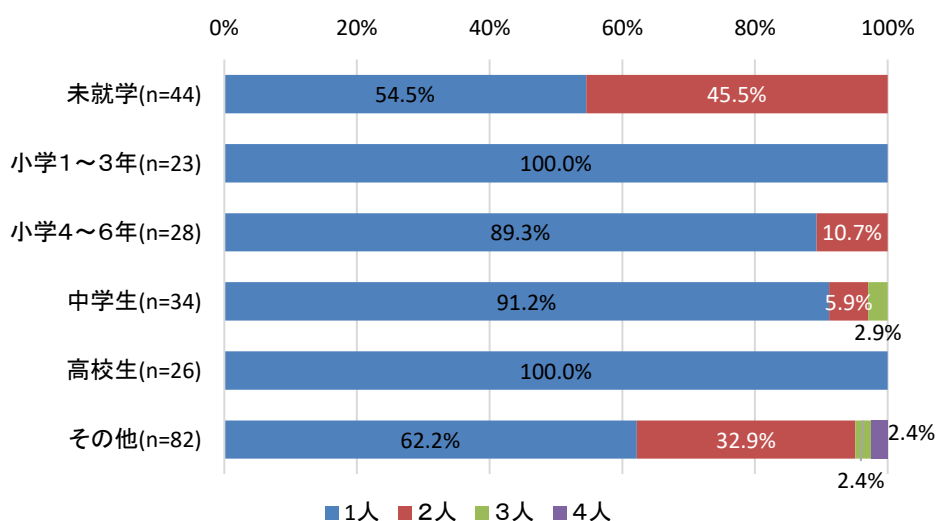
「二世世代家族(親と子など)」が 44.9%と最も多く、次いで「単身」が 29.5%、「夫婦のみ」が 18.8%、「三世世代家族(親と子と孫など)」が 4.2%となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
単身	113	29.5%
夫婦のみ	72	18.8%
二世世代家族(親と子など)	172	44.9%
三世世代家族(親と子と孫など)	16	4.2%
その他	10	2.6%



⑥ お子さんの人数(家族構成にお子さんがいる「二世世代家族(親と子など)」「三世世代家族(親と子と孫など)」と回答した人のみ回答)

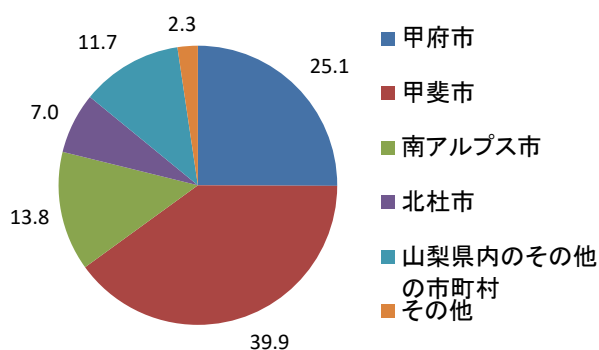
		未就学	小学 1～3年	小学 4～6年	中学生	高校生	その他
総数	件数	44	23	28	34	26	82
	比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1人	件数	24	23	25	31	26	51
	比率	54.5%	100.0%	89.3%	91.2%	100.0%	62.2%
2人	件数	20		3	2		27
	比率	45.5%		10.7%	5.9%		32.9%
3人	件数				1		2
	比率				2.9%		2.4%
4人	件数						2
	比率						2.4%



⑦ お住まい

「甲斐市」が 39.9%と最も多く、次いで「甲府市」が 25.1%、「南アルプス市」が 13.8%、「山梨県内のその他の市町村」が 11.7%となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
甲府市	96	25.1%
甲斐市	153	39.9%
南アルプス市	53	13.8%
北杜市	27	7.0%
山梨県内のその他の市町村	45	11.7%
その他	9	2.3%



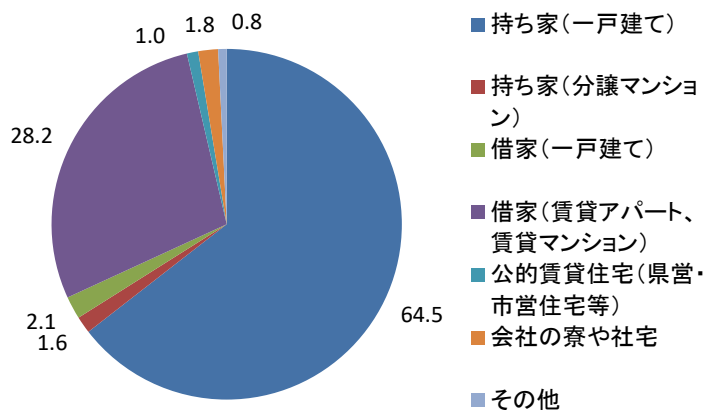
<その他> 他市町: 昭和町、笛吹市、中央市、富士川町、山梨市

⑧ お住まいの住宅

「持ち家(一戸建て)」が 64.5%と最も多く、次いで「借家(賃貸アパート、賃貸マンション)」が 28.2%、「借家(一戸建て)」が 2.1%、「会社の寮や社宅」が 1.8%となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
持ち家(一戸建て)	247	64.5%
持ち家(分譲マンション)	6	1.6%
借家(一戸建て)	8	2.1%
借家(賃貸アパート、賃貸マンション)	108	28.2%
公的賃貸住宅(県営・市営住宅等)	4	1.0%
会社の寮や社宅	7	1.8%
その他	3	0.8%

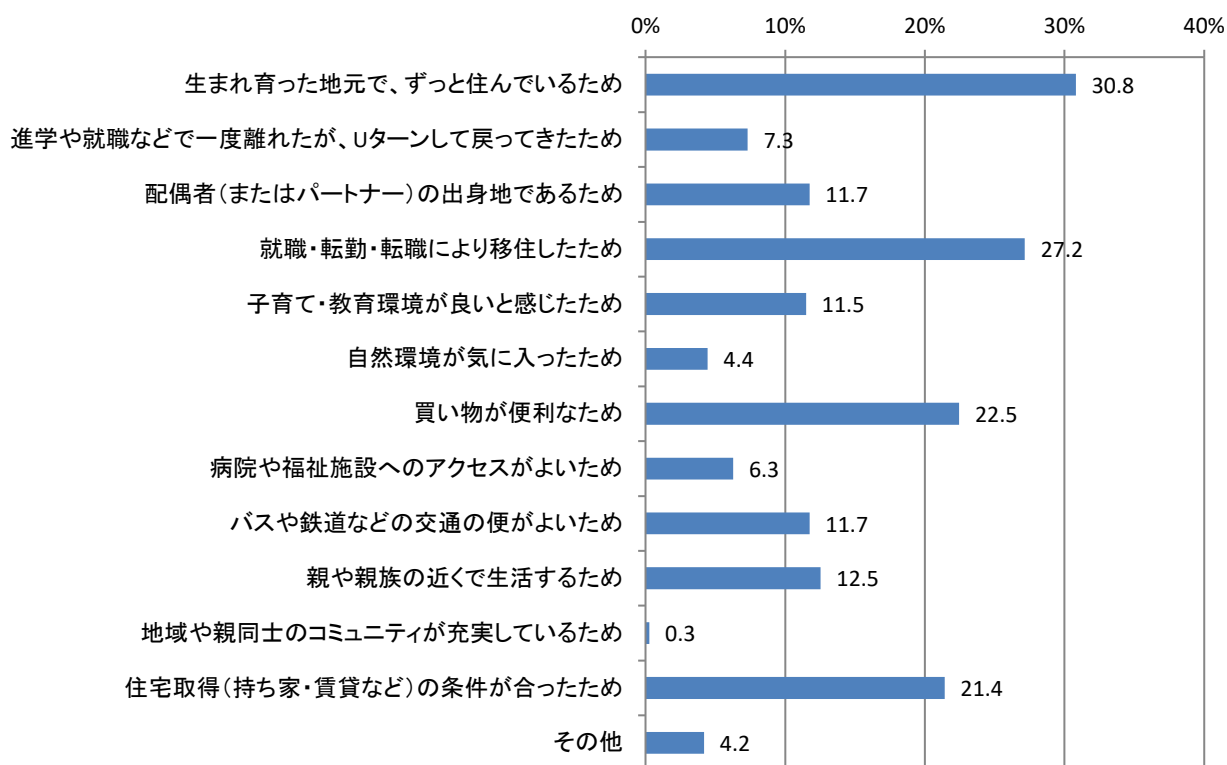
<その他> 実家



⑨ 現在の居住地の選定理由

「生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため」が30.8%と最も多く、次いで「就職・転勤・転職により移住したため」が27.2%、「買い物便利なため」が22.5%、「住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため」が21.4%となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
生まれ育った地元で、ずっと住んでいるため	118	30.8%
進学や就職などで一度離れたが、Uターンして戻ってきたため	28	7.3%
配偶者(またはパートナー)の出身地であるため	45	11.7%
就職・転勤・転職により移住したため	104	27.2%
子育て・教育環境が良いと感じたため	44	11.5%
自然環境が気に入ったため	17	4.4%
買い物便利なため	86	22.5%
病院や福祉施設へのアクセスがよいため	24	6.3%
バスや鉄道などの交通の便がよいため	45	11.7%
親や親族の近くで生活するため	48	12.5%
地域や親同士のコミュニティが充実しているため	1	0.3%
住宅取得(持ち家・賃貸など)の条件が合ったため	82	21.4%
その他	16	4.2%

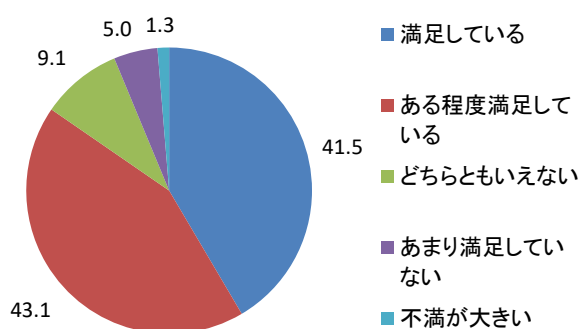


⑩ 居住地に満足しているか

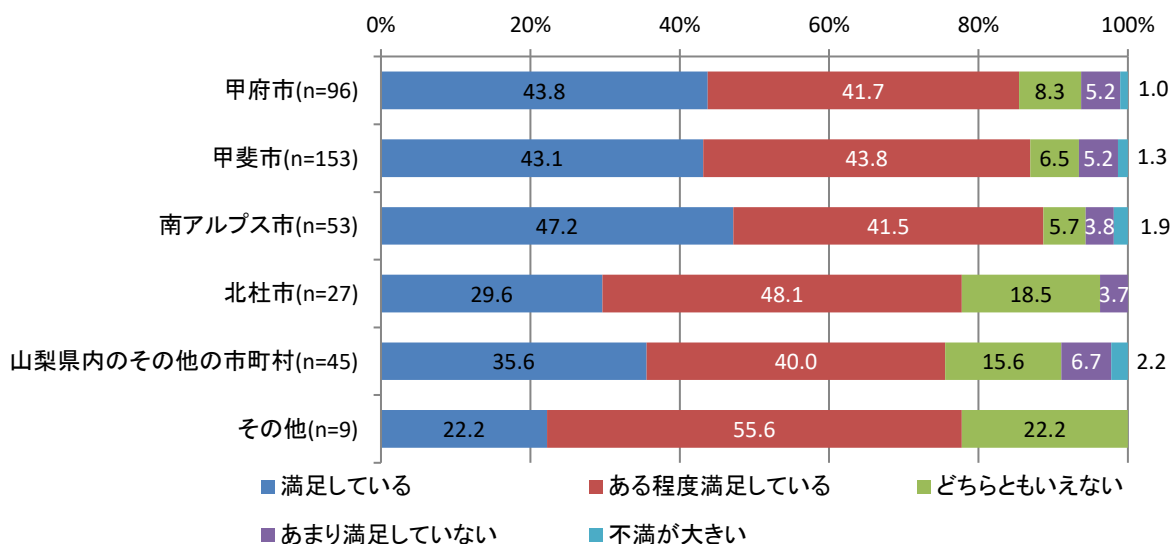
「ある程度満足している」が43.1%と最も多く、次いで「満足している」が41.5%、「どちらともいえない」が9.1%、「あまり満足していない」が5.0%となっている。

居住地別では、甲府市、甲斐市、南アスプス市が高くなっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
満足している	159	41.5%
ある程度満足している	165	43.1%
どちらともいえない	35	9.1%
あまり満足していない	19	5.0%
不満が大きい	5	1.3%



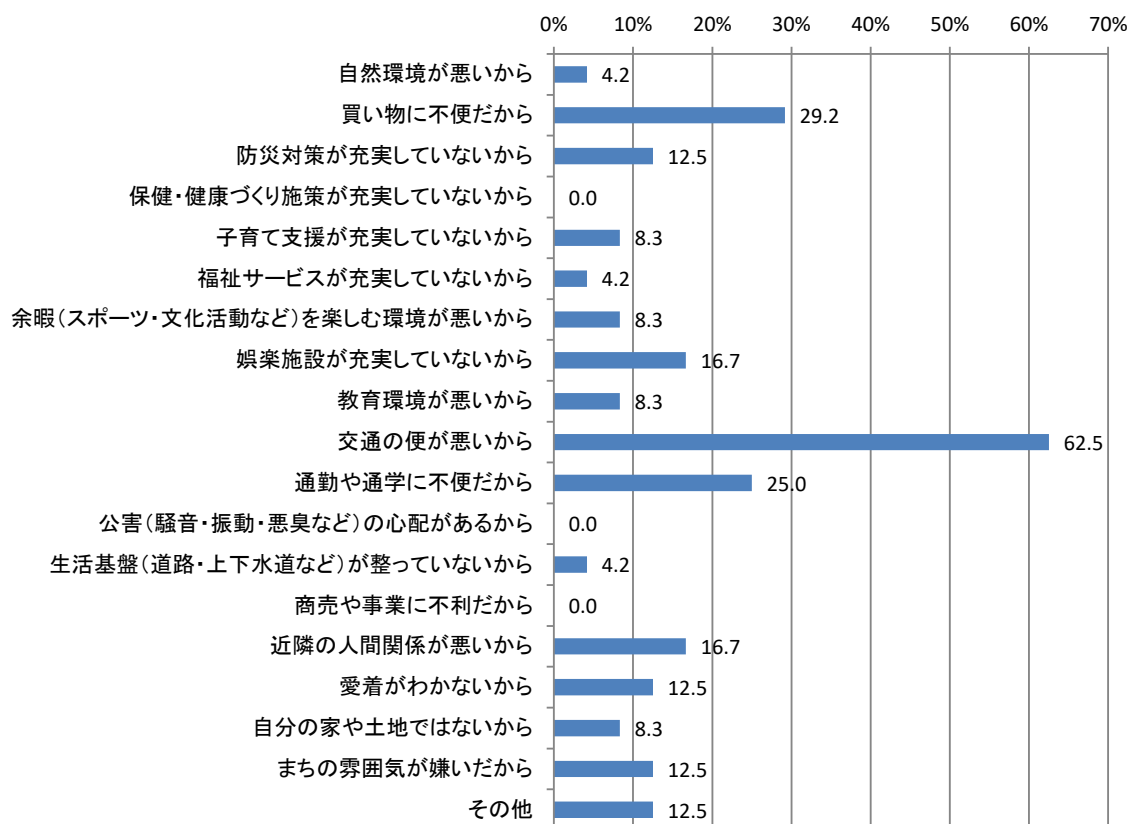
■居住地別



⑪ 満足していない理由

「交通の便が悪いから」が62.5%と最も多く、次いで「買い物に不便だから」が29.2%、「通勤や通学に不便だから」が25.0%、「娯楽施設が充実していないから」「近隣の人間関係が悪いから」が16.7%となっている。

	件数	比率
総数	24	100.0%
自然環境が悪いから	1	4.2%
買い物に不便だから	7	29.2%
防災対策が充実していないから	3	12.5%
保健・健康づくり施策が充実していないから		0.0%
子育て支援が充実していないから	2	8.3%
福祉サービスが充実していないから	1	4.2%
余暇(スポーツ・文化活動など)を楽しむ環境が悪いから	2	8.3%
娯楽施設が充実していないから	4	16.7%
教育環境が悪いから	2	8.3%
交通の便が悪いから	15	62.5%
通勤や通学に不便だから	6	25.0%
公害(騒音・振動・悪臭など)の心配があるから		0.0%
生活基盤(道路・上下水道など)が整っていないから	1	4.2%
商売や事業に不利だから		0.0%
近隣の人間関係が悪いから	4	16.7%
愛着がわからないから	3	12.5%
自分の家や土地ではないから	2	8.3%
まちの雰囲気嫌いだから	3	12.5%
その他	3	12.5%



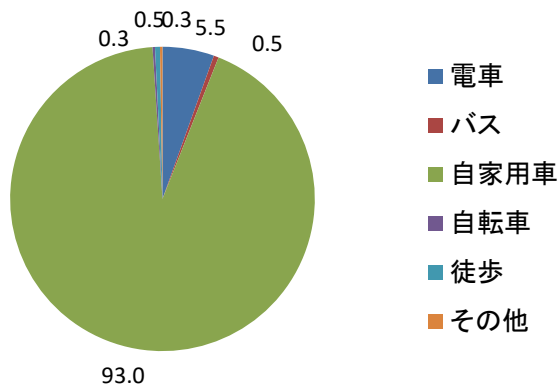
■居住地別

	総数	自然環境が悪いから	買い物に不便だから	防災対策が充実していないから	保健・健康づくり施策が充実していないから	子育て支援が充実していないから	福祉サービスが充実していないから	余暇（スポーツ・文化活動など）を楽しむ環境が悪いから	娯楽施設が充実していないから	教育環境が悪いから	交通の便が悪いから	通勤や通学に不便だから	公害（騒音・振動・悪臭など）の心配があるから	生活基盤（道路・上下水道など）が整っていないから	商売や事業に不利だから	近隣の人間関係が悪いから	愛着がわかないから	自分の家や土地ではないから	まちの雰囲気が嫌いだから	その他
総数	24	1	7	3		2	1	2	4	2	15	6		1		4	3	2	3	3
甲府市	6	0	2	1		0	0	1	0	0	5	4		1		0	1	0	0	0
甲斐市	10	1	2	1		2	1	0	2	1	6	2		0		1	0	1	2	2
南アルプス市	3	0	1	1		0	0	0	1	0	2	0		0		1	1	0	0	0
北杜市	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0		1	1	1	0	0
山梨県内の その他の市町村	4	0	2	0		0	0	1	1	1	2	0		0		1	0	0	1	1
総数		4.2%	29.2%	12.5%	0.0%	8.3%	4.2%	8.3%	16.7%	8.3%	62.5%	25.0%	0.0%	4.2%	0.0%	16.7%	12.5%	8.3%	12.5%	12.5%
甲府市		0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
甲斐市		10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%
南アルプス市		0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
北杜市		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	100%	100%	0.0%	0.0%
山梨県内の その他の市町村		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%

⑫ 主な交通手段

「自家用車」が 93.0%と最も多く、次いで「電車」が 5.5%、「バス」「徒歩」が 0.5%となっている。

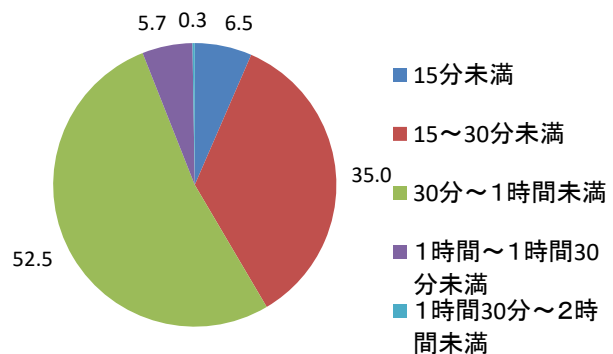
	件数	比率
総数	383	100.0%
電車	21	5.5%
バス	2	0.5%
自家用車	356	93.0%
自転車	1	0.3%
徒歩	2	0.5%
その他	1	0.3%



⑬ 通勤時間(片道)

「30分～1時間未満」が 52.5%と最も多く、次いで「15～30分未満」が 35.0%、「15分未満」が 6.5%、「1時間～1時間30分未満」が 5.7%となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
15分未満	25	6.5%
15～30分未満	134	35.0%
30分～1時間未満	201	52.5%
1時間～1時間30分未満	22	5.7%
1時間30分～2時間未満	1	0.3%
2時間以上		0.0%

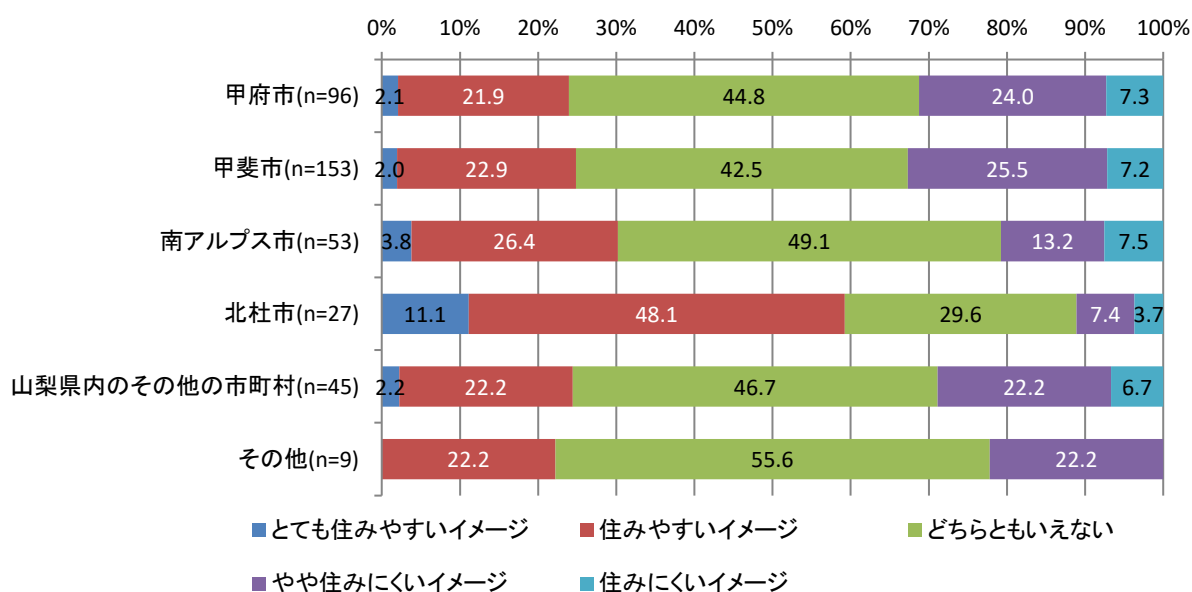
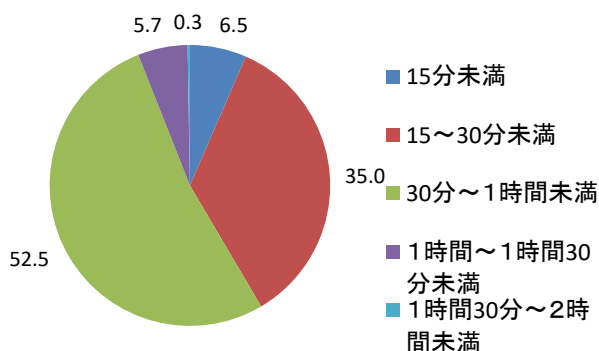


⑭ 韮崎市に対する住みやすさのイメージ

「どちらともいえない」が43.9%と最も多く、次いで「住みやすいイメージ」が24.8%、「やや住みにくいイメージ」が21.7%、「住みにくいイメージ」が6.8%となっている。

居住地別にみると、北杜市に住んでいる人において住みやすいイメージが高い結果となっている。

	件数	比率
総数	383	100.0%
とても住みやすいイメージ	11	2.9%
住みやすいイメージ	95	24.8%
どちらともいえない	168	43.9%
やや住みにくいイメージ	83	21.7%
住みにくいイメージ	26	6.8%

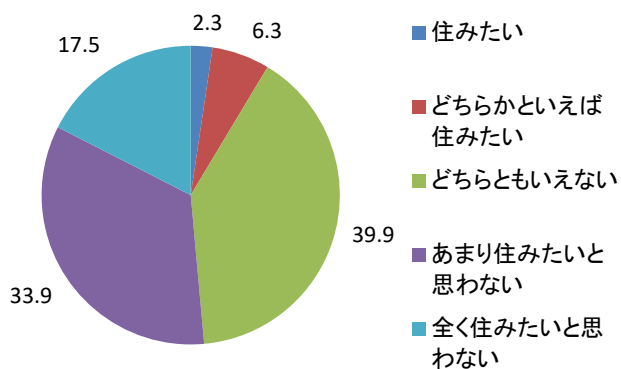


⑮ 将来的に韮崎市に住みたいと思うか

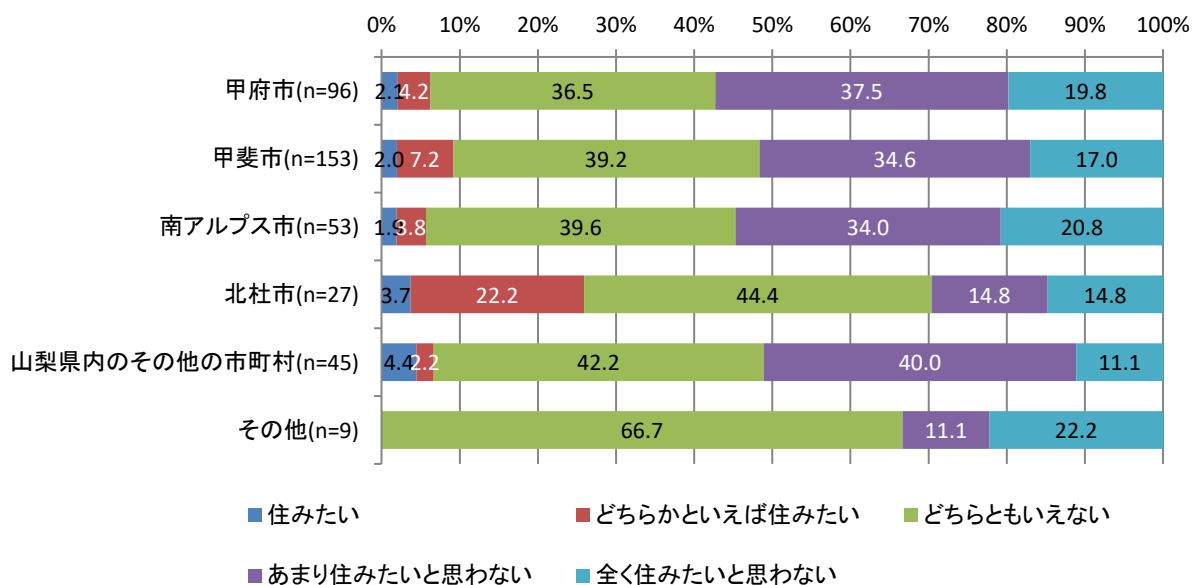
「どちらともいえない」が39.9%と最も多く、次いで「あまり住みたいと思わない」が33.9%、「全く住みたいと思わない」が17.5%、「どちらかといえば住みたい」が6.3%となっている。

また「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の傾向は、居住地別にみると北杜市に住んでいる人、住宅環境別にみると、借家住まいに人、今の居住地に住んでいる理由が「自然環境が気に入ったため」の人において、高い結果となっている。

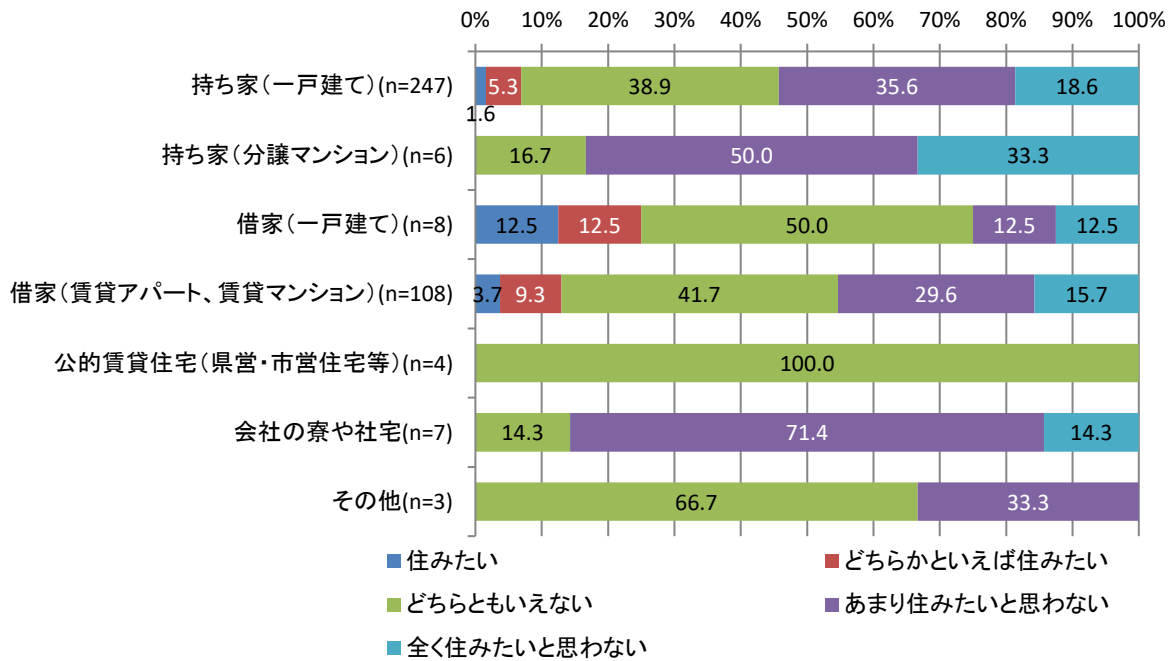
	件数	比率
総数	383	100.0%
住みたい	9	2.3%
どちらかといえば住みたい	24	6.3%
どちらともいえない	153	39.9%
あまり住みたいと思わない	130	33.9%
全く住みたいと思わない	67	17.5%



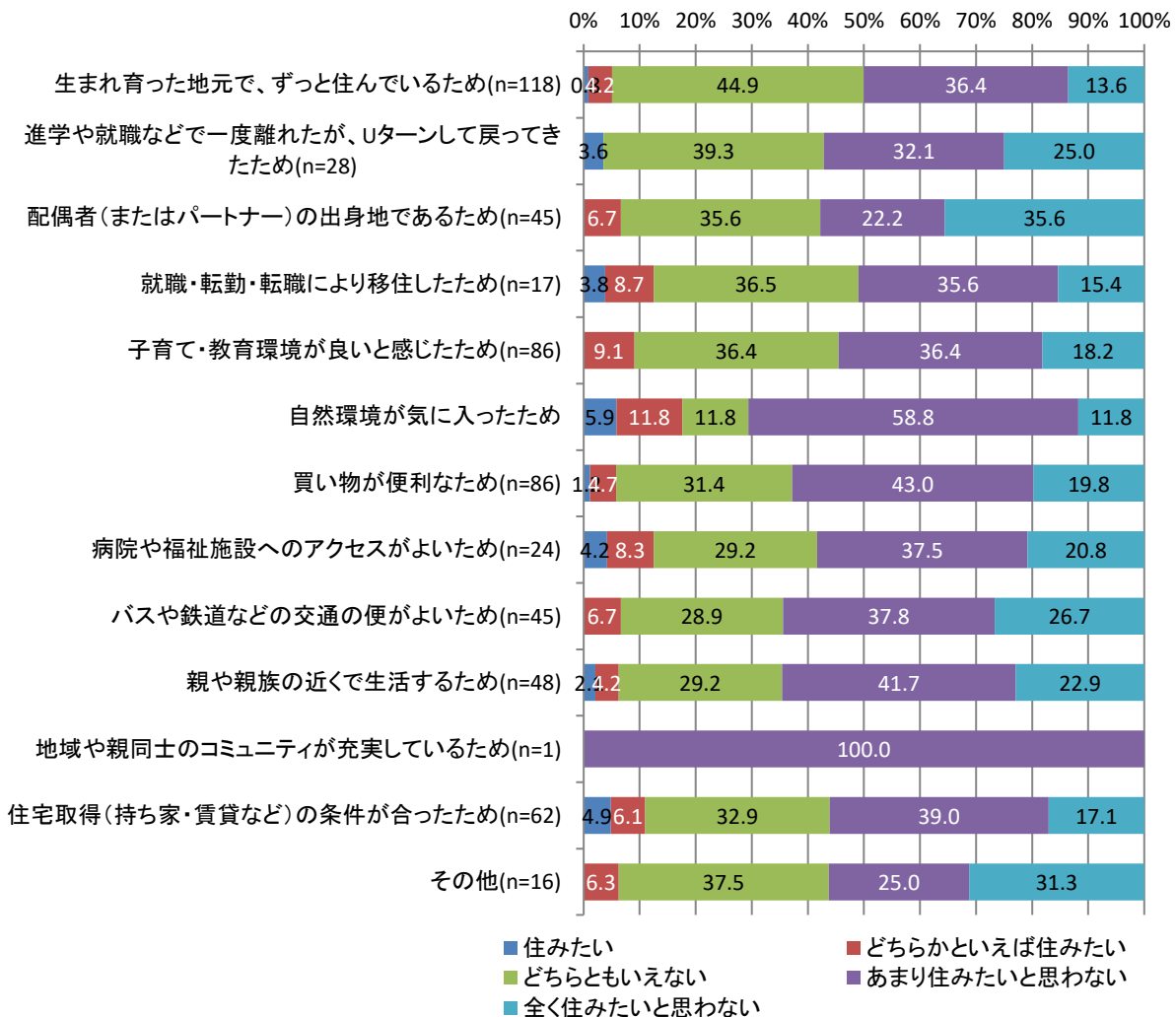
■居住地別



■居住環境別



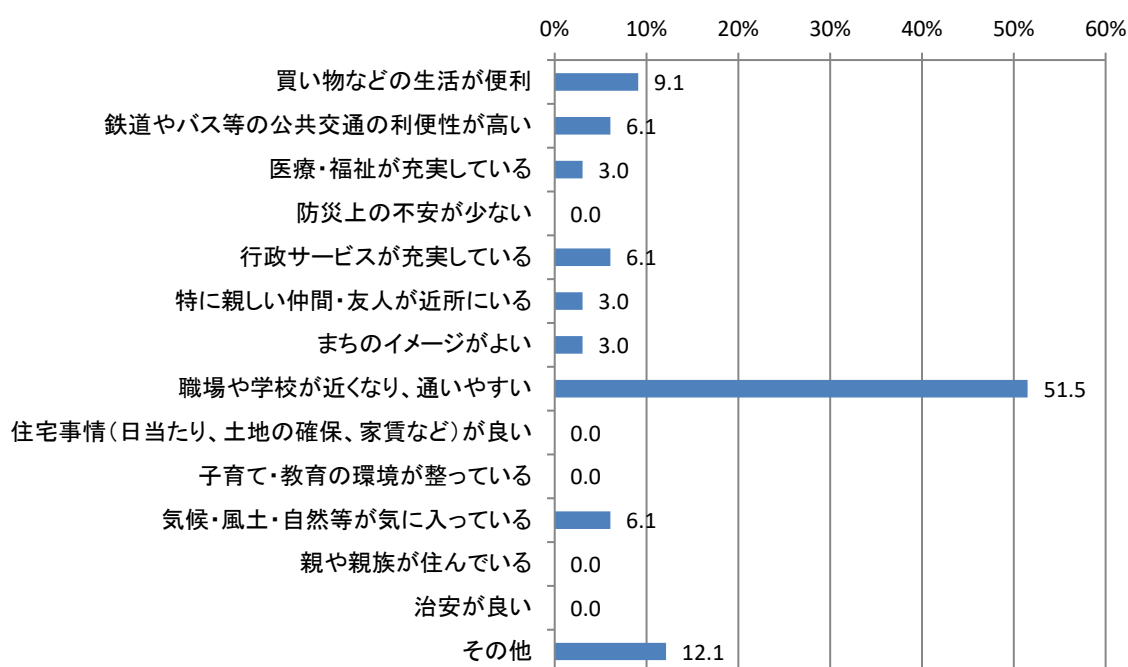
■現居住地を選んだ理由別



⑩ なぜ韮崎市に住みたいと思うか

「職場や学校が近くなり、通いやすい」が51.5%と最も多く、次いで「買い物などの生活が便利」が9.1%、「鉄道やバス等の公共交通の利便性が高い」「行政サービスが充実している」「気候・風土・自然等が気に入っている」が6.1%となっている。

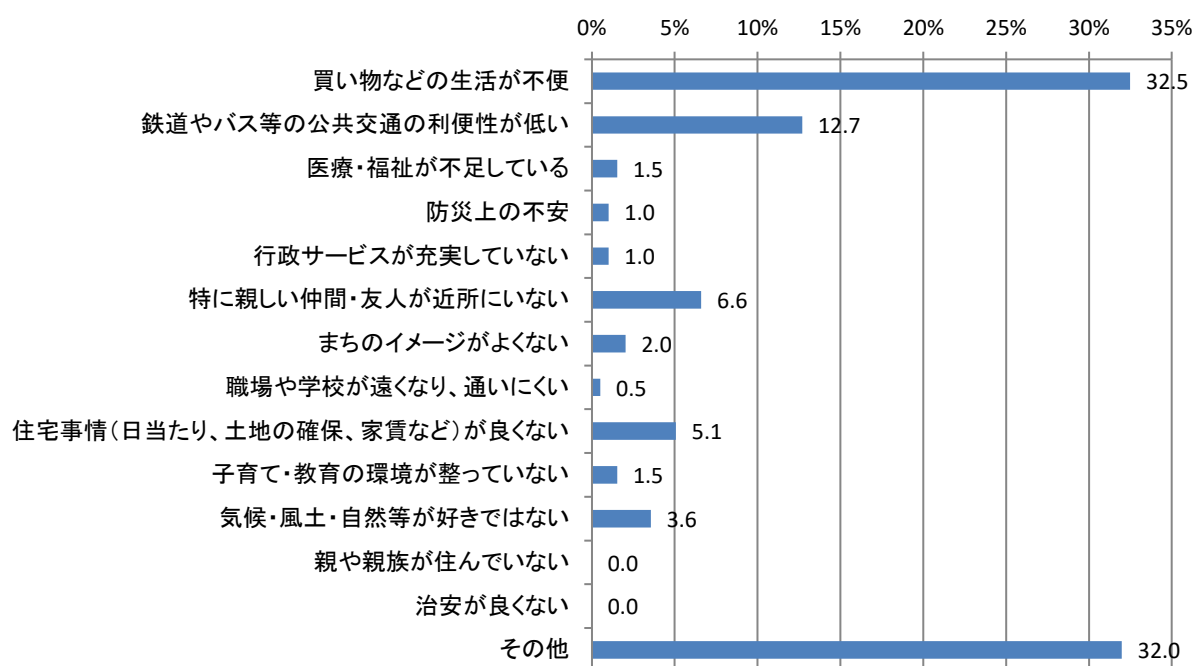
	件数	比率
総数	33	100.0%
買い物などの生活が便利	3	9.1%
鉄道やバス等の公共交通の利便性が高い	2	6.1%
医療・福祉が充実している	1	3.0%
防災上の不安が少ない		0.0%
行政サービスが充実している	2	6.1%
特に親しい仲間・友人が近所にいる	1	3.0%
まちのイメージがよい	1	3.0%
職場や学校が近くなり、通いやすい	17	51.5%
住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良い		0.0%
子育て・教育の環境が整っている		0.0%
気候・風土・自然等が気に入っている	2	6.1%
親や親族が住んでいる		0.0%
治安が良い		0.0%
その他	4	12.1%



⑰ 住むにあたっての課題はなにか

「買い物などの生活が不便」が32.5%と最も多く、次いで「鉄道やバス等の公共交通の利便性が低い」が12.7%、「特に親しい仲間・友人が近所にいない」が6.6%となっている。

	件数	比率
総数	197	100.0%
買い物などの生活が不便	64	32.5%
鉄道やバス等の公共交通の利便性が低い	25	12.7%
医療・福祉が不足している	3	1.5%
防災上の不安	2	1.0%
行政サービスが充実していない	2	1.0%
特に親しい仲間・友人が近所にいない	13	6.6%
まちのイメージがよくない	4	2.0%
職場や学校が遠くなり、通にくい	1	0.5%
住宅事情(日当たり、土地の確保、家賃など)が良くない	10	5.1%
子育て・教育の環境が整っていない	3	1.5%
気候・風土・自然等が好きではない	7	3.6%
親や親族が住んでいない		0.0%
治安が良くない		0.0%
その他	63	32.0%



⑱ 他の地域と比較して韮崎市はどのような市だと思うか

カテゴリー	件数
交通・アクセス	47
自然・環境	39
都市の特徴・魅力	37
商業・利便性	33
地域性・人の温かさ	24
スポーツ・文化	14
子育て・生活環境	6
その他	72

<主な意見>

●自然・環境

- ・自然が豊かな市
- ・山梨県の中では都会に近いが、田舎からは抜け出せないイメージ
- ・自然や畑が多く、高齢者も比較的多そう

●交通・アクセス

- ・交通が不便
- ・交通の便が少ない
- ・中心部は車が多く、渋滞が多いというイメージ

●商業・利便性

- ・街並みが古い、大きな商業施設が無い、坂が多い、田舎、甲府から遠い
- ・商業施設等が一極化していると感じる
- ・買い物など、不便性を感じます

●地域性・人の温かさ

- ・地域の交流が多いイメージ
- ・近所付き合いが深い街
- ・昔からの地域コミュニティがありそうで、新規で入りづらい

●子育て・教育環境

- ・子育てや移住にも力を入れている印象
- ・今後若年層人口が増えていき、子育てが活発になると思う
- ・公園整備や図書館など市外から利用できる施設が魅力的

●スポーツ・文化

- ・スポーツの街
- ・サッカーに力を入れている街
- ・企業との連携が厚い、イベントが多様

●都市の特徴・魅力

- ・田舎、これといった観光スポットが無い
- ・発展していない感じと活気がないイメージ
- ・買い物場所より企業が多いイメージ

⑲ 韮崎市に対する印象や魅力・課題、住むとしたらどんな支援があればよいか

カテゴリー	件数
交通・アクセス	83
商業・利便性	34
子育て・教育支援	34
観光・自然活用	22
経済的支援	16
住宅・住環境	16
産業・企業誘致	12
福祉・高齢者支援	10
その他	49

<主な意見>

●交通・アクセス

- ・道の整備が早急に必要、通行量に対して道の拡幅など渋滞対策が必須
- ・交通網の充実

●商業・利便性

- ・スーパーや飲食店の増加が必要
- ・大型商業施設があればもっと魅力が出ると思います

●子育て・教育支援

- ・子育て支援への積極的な対策
- ・子育て補助や通学の利便性補助があるとよいと思う

●住宅・住環境

- ・住居に関わる支援が経済面において助かると思う
- ・賃貸住宅事情の改善(田舎の割に同じ広さの同様の物件で甲斐市より高い)

●経済的支援

- ・予防接種の補助金が出てほしい
- ・引っ越し費用の補助金、出産補助金など

●観光・自然活用

- ・わに塚の桜や甘利山、七里岩など自然の豊かさを活かした観光をもっと発信すべき
- ・魅力は散歩コースなど整備されており自然が豊か

●産業・企業誘致

- ・顧客来訪時の宿泊先がないので企業や観光の活性化のために駅前のビジネスホテルの誘致
- ・若者が働く場所が少ないので企業誘致を進める

●福祉・高齢者支援

- ・買い物支援、医療支援など
- ・高齢者の移動に対してのサービスの充実が必要